

User's Manual

ユーザーズマニュアル

第5版 2026/6/23

■ レイヤー2 Giga対応 Webスマートスイッチ

EHB-SG2C08

EHB-SG2C16

EHB-SG2C24

■ レイヤー2 Giga対応 PoE Webスマートスイッチ

EHB-SG2C08-PL

EHB-SG2C16-PL

EHB-SG2C16F-PL

EHB-SG2C24F-PL

EHB-SG2C16F-HPL

EHB-SG2C24F-HPL

対象ファームウェア : Ver.2.1.3以降

この度は、エレコムのギガビットスイッチングハブをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。
また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

- 本製品の基本的な導入手順については、付属の「クイックセットアップガイド」などをお読みください。

もくじ

導入編	11
用語	12
このマニュアルで使われている用語	12
このマニュアルで使われている記号	12
このマニュアルをお読みになる前に	13
「クイックセットアップガイド」の主な内容	13
各部の名称とはたらき	14
EHB-SG2C08-PL	21
EHB-SG2C16-PL/EHB-SG2C16F-PL/EHB-SG2C16F-HPL	22
EHB-SG2C24F-PL/EHB-SG2C24F-HPL	23
セットアップ編	26
STEP1 設定用のパソコンを接続する	27
STEP2 管理画面にログインする	29
設置編	34
本製品を設置する	35
可能な設置方法	35
水平に設置する	36
マグネットで設置する	36
19 インチラックに取り付ける	37
壁面に設置する	38
AC コンセントが 2 ピンの場合	39
設定リファレンス編	40
管理画面(設定画面)を表示する	48
各メニューについて	49

ステータス	49
ネットワーク	49
ポート	50
PoE	50
VLAN	51
MACアドレステーブル	52
スパニングツリー	52
検出	53
マルチキャスト	54
セキュリティ	56
アクセス制御設定	58
QoS	59
診断	60
管理	61
ループ防止	62
設定の保存と再起動	63
ステータス	64
システム情報	64
管理者権限での表示画面	64
ユーザー権限での表示画面	64
ログメッセージ	66
【ポート】統計	67
【ポート】ポート自動シャットダウン	69
【ポート】帯域幅使用率	70
リンクアグリゲーション	71
MACアドレステーブル	72
ネットワーク	73
IPアドレス	73
IPv4アドレス	73
IPv6アドレス	73
動作ステータス	74
システム時刻	75

SNTP	76
手動設定.....	76
サマータイム	76
動的ステータス	76
ポート	77
ポート設定.....	77
ポート自動シャットダウン設定	79
【リンクアグリゲーション】グループ	81
【リンクアグリゲーション】ポート設定.....	83
【リンクアグリゲーション】LACP.....	85
EEE	87
ジャンボフレーム	89
PoE	90
グローバル設定.....	90
電力表示.....	92
VLAN	93
【VLAN】VLAN作成.....	93
【VLAN】VLAN設定.....	95
【VLAN】メンバーシップ	96
【VLAN】ポート設定	99
【Voice VLAN】プロパティ	101
【Voice VLAN】Voice OUI.....	103
【プロトコル VLAN】プロトコルグループ	104
【プロトコル VLAN】グループバインディング	105
【MAC VLAN】MACグループ	106
【MAC VLAN】グルーピング	107
【サーベイランスVLAN】プロパティ	108
【サーベイランスVLAN】サーベイランス OUI.....	110
【GVRP】プロパティ	111

【GVPR】メンバーシップ	113
【GVPR】統計	114
MAC アドレステーブル	115
動的アドレス	115
静的アドレス	116
フィルタリングアドレス	117
エージングタイム	118
スパニングツリー	119
プロパティ	119
ポート設定	121
MST インスタンス	124
MST ポート設定	126
統計	128
検出	130
【LLDP】プロパティ	130
LLDP	130
LLDP-MED	131
【LLDP】ポート設定	132
【LLDP】MED ネットワークポリシー	134
【LLDP】MED ポート設定	136
Location	137
【LLDP】パケットビュー	138
【LLDP】ローカル情報	141
【LLDP】ネイバー	144
基本詳細	145
【LLDP】統計	146
マルチキャスト	147
【一般】プロパティ	147
マルチキャスト転送方式	147

【一般】グループアドレス	148
【一般】ルーターポート	150
【一般】転送設定	152
【一般】スロットル	154
【一般】フィルタリングプロファイル	156
【一般】フィルタリング	157
【IGMP Snooping】プロパティ	159
【IGMP Snooping】クエリア	161
【IGMP Snooping】統計	163
【MLD Snooping】プロパティ	164
【MLD Snooping】統計	166
【MVR】MVR プロパティ	167
【MVR】MVR ポート設定	168
【MVR】MVR グループアドレス	170
セキュリティ	172
RADIUS	172
デフォルトパラメータを使用	172
TACACS+	174
デフォルトパラメータを使用	174
【AAA】認証方式リスト	175
【AAA】ログイン認証	177
【管理アクセス】管理VLAN	178
【管理アクセス】管理サービス	179
管理サービス	179
セッションタイムアウト	179
パスワードリトライカウント	180
サイレントタイム	180
【管理アクセス】管理画面アクセス制御設定	181
【管理アクセス】管理画面アクセスリスト作成	182
【認証管理】プロパティ	185

【認証管理】ポート設定.....	187
共通タイマー.....	189
802.1xパラメータ.....	189
Webベースパラメータ.....	189
【認証管理】MACベースローカルアカウント.....	190
割り当てタイマー.....	191
【認証管理】WEBベースローカルアカウント.....	192
割り当てタイマー.....	193
【認証管理】セッション.....	194
ポートセキュリティ.....	195
保護ポート.....	197
ストームコントロール.....	198
【DoS】プロパティ.....	200
【DoS】ポート設定.....	202
【ダイナミックARPインスペクション】プロパティ.....	203
【ダイナミックARPインスペクション】統計.....	205
【DHCP Snooping】プロパティ.....	206
【DHCP Snooping】統計.....	208
【DHCP Snooping】Option82プロパティ.....	209
【DHCP Snooping】Option82サーキットID.....	211
【IPソースガード】ポート設定.....	212
【IPソースガード】IMPVバインディング.....	214
【IPソースガード】データ保存.....	216
アクセス制御設定.....	217
MACアドレスアクセス制御設定.....	217
MACアドレスアクセス制御リスト作成.....	218
IPv4アドレスアクセス制御設定.....	221
IPv4アクセス制御リスト作成.....	222
IPv6アドレスアクセス制御設定.....	226

IPv6 アクセス制御リスト作成	227
アクセス制御設定バインディング	231
QoS	233
【一般】プロパティ	233
リマーケティング	234
【一般】キュースケジューリング	235
【一般】CoS マッピング	236
【一般】DSCP マッピング	237
【一般】IP 優先順位マッピング	238
【レート制限】入出力ポート	239
【レート制限】出力キュー	241
診断	243
【ログ】プロパティ	243
RAM ログ / Flash ログ	243
【ログ】Syslog サーバー	244
ミラーリング	246
Ping	248
Traceroute	249
ケーブルテスト	250
ファイバーモジュール	251
【単一方向リンク検出】プロパティ	252
【単一方向リンク検出】ネイバー	253
管理	254
ユーザーアカウント	254
アドミリンク	256
基本設定	256
詳細設定	257
【ファームウェア】アップグレード	259
「更新方法」に「TFTP」を選択した場合	259

「更新方法」に「HTTP」を選択した場合	260
【設定】復元/バックアップ	261
復元で「更新方法」に「TFTP」を選択した場合	261
復元で「更新方法」に「HTTP」を選択した場合	262
バックアップで「更新方法」に「TFTP」を選択した場合	263
バックアップで「更新方法」に「HTTP」を選択した場合	265
【設定】保存	266
【SNMP】ビュー	267
【SNMP】グループ	268
【SNMP】コミュニティ	270
【SNMP】ユーザー	272
認証あり	273
暗号化	273
【SNMP】エンジンID	274
【SNMP】トラップ	275
【SNMP】通知	276
【RMON】統計	279
【RMON】履歴	282
【RMON】イベント	284
【RMON】アラーム	286
上昇/降下	287
タイムスケジュール	288
ループ防止	290
プロパティ	290
ステータス	291
付録編	292
安全上のご注意	293
使用上のご注意	296

このマニュアルについて	297
製品の保証について	298
製品の保証とサービス	298
サポートサービスについて	299

導入編

用語	12
このマニュアルで使われている用語	12
このマニュアルで使われている記号	12
このマニュアルをお読みになる前に	13
「クイックセットアップガイド」の主な内容	13
各部の名称とはたらき	14
EHB-SG2C08-PL	21
EHB-SG2C16-PL/EHB-SG2C16F-PL/EHB-SG2C16F-HPL ...	22
EHB-SG2C24F-PL/EHB-SG2C24F-HPL	23

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	Webスマートスイッチ「EHB-SG2C08」「EHB-SG2C16」「EHB-SG2C24」「EHB-SG2C08-PL」「EHB-SG2C16-PL」「EHB-SG2C16F-PL」「EHB-SG2C24F-PL」「EHB-SG2C16F-HPL」「EHB-SG2C24F-HPL」を称して「本製品」と表記しています。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「クイックセットアップガイド」が付属しています。
クイックセットアップガイドには、以下の内容が記載されています。

該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

※ マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

「クイックセットアップガイド」の主な内容

- 主な工場出荷時の設定値
- 外観図・各部の名称とはたらき
- 設置について
- セットアップ手順
- おもな仕様

MEMO

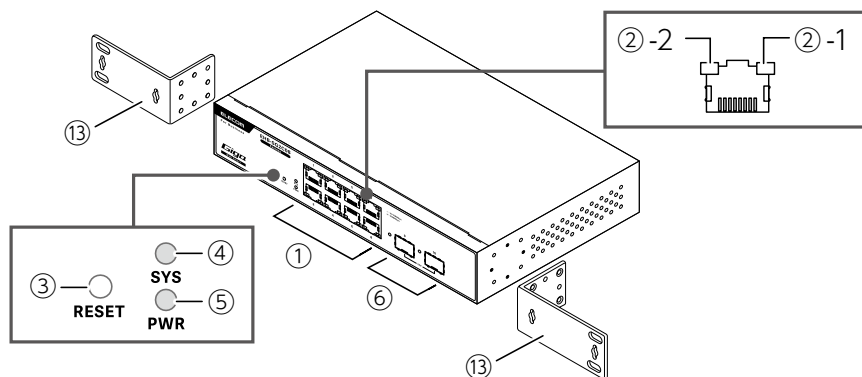
印刷物のマニュアルが見当たらない場合には

エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

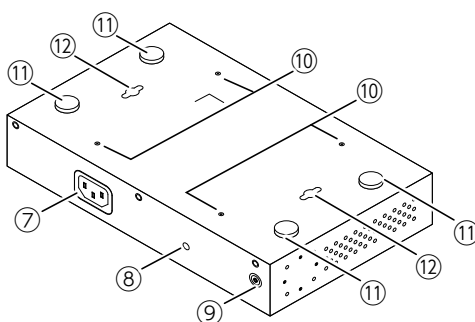
各部の名称とはたらき

EHB-SG2C08

■ 前面

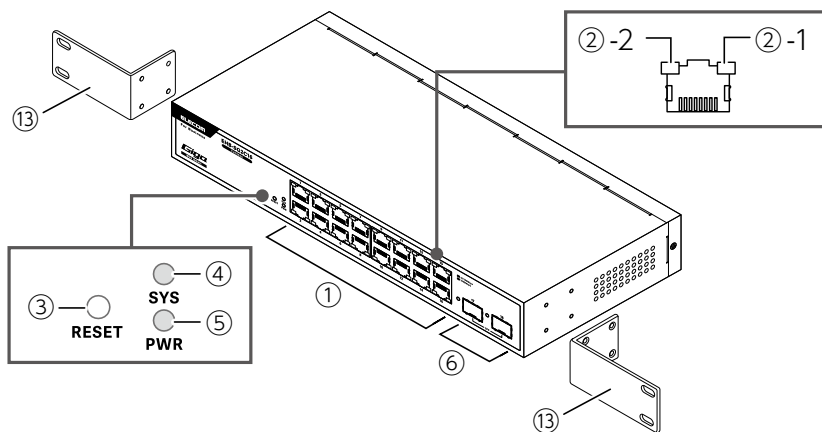


■ 背面

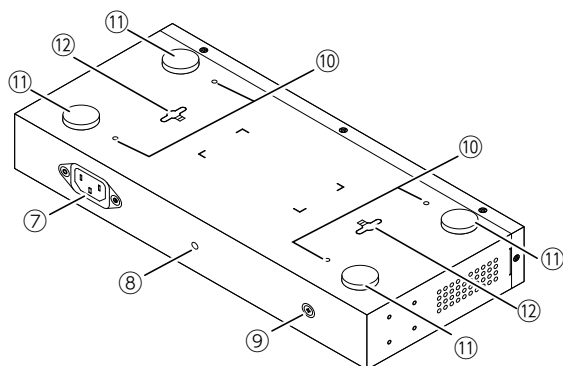


EHB-SG2C16

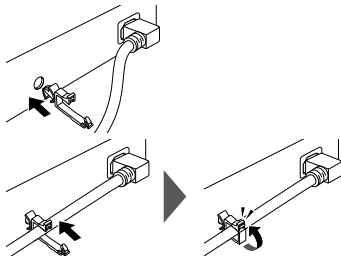
■ 前面



■ 背面



① LAN ポート	パソコンなど他のネットワーク機器と接続します。ストレート/クロスケーブルを自動判別する「Auto MDI/MDI-X」機能を搭載しています。		
② -1 LINK/ACT LED (1000Mbps)	緑色 (右側)	点灯	1000Mbps で接続した状態です。
		点滅	・ 不定期な点滅 接続中の機器とデータの送受信をしています。 ・ 1 秒間隔での点滅 ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。
		消灯	1000Mbps で接続した機器がない状態です。
② -2 LINK/ACT LED (10/100Mbps)	橙色 (左側)	点灯	10/100Mbps で接続した状態です。
		点滅	・ 不定期な点滅 接続中の機器とデータの送受信をしています。 ・ 1 秒間隔での点滅 ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。
		消灯	10/100Mbps で接続した機器がない状態です。
③ RESET	このボタンを先の細いもので長押しすると再起動、または工場出荷状態に戻ります。 3 秒以上～6 秒未満：再起動 6 秒以上：工場出荷状態に初期化		
④ SYS LED	緑色	点灯	正常な状態です。
		点滅	起動中の場合、またはループが発生している場合に点滅します。
		消灯	電源が OFF の状態です。
⑤ PWR LED	緑色	点灯	電源が ON の状態です。
		消灯	電源が OFF の状態です。
⑥ SFP ポート	1000BASE-LX、1000BASE-SX モジュールを取り付けるためのポートです。Auto Negotiation とフローコントロールをサポートし、全二重の通信方式および 1Gbps の通信速度で動作します。 ※ SFP ポートは、エレコム製のモジュールのみサポートします。		
⑦ 電源コネクタ	付属の専用 AC ケーブルを差し込みます。		

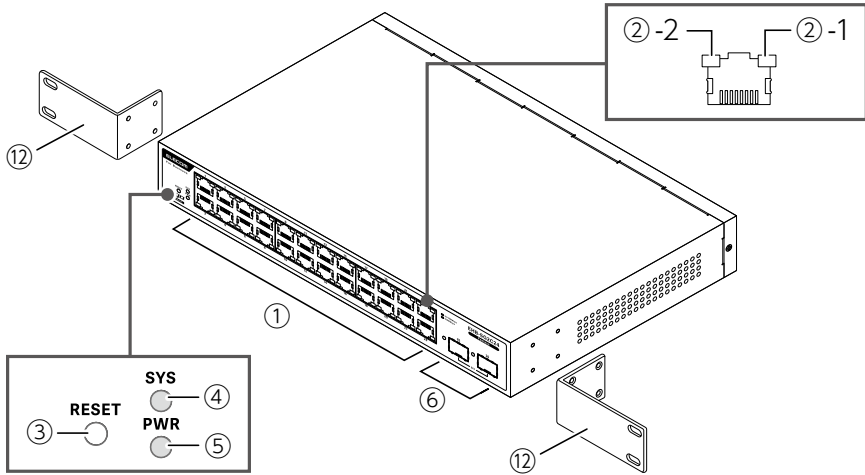
⑧ AC ケーブル抜け防止バンド取付穴	付属の AC ケーブル抜け防止バンドを使用して専用 AC ケーブルを製品本体に固定します。 <取り付けイメージ> ❶ 電源ケーブル抜け防止バンドを取り付けます。 ❷ 電源ケーブルを固定します。 
⑨ FG 端子	アース線を接続するための端子です。(ネジ径：M4 × 6mm) ※ アース線は別途ご用意ください。
⑩ マグネット取付部 ^{※1}	オプションの専用マグネット (EHB-EX-MG4) を取り付けることができます。
⑪ ゴム足取付部	水平設置、マグネット設置、壁面設置の場合はこの部分に付属のゴム足を取り付けてください。
⑫ 壁掛け穴	本製品を壁に掛けて使用する場合、この部分に市販のネジを引っ掛けて固定してください。
⑬ 19 インチラック取付金具 ^{※2}	本製品を 19 インチラックで使用する場合、付属の金具を本製品に取り付けて使用ください。本製品は EIA 規格準拠となります。

※ 1 オプション型番：EHB-EX-MG4 (4 個入り) <https://www.elecom.co.jp/products/EHB-EX-MG4.html>

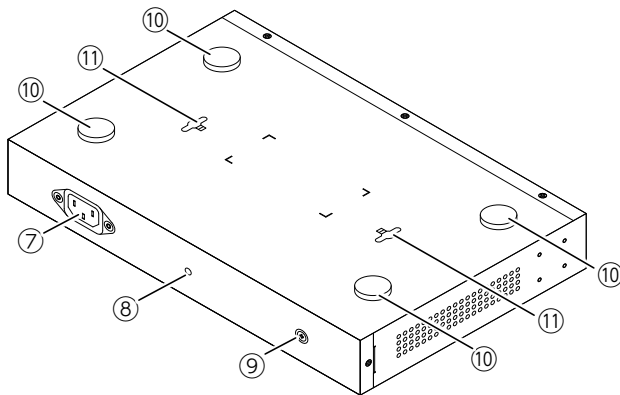
※ 2 19 インチラックに固定するネジは付属していません。別途ご用意ください。 推奨ネジ:M5 または M6 ケーজনット

EHB-SG2C24

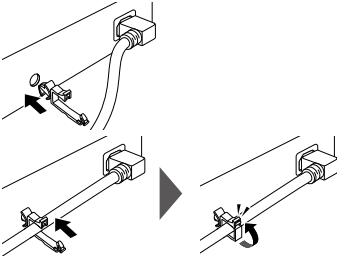
■ 前面



■ 背面

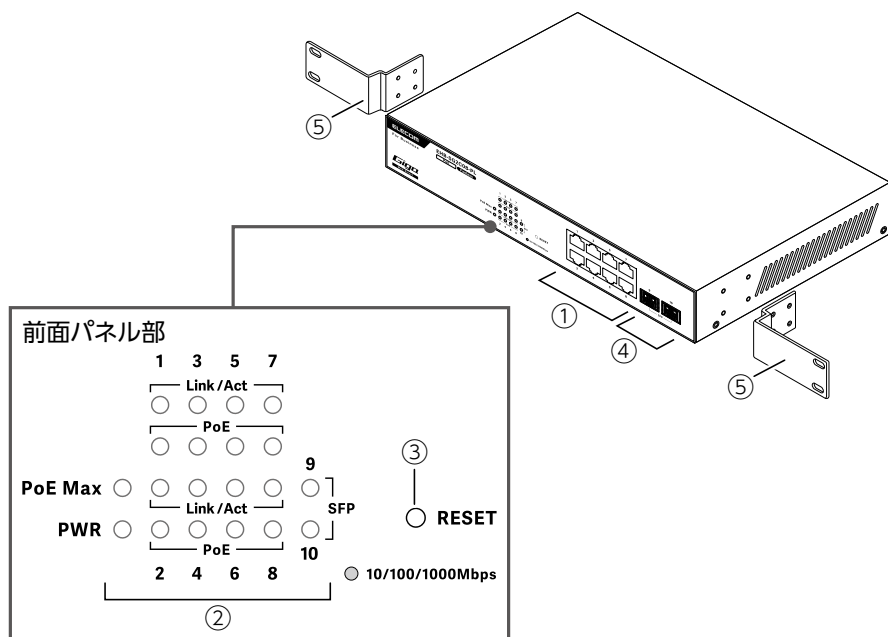


① LAN ポート	パソコンなど他のネットワーク機器と接続します。ストレート/クロスケーブルを自動判別する「Auto MDI/MDI-X」機能を搭載しています。		
② -1 LINK/ACT LED (1000Mbps)	緑色 (右側)	点灯	1000Mbps で接続した状態です。
		点滅	・ 不定期な点滅 接続中の機器とデータの送受信をしています。 ・ 1 秒間隔での点滅 ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。
	消灯		1000Mbps で接続した機器がない状態です。
② -2 LINK/ACT LED (10/100Mbps)	橙色 (左側)	点灯	10/100Mbps で接続した状態です。
		点滅	・ 不定期な点滅 接続中の機器とデータの送受信をしています。 ・ 1 秒間隔での点滅 ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。
	消灯		10/100Mbps で接続した機器がない状態です。
③ RESET	このボタンを先の細いもので長押しすると再起動、または工場出荷状態に戻ります。 3 秒以上～ 6 秒未満：再起動 6 秒以上：工場出荷状態に初期化		
④ SYS LED	緑色	点灯	正常な状態です。
		点滅	起動中の場合、またはループが発生している場合に点滅します。
	消灯		電源が OFF の状態です。
⑤ PWR LED	緑色	点灯	電源が ON の状態です。
	消灯		電源が OFF の状態です。
⑥ SFP ポート	1000BASE-LX、1000BASE-SX モジュールを取り付けるためのポートです。Auto Negotiation とフローコントロールをサポートし、全二重の通信方式および 1Gbps の通信速度で動作します。 ※ SFP ポートは、エレコム製のモジュールのみサポートします。		
⑦ 電源コネクタ	付属の専用 AC ケーブルを差し込みます。		

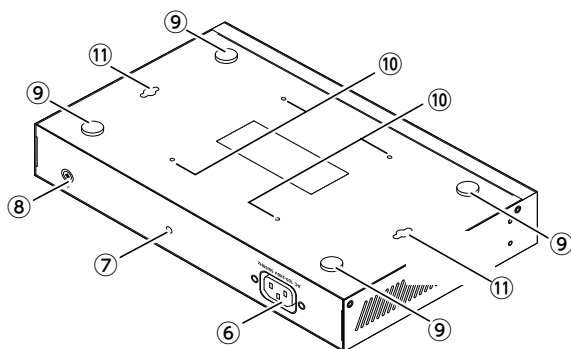
⑧ AC ケーブル抜け防止バンド取付穴	付属の AC ケーブル抜け防止バンドを使用して専用 AC ケーブルを製品本体に固定します。 <取り付けイメージ> ❶ AC ケーブル抜け防止バンドを取り付けます。 ❷ 専用 AC ケーブルを固定します。 
⑨ FG 端子	アース線を接続するための端子です。(ネジ径：M4×6mm) ※ アース線は別途ご用意ください。
⑩ ゴム足取付部	水平設置、壁面設置の場合はこの部分に付属のゴム足を取り付けてください。
⑪ 壁掛け穴	本製品を壁に掛けて使用する場合、この部分に市販のネジを引っ掛けて固定してください。
⑫ 19 インチラック取付金具※	本製品を 19 インチラックで使用する場合、付属の金具を本製品に取り付けて使用ください。本製品は EIA 規格準拠となります。

EHB-SG2C08-PL

■ 前面



■ 背面

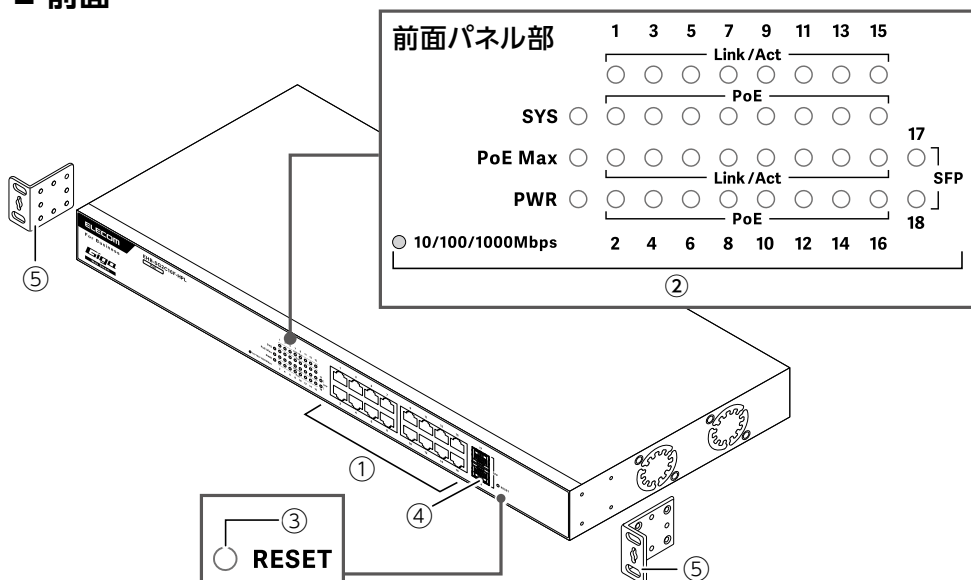


EHB-SG2C16-PL/EHB-SG2C16F-PL/EHB-SG2C16F-HPL

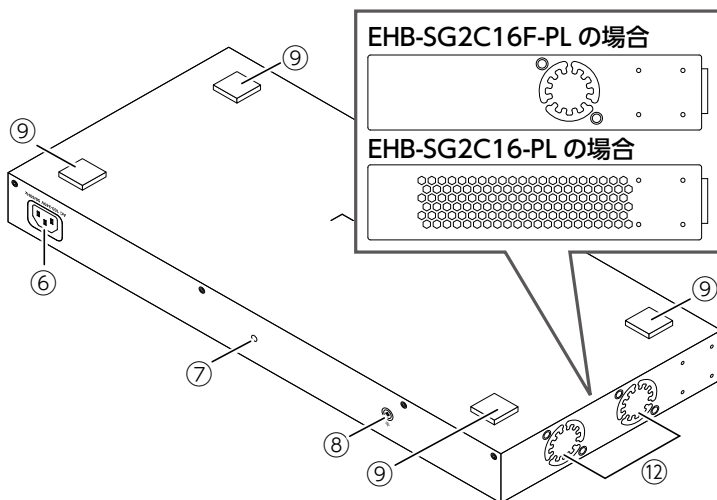
※ 前面・背面のイラストは EHB-SG2C16F-HPL です。

※ 機種によってファンの有無・個数が異なります。

■ 前面



■ 背面



※ 機種によってファンの有無・個数が異なります。

前面パネル部

	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23
Link / Act	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PoE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SYS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PoE Max	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PWR	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Link / Act	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PoE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SFP												○

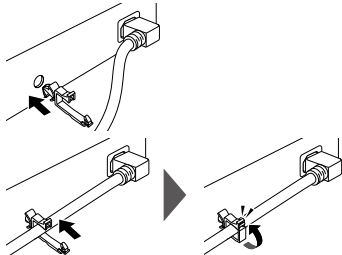
25

26

10/100/1000Mbps

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

EHB-SG2C24F-PLの場合

① LAN ポート	パソコンなど他のネットワーク機器と接続します。ストレート/クロスケーブルを自動判別する「Auto MDI/MDI-X」機能を搭載しています。		
② 前面パネル LED	SYS	赤色 点灯	電源系統またはファンに異常が発生している状態です。専用 AC ケーブルを抜き、しばらく経ってから電源を入れなおしてください。
		消灯	正常な状態です。
	PoE Max	緑色 点灯	供給電力の上限に達している状態です。
		消灯	PoE 給電に余裕がある状態です。
	PWR	緑色 点灯	電源が ON の状態です。
		消灯	電源が OFF の状態です。
	Link/Act	点灯	10/100/1000Mbps のいずれかで接続した状態です。
		緑色 点滅	・ 不定期な点滅 接続中の機器とデータの送受信をしています。 ・ 1 秒間隔での点滅 ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。
		消灯	接続機器がない状態です。
	SFP	緑色 点灯	光ファイバーケーブルで接続した状態です。
		消灯	接続機器がない状態です。
③ RESET	このボタンを先の細いもので約 10 秒長押しすると、工場出荷状態に戻ります。		
④ SFP ポート	1000BASE-LX、1000BASE-SX モジュールを取り付けるためのポートです。Auto Negotiation とフローコントロールをサポートし、全二重の通信方式および 1Gbps の通信速度で動作します。 ※ SFP ポートは、エレコム製のモジュールのみサポートします。		
⑤ 19 インチラック取付金具※ ¹	本製品を 19 インチラックで使用する場合、付属の金具を本製品に取り付けて使用ください。本製品は EIA 規格準拠となります。		
⑥ 電源コネクタ	付属の専用 AC ケーブルを差し込みます。		
⑦ AC ケーブル抜け防止バンド取付穴	付属の AC ケーブル抜け防止バンドを使用して専用 AC ケーブルを製品本体に固定します。 <取り付けイメージ> ❶ AC ケーブル抜け防止バンドを取り付けます。 ❷ 専用 AC ケーブルを固定します。 		

⑧ FG 端子	アース線を接続するための端子です。(ネジ径：M4 × 6mm) ※ アース線は別途ご用意ください。
⑨ ゴム足取付部	水平設置、壁面設置の場合はこの部分に付属のゴム足を取り付けてください。
⑩ マグネット取付部※ ²	オプションの専用マグネットを取り付けることができます。
⑪ 壁掛け穴※ ²	本製品を壁に掛けて使用する場合、この部分に市販のネジを引っ掛けて固定してください。
⑫ ファン	冷却用ファンです。ふさがないでください。

※ 1 19 インチラックに固定するネジは付属していません。別途ご用意ください。

推奨ネジ：M5 または M6 ケージナット

※ 2 EHB-SG2C08-PL のみ。

セットアップ編

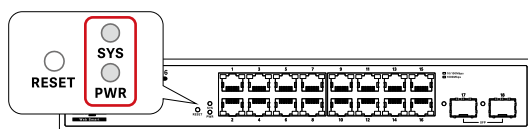
STEP1 設定用のパソコンを接続する.....	27
STEP2 管理画面にログインする	29

STEP1 設定用のパソコンを接続する

EHB-SG2C08 / EHB-SG2C16 / EHB-SG2C24 の場合

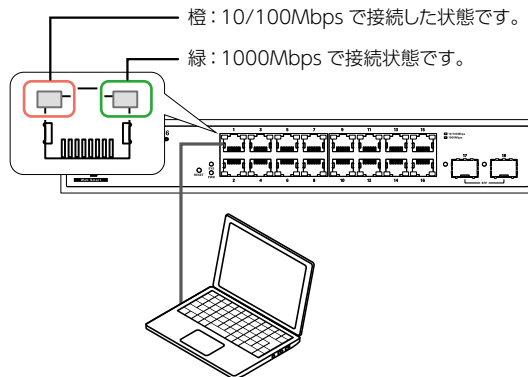
1 専用のACケーブルを接続します。

一定時間経過後システムが稼働し、PWR、SYS LED が緑点灯します。



2 LANケーブルでPC と本製品を接続します。

LINK/ACT LED が点灯、または点滅することを確認します。

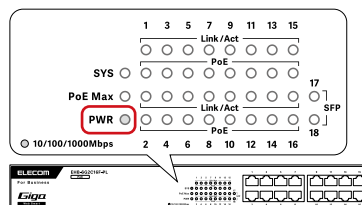


※ イラストは EHB-SG2C16 のポート 1 に接続した場合の例です。

EHB-SG2C08-PL / EHB-SG2C16-PL / EHB-SG2C16F-PL /
EHB-SG2C24F-PL / EHB-SG2C16F-HPL / EHB-SG2C24F-HPL の場合

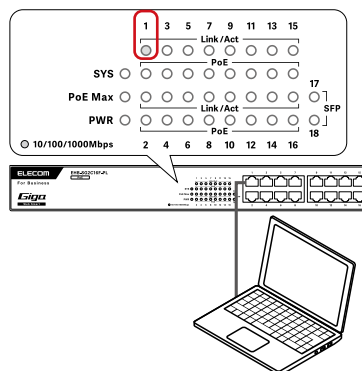
1 専用のACケーブルを接続します。

一定時間経過後システムが稼働し、PWR LED が緑点灯します。



2 LANケーブルでPC と本製品を接続します。

LINK/ACT LED が点灯、または点滅することを確認します。



※ イラストは EHB-SG2C16F-PL のポート 1 に接続した場合の例です。

STEP2 管理画面にログインする

1 設定する端末のIP アドレスを「192.168.3.2」、サブネットマスクを「255.255.255.0」に固定します。

- ① [スタート] – [設定] をクリックします。



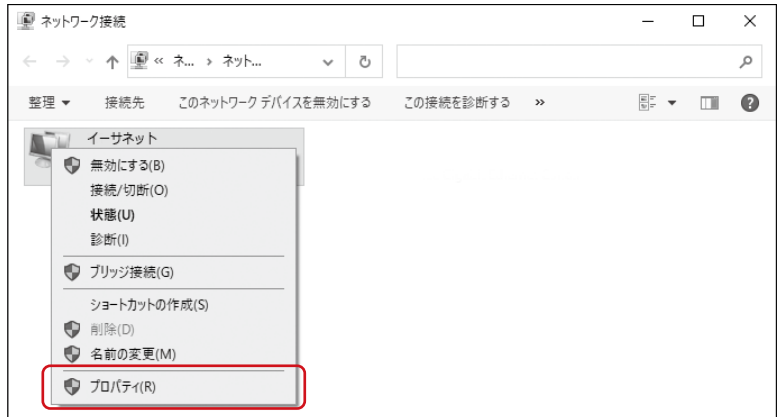
- ② [ネットワークとインターネット] をクリックします。



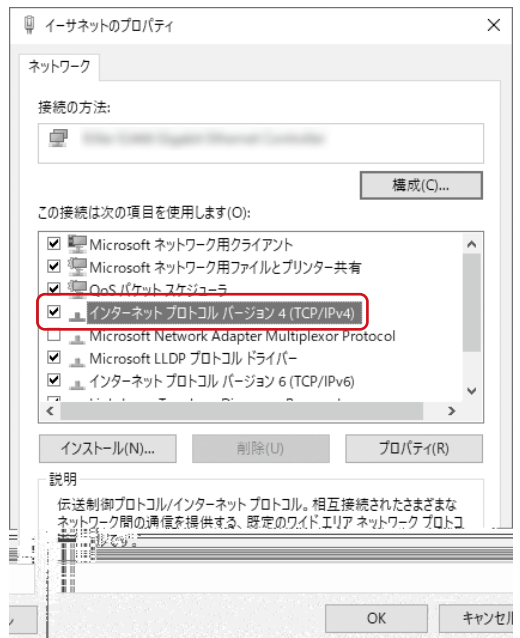
- ③ 「状態」画面の[アダプターのオプションを変更する]をクリックします。



- ④ [イーサネット] を選択し、右クリックして[プロパティ] をクリックします。



- ⑤ [イーサネットのプロパティ]画面で[インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し[プロパティ] をクリックします。



- ⑥ [インターネット プロトコル バージョン (TCP/IPv4)] 画面で [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスに「192.168.3.2」、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力して [OK] をクリックします。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☐ IP アドレスを自動的に取得する(O)

☒ 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 3 . 2

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): . . .

☐ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

☒ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): . . .

代替 DNS サーバー(A): . . .

☐ 終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

- 2 Webブラウザ (Google Chrome など)を起動し、アドレスバーに「192.168.3.1」と入力します。

192.168.3.1

- 3 ユーザー名とパスワードに「admin」を入力し、[ログイン]をクリックします。**



The login screen for ELECOM. It features the brand name 'ELECOM' at the top. Below it are three input fields: 'ユーザー名' (Username) with 'admin' entered, 'パスワード' (Password) with '.....' entered, and '言語' (Language) with a dropdown menu set to '日本語'. A red box highlights the username and password fields. To the right, two callout boxes point to these fields: 'ユーザー名 : admin' and 'パスワード : admin'. At the bottom, a 'ログイン' (Login) button is highlighted with a red box.

- 4 初回ログイン時は、パスワード変更画面が表示されますので、パスワードを任意のものに設定し、「適用」をクリックします。**



The password change screen for ELECOM. It features the brand name 'ELECOM' at the top. Below it is a security notice: 'セキュリティ対策のため、管理者パスワードを最低8文字以上で設定してください。管理者パスワードは英数字と記号が設定可能です。' (For security measures, please set the administrator password to at least 8 characters. Administrator passwords can be set with alphanumeric characters and symbols). There are two input fields: '新しいパスワード' (New Password) and '確認のため再入力してください' (Please re-enter for confirmation). Both fields have eye icons to toggle visibility. A red box highlights these two fields. To the right, two callout boxes point to them: '新しいパスワードを入力します' (Enter new password) and '確認のため新しいパスワードをもう一度入力します。' (Re-enter new password for confirmation). Below the input fields is a section titled '管理者パスワードを忘れてしまった場合' (If you forget the administrator password) with instructions to check the manual and perform initial setup. A note states: '※注意：初期化を行うと、全ての設定が工場出荷の状態に戻ります。' (Note: Performing initialization will return all settings to the factory default state). At the bottom, an '適用' (Apply) button is highlighted with a red box.

項目	内容
文字数	8 文字以上 32 文字以内
使用可能文字	「?」（クエスチョンマーク）と「"」（ダブルクォーテーション）を除く半角英数記号のみ

5 管理画面が表示されます。



以上でセットアップは完了です。

設置編

本製品を設置する	35
可能な設置方法	35
水平に設置する	36
マグネットで設置する	36
19 インチラックに取り付ける	37
壁面に設置する	38
AC コンセントが 2 ピンの場合	39

本製品を設置する

可能な設置方法

	水平設置	壁掛け	19インチラック マウント	マグネット設置
EHB-SG2C08	○	○	○	○※
EHB-SG2C16	○	○	○	○※
EHB-SG2C24	○	○	○	—
EHB-SG2C08-PL	○	○	○	○※
EHB-SG2C16-PL	○	—	○	—
EHB-SG2C16F-PL	○	—	○	—
EHB-SG2C24F-PL	○	—	○	—
EHB-SG2C16F-HPL	○	—	○	—
EHB-SG2C24F-HPL	○	—	○	—

※ オプション型番：EHB-EX-MG4（マグネット4個入り）

<https://www.elecom.co.jp/products/EHB-EX-MG4.html>

MEMO

- いずれの設置方法でも、アースへ正しく接続されていることを確認してください。通気スペースとして周囲を5cm 以上確保し、本体の通風孔をふさがないように設置してください。
- 本製品を2 台以上積み重ねて使用しないでください。

水平に設置する

本製品底面のゴム足取付部（4ヶ所）に、付属のゴム足を取り付けます。

重要

- 水平設置は平らで安定した場所に設置してください。

マグネットで設置する

- 1 本製品底面のマグネット取付部に、オプションの専用マグネットを取り付けます。
- 2 本製品底面のゴム足取付部に、付属のゴム足を取り付けます。

重要

- マグネットを使用して本製品を高所・天井面に設置しないでください。
- マグネットで金属面へ設置する場合は衝撃などを与えると落下する恐れがあります。必ず落下防止対策を行ってください。
- マグネットはすべての金属面への取り付けを保証するものではありません。金属面の表面加工の状態によっては十分に固定できない場合があります。

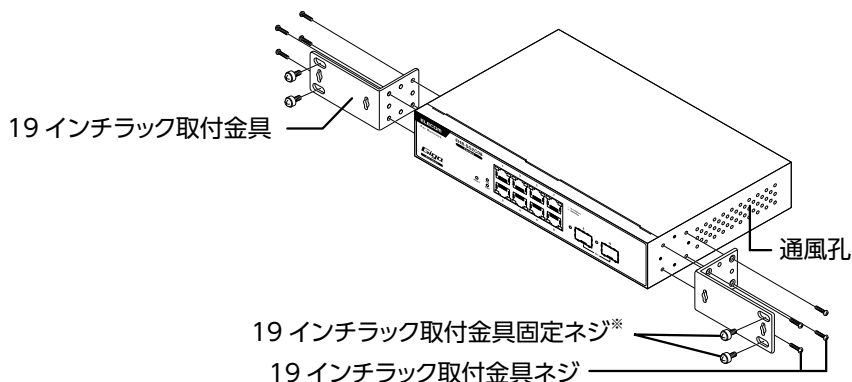
19 インチラックに取り付ける

1 付属の 19 インチラック取付金具を、本製品に取り付けます。

19 インチラック取付金具ネジを使用して、下図の向きで取り付けます。

2 本製品を、ラックに取り付けます。

19 インチラック取付金具固定ネジを使用して、19 インチラック取付金具をラックに取り付けます。

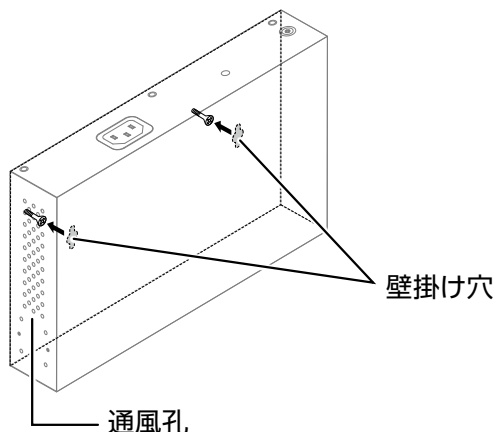


重要

- ラック内の温度は多くの機器が動作することで室温より高くなることが想定されます。
ラック環境の温度が動作温度範囲内であることを確認してください。
- 本製品は EIA 規格準拠となります。

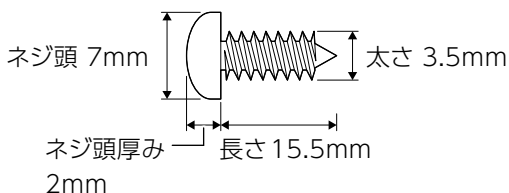
壁面に設置する

壁に市販のネジ（2 本）を取り付けた後、本製品の壁掛け穴をネジに掛けて固定してください。



※ 壁面設置用ネジは同梱しておりませんので別途ご用意ください。

推奨ネジ

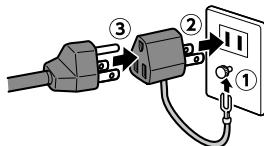


重要

- 壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定強度が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。必ず落下防止対策を行ってください。
- 付属の19 インチラック取付金具を使用して本製品を高所・天井面に設置しないでください。
- 直射日光が当たる壁面、水がかかる恐れのある壁面、ほこりが多い壁面は避けてください。

ACコンセントが2ピンの場合

付属の3ピン-2ピン変換アダプターでコンセントに接続してください。



- 感電防止および安定動作のため、必ずアースを接地してください。
- アース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてからはずしてください。
- 順序を守らないと故障・感電・火災の原因となります。アース線がコンセントや他の電極に接触しないようにしてください。

設定リファレンス編

管理画面(設定画面)を表示する	48
各メニューについて	49
ステータス	49
ネットワーク	49
ポート	50
PoE	50
VLAN	51
MACアドレステーブル	52
スパニングツリー	52
検出	53
マルチキャスト	54
セキュリティ	56
アクセス制御設定	58
QoS	59
診断	60
管理	61
ループ防止	62
設定の保存と再起動	63
ステータス	64
システム情報	64
管理者権限での表示画面	64
ユーザー権限での表示画面	64
ログメッセージ	66
【ポート】統計	67
【ポート】ポート自動シャットダウン	69
【ポート】帯域幅使用率	70

リンクアグリゲーション	71
MACアドレステーブル	72
ネットワーク	73
IPアドレス	73
IPv4アドレス	73
IPv6アドレス	73
動作ステータス	74
システム時刻	75
SNTP	76
手動設定	76
サマータイム	76
動的ステータス	76
ポート	77
ポート設定	77
ポート自動シャットダウン設定	79
【リンクアグリゲーション】グループ	81
【リンクアグリゲーション】ポート設定	83
【リンクアグリゲーション】LACP	85
EEE	87
ジャンボフレーム	89
PoE	90
グローバル設定	90
電力表示	92
VLAN	93
【VLAN】VLAN作成	93

【VLAN】VLAN 設定	95
【VLAN】メンバーシップ	96
【VLAN】ポート設定	99
【Voice VLAN】プロパティ	101
【Voice VLAN】Voice OUI	103
【プロトコル VLAN】プロトコルグループ	104
【プロトコル VLAN】グループバインディング	105
【MAC VLAN】MACグループ	106
【MAC VLAN】グルーピング	107
【サーベイランスVLAN】プロパティ	108
【サーベイランスVLAN】サーベイランス OUI	110
【GVPR】プロパティ	111
【GVPR】メンバーシップ	113
【GVPR】統計	114
MAC アドレステーブル	115
動的アドレス	115
静的アドレス	116
フィルタリングアドレス	117
エージングタイム	118
スパンニングツリー	119
プロパティ	119
ポート設定	121
MST インスタンス	124
MST ポート設定	126
統計	128

検出	130
【LLDP】プロパティ	130
LLDP	130
LLDP-MED	131
【LLDP】ポート設定	132
【LLDP】MED ネットワークポリシー	134
【LLDP】MED ポート設定	136
Location	137
【LLDP】パケットビュー	138
【LLDP】ローカル情報	141
【LLDP】ネイバー	144
基本詳細	145
【LLDP】統計	146
マルチキャスト	147
【一般】プロパティ	147
マルチキャスト転送方式	147
【一般】グループアドレス	148
【一般】ルーターポート	150
【一般】転送設定	152
【一般】スロットル	154
【一般】フィルタリングプロファイル	156
【一般】フィルタリング	157
【IGMP Snooping】プロパティ	159
【IGMP Snooping】クエリア	161
【IGMP Snooping】統計	163
【MLD Snooping】プロパティ	164

【MLD Snooping】統計	166
【MVR】MVR プロパティ	167
【MVR】MVR ポート設定	168
【MVR】MVR グループアドレス	170
セキュリティ	172
RADIUS	172
デフォルトパラメータを使用	172
TACACS+	174
デフォルトパラメータを使用	174
【AAA】認証方式リスト	175
【AAA】ログイン認証	177
【管理アクセス】管理 VLAN	178
【管理アクセス】管理 サービス	179
管理 サービス	179
セッションタイムアウト	179
パスワードリトライカウント	180
サイレントタイム	180
【管理アクセス】管理画面アクセス制御設定	181
【管理アクセス】管理画面アクセスリスト作成	182
【認証管理】プロパティ	185
【認証管理】ポート設定	187
共通タイマー	189
802.1x パラメータ	189
Web ベースパラメータ	189
【認証管理】MAC ベースローカルアカウント	190
割り当てタイマー	191
【認証管理】WEB ベースローカルアカウント	192

割り当てタイマー	193
【認証管理】セッション	194
ポートセキュリティ	195
保護ポート	197
ストームコントロール	198
【DoS】プロパティ	200
【DoS】ポート設定	202
【ダイナミックARPインスペクション】プロパティ	203
【ダイナミックARPインスペクション】統計	205
【DHCP Snooping】プロパティ	206
【DHCP Snooping】統計	208
【DHCP Snooping】Option82プロパティ	209
【DHCP Snooping】Option82サーキットID	211
【IPソースガード】ポート設定	212
【IPソースガード】IMPVバインディング	214
【IPソースガード】データ保存	216
アクセス制御設定	217
MACアドレスアクセス制御設定	217
MACアドレスアクセス制御リスト作成	218
IPv4アドレスアクセス制御設定	221
IPv4アクセス制御リスト作成	222
IPv6アドレスアクセス制御設定	226
IPv6アクセス制御リスト作成	227
アクセス制御設定バインディング	231
QoS	233
【一般】プロパティ	233

リマーケティング	234
【一般】キュースケジューリング	235
【一般】CoS マッピング	236
【一般】DSCP マッピング	237
【一般】IP 優先順位マッピング	238
【レート制限】入出力ポート	239
【レート制限】出力キュー	241
診断	243
【ログ】プロパティ	243
RAMログ／Flash ログ	243
【ログ】Syslog サーバー	244
ミラーリング	246
Ping	248
Traceroute	249
ケーブルテスト	250
ファイバーモジュール	251
【単一方向リンク検出】プロパティ	252
【単一方向リンク検出】ネイバー	253
管理	254
ユーザーアカウント	254
アドミリンク	256
基本設定	256
詳細設定	257
【ファームウェア】アップグレード	259
「更新方法」に「TFTP」を選択した場合	259
「更新方法」に「HTTP」を選択した場合	260

【設定】復元 / バックアップ	261
復元で「更新方法」に「TFTP」を選択した場合	261
復元で「更新方法」に「HTTP」を選択した場合	262
バックアップで「更新方法」に「TFTP」を選択した場合	263
バックアップで「更新方法」に「HTTP」を選択した場合	265
【設定】保存	266
【SNMP】ビュー	267
【SNMP】グループ	268
【SNMP】コミュニティ	270
【SNMP】ユーザー	272
認証あり	273
暗号化	273
【SNMP】エンジンID	274
【SNMP】トラップ	275
【SNMP】通知	276
【RMON】統計	279
【RMON】履歴	282
【RMON】イベント	284
【RMON】アラーム	286
上昇／降下	287
タイムスケジュール	288
ループ防止	290
プロパティ	290
ステータス	291

管理画面(設定画面)を表示する

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザーから利用できる設定画面があります。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

1 本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを設定します。

IPアドレス：192.168.3.xxx

xxxは、2～254までの任意の数字にします。

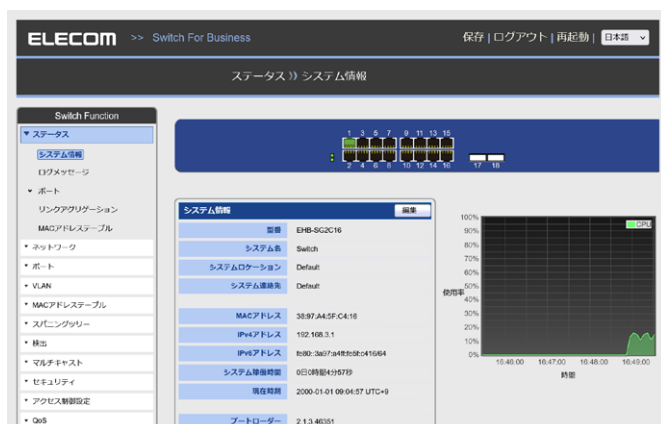
2 本製品に接続しているパソコンのWeb ブラウザーを開き、以下のWeb ページを表示します。

認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードに「admin」を入力し、[ログイン]をクリックします。

<http://192.168.3.1/>



管理画面が表示されます。



- ご利用のWeb ブラウザー（Google Chrome など）のバージョンによっては「保護されていない」などの警告が表示される場合がありますが、セキュリティ上問題ありません。そのまま操作を続けてください。

重要

設定を変更した場合は、必ず各ページの「適用」をクリックして設定を保存してください。

「適用」をクリックせずに他の画面に移動すると、設定が変更されません。

また、各種設定を終了する前に必ず設定画面右上の「保存」をクリックして、設定を保存してください。

各メニューについて

■ ステータス

メニュー項目	内容
システム情報	本製品のハードウェア情報や IP アドレスなどのシステム情報を表示します。 → P64 「システム情報」
ログメッセージ	システムログを表示します。 → P66 「ログメッセージ」
ポート	●統計 ポートの統計情報を表示します。 → 67 ページ 「【ポート】 統計」 ●ポート自動シャットダウン ポート自動シャットダウンの原因、残り時間を表示します。 → P69 「【ポート】 ポート自動シャットダウン」 ●帯域幅使用率 帯域幅使用率を表示します。 → P70 「【ポート】 帯域幅使用率」
リンクアグリゲーション	リンクアグリゲーション情報を表示します。 → P71 「リンクアグリゲーション」
MAC アドレステーブル	MAC アドレス情報を表示します。 → P72 「MAC アドレステーブル」

■ ネットワーク

メニュー項目	内容
IP アドレス	IP アドレスを設定します。 → P73 「IP アドレス」
システム時刻	システム時刻を設定します。 → P75 「システム時刻」

■ ポート

メニュー項目	内容
ポート設定	ポートを設定します。 → P77 [ポート設定]
ポート自動シャットダウン設定	ポートの自動シャットダウン設定をします。 → P79 [ポート自動シャットダウン設定]
リンクアグリゲーション	●グループ リンクアグリゲーションのテーブル設定を行います。 → P81 [【リンクアグリゲーション】グループ] ●ポート設定 リンクアグリゲーションのポート設定を行います。 → P83 [【リンクアグリゲーション】ポート設定] ●LACP リンクアグリゲーションの LACP ポート設定を行います。 → P85 [【リンクアグリゲーション】LACP]
EEE	EEE 機能の有効／無効を設定します。 → P87 [EEE]
ジャンボフレーム	ジャンボフレーム機能の有効／無効に設定します。 → P89 [ジャンボフレーム]

■ PoE

メニュー項目	内容
PoE	●グローバル設定 PoE の設定を行います。 → P90 [グローバル設定] ●電力表示 PoE の状態を表示します。 → P92 [電力表示]

■ VLAN

メニュー項目	内容
VLAN	● VLAN 作成 VLAN を作成します。 → P93 [【VLAN】 VLAN 作成] ● VLAN 設定 VLAN を設定します。 → P95 [【VLAN】 VLAN 設定] ● メンバーシップ VLAN のメンバーシップを設定します。 → P96 [【VLAN】 メンバーシップ] ● ポート設定 ポート VLAN を設定します。 → P99 [【VLAN】 ポート設定]
Voice VLAN	● プロパティ Voice VLAN を設定します。 → P101 [【Voice VLAN】 プロパティ] ● Voice OUI Voice OUI を設定します。 → P103 [【Voice VLAN】 Voice OUI]
プロトコル VLAN	● プロトコルグループ プロトコルグループを設定します。 → P104 [【プロトコル VLAN】 プロトコルグループ] ● グループバインディング グループバインディングを設定します。 → P105 [【プロトコル VLAN】 グループバインディング]
MAC VLAN	● MAC グループ MAC グループを設定します。 → P106 [【MAC VLAN】 MAC グループ] ● グループピング グループピングテーブルを設定します。 → P107 [【MAC VLAN】 グループピング]
サーベイランス VLAN	● プロパティ サーベイランス VLAN を設定します。 → P108 [【サーベイランス VLAN】 プロパティ] ● サーベイランス OUI サーベイランス OUI を設定します。 → P110 [【サーベイランス VLAN】 サーベイランス OUI]

GVRP	●プロパティ GVRP の設定をします。 → P111 【GVRP】 プロパティ ●メンバーシップ GVRP のメンバーシップを設定します。 → P113 【GVRP】 メンバーシップ ●統計 GVRP の統計の設定をします。 → P114 【GVRP】 統計
------	---

■ MACアドレステーブル

メニュー項目	内容
動的アドレス	動的 MAC アドレスを設定します。 → P115 【動的アドレス】
静的アドレス	スイッチが管理している静的アドレステーブルを表示します。 → P116 【静的アドレス】
フィルタリングアドレス	フィルタリングを設定します。 → P117 【フィルタリングアドレス】
エージングタイム	エージングタイムを設定します。 → P118 【エージングタイム】

■ スパニングツリー

メニュー項目	内容
プロパティ	スパニングツリーのプロパティを設定します。 → P119 【プロパティ】
ポート設定	スパニングツリーのポート設定をします。 → P121 【ポート設定】
MST インスタンス	MST インスタンスの設定をします。 → P124 【MST インスタンス】
MST ポート設定	MST ポートを設定します。 → P126 【MST ポート設定】
統計	スパニングツリーの統計を表示します。 → P128 【統計】

■ 検出

メニュー項目	内容
LLDP	●プロパティ LLDP (Link Layer Discovery Protocol) のプロパティを設定します。 → P130 「【LLDP】 プロパティ」 ●ポート設定 ポートごとに LLDP を設定します。 → P132 「【LLDP】 ポート設定」 ●MED ネットワークポリシー MED ネットワークポリシーテーブルを設定します。 → P134 「【LLDP】 MED ネットワークポリシー」 ●MED ポート設定 MED ポートを設定します。 → P136 「【LLDP】 MED ポート設定」 ●パケットビュー パケットビューの情報を表示します。 → P138 「【LLDP】 パケットビュー」 ●ローカル情報 本製品の LLDP 情報を表示します。 → P141 「【LLDP】 ローカル情報」 ●ネイバー ネイバーの情報を表示します。 → P144 「【LLDP】 ネイバー」 ●統計 LLDP の統計を表示します。 → P146 「【LLDP】 統計」

■ マルチキャスト

メニュー項目	内容
一般	●プロパティ マルチキャストのプロパティを設定します。 → P147 「【一般】 プロパティ」 ●グループアドレス マルチキャストのグループアドレスを設定します。 → P148 「【一般】 グループアドレス」 ●ルーターポート ルーターポートを設定します。 → P150 「【一般】 ルーターポート」 ●転送設定 転送の設定をします。 → P152 「【一般】 転送設定」 ●スロットル スロットルの設定をします。 → P154 「【一般】 スロットル」 ●フィルタリングプロファイル フィルタリングのプロファイルを設定します。 → P156 「【一般】 フィルタリングプロファイル」 ●フィルタリング フィルタリングの設定をします。 → P157 「【一般】 フィルタリング」
IGMP Snooping	●プロパティ IGMP Snooping のプロパティを設定します。 → P159 「【IGMP Snooping】 プロパティ」 ●クエリア IGMP Snooping クエリアを設定します。 → P161 「【IGMP Snooping】 クエリア」 ●統計 IGMP Snooping の統計を表示します。 → P163 「【IGMP Snooping】 統計」
MLD Snooping	●プロパティ MLD Snooping のプロパティを設定します。 → P164 「【MLD Snooping】 プロパティ」 ●統計 MLD Snooping の統計を表示します。 → P166 「【MLD Snooping】 統計」

MVR	● MVR プロパティ MVR のプロパティを設定します。 → P167 「【MVR】 MVR プロパティ」 ● MVR ポート設定 MVR ポートの設定をします。 → P168 「【MVR】 MVR ポート設定」 ● MVR グループアドレス MVR グループアドレスの設定をします。 → P170 「【MVR】 MVR グループアドレス」
-----	---

■ セキュリティ

メニュー項目	内容
RADIUS	RADIUS サーバーの設定をします。 → P172 [RADIUS]
TACACS+	TACACS+ の設定をします。 → P174 [TACACS+]
AAA	●認証方式リスト 認証方式を設定します。 → P175 「[AAA] 認証方式リスト」 ●ログイン認証 ログイン認証の設定をします。 → P177 「[AAA] ログイン認証」
管理アクセス	●管理 VLAN 管理 VLAN を選択します。 → P178 「[管理アクセス] 管理 VLAN」 ●管理サービス 管理サービスの設定をします。 → P179 「[管理アクセス] 管理サービス」 ●管理画面アクセス制御設定 管理アクセスの制御設定をします。 → P181 「[管理アクセス] 管理画面アクセス制御設定」 ●管理画面アクセス制御リスト作成テーブル → P182 「[管理アクセス] 管理画面アクセスリスト作成」
認証管理	●プロパティ → P185 「[認証管理] プロパティ」 ●ポート設定 → P187 「[認証管理] ポート設定」 ●MAC ベースローカルアカウントテーブル → P190 「[認証管理] MAC ベースローカルアカウント」 ●WEB ベースローカルアカウントテーブル → P192 「[認証管理] WEB ベースローカルアカウント」 ●セッション → P194 「[認証管理] セッション」
ポートセキュリティ	ポートのセキュリティを設定します。 → P195 「ポートセキュリティ」

保護ポート	保護ポートの設定をします。 → P197「保護ポート」
ストームコントロール	トラフィックを制限して過負荷状態になるのを防ぎます。 → P198「ストームコントロール」
DoS	●プロパティ DoS 攻撃防止のための設定を行います。 → P200「【DoS】プロパティ」 ●ポート設定 → P202「【DoS】ポート設定」
ダイナミック ARP インспекション	●プロパティ ダイナミック ARP インспекションのプロパティを設定します。 → P203「【ダイナミック ARP インспекション】プロパティ」 ●統計 ダイナミック ARP インспекションの統計を表示します。 → P205「【ダイナミック ARP インспекション】統計」
DHCP Snooping	●プロパティ DHCP Snooping のプロパティを設定します。 → P206「【DHCP Snooping】プロパティ」 ●統計 DHCP Snooping の統計を表示します。 → P208「【DHCP Snooping】統計」 ●Option82 プロパティ Option82 のプロパティを設定します。 → P209「【DHCP Snooping】Option82 プロパティ」 ●Option82 サーキット ID Option82 のサーキット ID を設定します。 → P211「【DHCP Snooping】Option82 サーキット ID」
IP ソースガード	●ポート設定 IP ソースガードのポートを設定します。 → P212「【IP ソースガード】ポート設定」 ●IMPV バインディング IP ソースガードの IMPV バインディングを設定します。 → P214「【IP ソースガード】IMPV バインディング」 ●データ保存 → P216「【IP ソースガード】データ保存」

■ アクセス制御設定

メニュー項目	内容
MAC アドレスアクセス制御設定	MAC アドレスでアクセスを制御します。 → P217 「MAC アドレスアクセス制御設定」
MAC アドレスアクセス制御リスト作成	アクセス制御を追加したり、編集することができます。 → P218 「MAC アドレスアクセス制御リスト作成」
IPv4 アクセス制御設定	IPv4 アドレスでアクセスを制御します。 → P221 「IPv4 アドレスアクセス制御設定」
IPv4 アクセス制御リスト作成	アクセス制御を追加したり、編集することができます。 → P222 「IPv4 アクセス制御リスト作成」
IPv6 アクセス制御設定	IPv6 アドレスでアクセスを制御します。 → P226 「IPv6 アドレスアクセス制御設定」
IPv6 アクセス制御リスト作成	アクセス制御を追加したり、編集することができます。 → P227 「IPv6 アクセス制御リスト作成」
アクセス制御設定バインディング	アクセス制御バインディングを設定します。 → P231 「アクセス制御設定バインディング」

■ QoS

メニュー項目	内容
一般	●プロパティ CoS や Trust モードなどを設定します。 → P233 「【一般】プロパティ」 ●キュースケジューリング キューのスケジューリングを設定します。 → P235 「【一般】キュースケジューリング」 ●CoS マッピング CoS のマッピングテーブルを設定します。 → P236 「【一般】CoS マッピング」 ●DSCP マッピング DSCP のマッピングテーブルを設定します。 → P237 「【一般】DSCP マッピング」 ●IP 優先順位マッピング IP 優先順位のマッピングテーブルを設定します。 → P238 「【一般】IP 優先順位マッピング」
レート制限	●入出力ポート 入力／出力ポートにレート制限を設定します。 → P239 「【レート制限】入出力ポート」 ●出力キュー 出力キューに対してレート制限を設定します。 → P241 「【レート制限】出力キュー」

■ 診断

メニュー項目	内容
ログ	●プロパティ 有効にするログを設定します。 → P243 「【ログ】 プロパティ」 ●Syslog サーバー ログを送信するリモートサーバーを設定します。 → P244 「【ログ】 Syslog サーバー」
ミラーリング	ポートミラーリングの設定を行います。 → P246 「ミラーリング」
Ping	Ping を指定したアドレスへ送信します。 → P248 「Ping」
Traceroute	指定したアドレスまでのルートをトレースして表示します。 → P249 「Traceroute」
ケーブルテスト	ポートごとに導通テストを行います。 → P250 「ケーブルテスト」
ファイバーモジュール	ファイバーモジュールの状態を表示します。 → P251 「ファイバーモジュール」
単一方向リンク検出	●プロパティ → P252 「【単一方向リンク検出】 プロパティ」 ●ネイバー ネイバーの情報を表示します。 → P253 「【単一方向リンク検出】 ネイバー」

■ 管理

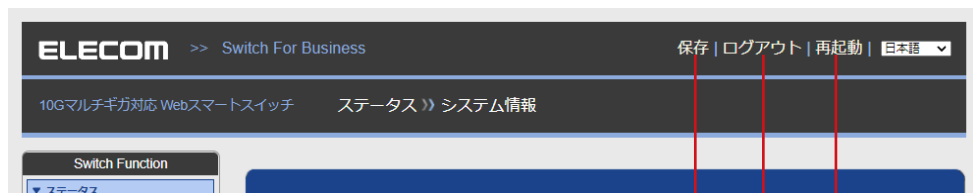
メニュー項目	内容
ユーザーアカウント	ユーザーの追加／編集を行います。 → P254 「ユーザーアカウント」
アドミリンク	●基本設定 → P256 「基本設定」 ●詳細設定 → P257 「詳細設定」
ファームウェア	●アップグレード ファームウェアをアップグレードします。 → P259 「【ファームウェア】 アップグレード」
設定	●復元 / バックアップ → P261 「【設定】 復元 / バックアップ」 ●保存 → P266 「【設定】 保存」
SNMP	●ビュー → P267 「【SNMP】 ビュー」 ●グループ → P268 「【SNMP】 グループ」 ●コミュニティ → P270 「【SNMP】 コミュニティー」 ●ユーザー → P272 「【SNMP】 ユーザー」 ●エンジン ID → P274 「【SNMP】 エンジン ID」 ●トラップ → P275 「【SNMP】 トラップ」 ●通知 → P276 「【SNMP】 通知」
RMON	●統計 → P279 「【RMON】 統計」 ●履歴 → P282 「【RMON】 履歴」 ●イベント → P284 「【RMON】 イベント」 ●アラーム → P286 「【RMON】 アラーム」

タイムスケジュール	タイムスケジュールの追加／編集を行います。 → P288 「タイムスケジュール」
-----------	---

■ ループ防止

メニュー項目	内容
プロパティ	ループ防止機能の有効／無効を切り替えます。 → P290 「プロパティ」
ステータス	ループ防止機能の状態を表示します。 → P291 「ステータス」

設定の保存と再起動



保存

設定を変更した場合、「保存」ボタンを押して設定を保存します。

ログアウト

管理画面からログアウトします。

再起動

本製品を再起動します。設定を変更した場合は「保存」ボタンを押してから再起動してください。

重要

設定を変更した場合は、必ず各ページの「適用」をクリックして設定を保存してください。

「適用」をクリックせずに他の画面に移動すると、設定が変更されません。

また、各種設定を終了する前に必ず設定画面右上の「保存」をクリックして、設定を保存してください。

「保存」をクリックせずに本製品を再起動すると、設定した内容が最後に「保存」したときの状態に戻ります。

ステータス

システム情報

本製品のハードウェア情報やIPアドレスなどのシステム情報などを表示します。

■ 管理者権限での表示画面

The screenshot shows the 'ステータス >> システム情報' (Status >> System Information) page. The left sidebar contains a 'Switch Function' menu with 'ステータス' (Status) selected. The main content area is divided into three sections:

- LANポートの使用状況** (LAN Port Usage Status): A row of 16 ports, numbered 1 to 16. Ports 1 through 15 are green, indicating they are in use. Port 16 is white, indicating it is not in use.
- システム情報** (System Information): A table showing various system parameters.
- CPUとメモリの使用率** (CPU and Memory Usage Rate): Two line graphs showing usage over time.

Red boxes and arrows highlight the following features:

- LANポートの使用状況を表示します。使用中のポートは緑で点灯します。
- システム情報を設定します → [P65「システム情報編集」](#)
- システム情報を表示します。

■ ユーザー権限での表示画面

The screenshot shows the 'ステータス >> システム情報' (Status >> System Information) page in user mode. The left sidebar contains a 'Switch Function' menu with 'ステータス' (Status) selected. The main content area is divided into three sections:

- LANポートの使用状況** (LAN Port Usage Status): A row of 16 ports, numbered 1 to 16. Ports 1 through 15 are green, indicating they are in use. Port 16 is white, indicating it is not in use.
- システム情報** (System Information): A table showing various system parameters.
- CPUとメモリの使用率** (CPU and Memory Usage Rate): Two line graphs showing usage over time.

システム情報編集

The screenshot shows the 'ELECOM >> Switch For Business' web interface. The top navigation bar includes '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main title is 'ステータス >> システム情報'. The left sidebar, titled 'Switch Function', lists various settings: '▼ ステータス' (Status), 'システム情報' (System Information - selected), 'ログメッセージ' (Log Messages), '▼ ポート' (Port), 'リンクアグリゲーション' (Link Aggregation), 'MACアドレステーブル' (MAC Address Table), '▼ ネットワーク' (Network), '▼ ボート' (Port), '▼ VLAN', '▼ MACアドレステーブル' (MAC Address Table), '▼ スパンニングツリー' (Spanning Tree), '▼ 橋出' (Bridge), '▼ マルチキャスト' (Multicast), '▼ セキュリティ' (Security), '▼ アクセス制御設定' (Access Control Settings), '▼ QoS', and '▼ 802.1Q'. The main content area, titled 'システム情報編集', contains three input fields: 'システム名' (System Name) with the value 'Switch', 'システムロケーション' (System Location) with the value 'Default', and 'システム連絡先' (System Contact) with the value 'Default'. At the bottom of the form are two buttons: '適用' (Apply) and '閉じる' (Close).

項目	内容
システム名	本製品に設定する名前を入力します。 (半角英数字、記号で 255 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)
システムロケーション	本製品の設置場所を入力します。 (半角英数字、記号で 255 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)
システム連絡先	本製品の管理者名を入力します。 (半角英数字、記号で 255 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)

ログメッセージ

システムログを表示します。

MEMO

ログメッセージを表示する場合は、あらかじめ、[診断]→[ログ]→[プロパティ]の「状態」にチェックをいれて有効にしてください。

→[P243](#) **【[ログ] プロパティ】**

表示対象
ログを表示する対象を選択します。(ROM / Flash)

ログの表示件数を変更します。
すべて (初期値) / 10 件 / 30 件 / 50 件 / 100 件

リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

※ 画像のログメッセージの内容はサンプルです。

ログID	時間	ログレベル	説明
1	Jan 01 2000 09:04:55	notice	New http connection for user admin, source 192.168.3.111 ACCEPTED
2	Jan 01 2000 09:04:23	notice	New http connection for user admin, source 192.168.3.111 ACCEPTED
3	Jan 01 2000 09:01:32	notice	CigabitEthernet1 link up
4	Jan 01 2000 09:00:22	notice	RESTART: System restarted - Cold Start
5	Jan 01 2000 09:00:22	notice	Logging is enabled

ログメッセージテーブル

項目	内容
ログ ID	ログ ID を表示します。
時間	ログを取得したシステム設定の日時を表示します。現在時刻でログを取得した場合は SNTP サーバーから時刻を取得してください。(→ P75 【システム時刻】)
重要度	ログの重要度を表示します。通知するログの種類はログのプロパティで設定を行ってください。(→ P243 【[ログ] プロパティ】)
説明	ログの説明を表示します。

【ポート】統計

ポートの統計情報を表示します。

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

ステータス >> ポート >> 統計

Switch Function
▼ ステータス
システム情報
ログメッセージ
▲ ポート
統計
ポート自動シャットダウン
帯域幅使用率
リンクアグリゲーション
MACアドレステーブル
▼ ネットワーク
▲ ポート
ポート設定
ポート自動シャットダウン設定
▼ リンクアグリゲーション
EEE
ジャンボフレーム
▼ VLAN
▼ MACアドレステーブル
▼ スピーニングツリー
▼ 移出
▼ マルチキャスト
▼ セキュリティ
▼ アウゼン制御設定
▼ QoS
▼ 診断
▼ 管理
▲ ループ防止
プロパティ
ステータス

ポート
GET
すべて
インターフェイス
Ethernet
RMON
なし
5 秒
10 秒
30 秒
更新範囲
クリア

インターフェイス
ifInOctets 269581020
ifInUcastPkts 39786
ifInMcastPkts 1534235
ifDiscards 0
ifOutOctets 15016096
ifOutUcastPkts 33908
ifOutMcastPkts 37158
ifOutDiscards 0
ifMulticastPkts 91120
ifInBroadcastPkts 1443132
ifOutBroadcastPkts 30743
ifOutBroadcastPkts 415

Etherlike
dot3StatsAlignmentErrors 0
dot3StatsFCSErrors 0
dot3StatsSingleCollisionFrames 0
dot3StatsMultipleCollisionFrames 0
dot3StatsDeferredTransmissions 0
dot3StatsLateCollisions 0
dot3StatsExcessiveCollisions 0
dot3StatsFrameTooLongs 0
dot3StatsSymbolErrors 0
dot3ControlUnknownOpCodes 0
dot3InPauseFrames 0
dot3OutPauseFrames 0

RMON
etherStatsDropEvents 0
etherStatsOctets 269581020
etherStatsPkts 1574021
etherStatsBroadcastPkts 1443132
etherStatsMulticastPkts 91120
etherStatsCRCAlignErrors 0
etherStatsUnderSizePkts 0
etherStatsOverSizePkts 0
etherStatsFragments 0
etherStatsJabbers 0
etherStatsCollisions 0
etherStatsPkts64Octets 484416
etherStatsPkts65to127Octets 98789
etherStatsPkts128to255Octets 832490
etherStatsPkts256to511Octets 132804
etherStatsPkts512to1023Octets 25542
etherStatsPkts1024to1518Octets 0

項目	内容
ポート	ポートを選択します。
MIB カウンター	MIB カウンターを選択します。
更新間隔	更新間隔を選択します。

【ポート】ポート自動シャットダウン

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

ステータス」ポート」ポート自動シャットダウン

Switch Function

- ▼ ステータス
 - システム情報
 - ログメッセージ
 - ▲ ポート
 - 設定
 - ポート自動シャットダウン
 - 帯域幅使用率
 - リンクアグリゲーション
 - MACアドレステーブル
 - ▼ ネットワーク
 - ▲ ポート
 - ポート設定
 - ポート自動シャットダウン設定
 - ▼ リンクアグリゲーション
 - EEE
 - ジャンボフレーム
 - ▼ VLAN
 - ▼ MACアドレステーブル
 - ▼ スピーニングツリー
 - ▼ 橋出
 - ▼ マルチキャスト
 - ▼ セキュリティ
 - ▼ アラーム設定
 - ▼ QoS

ポート自動シャットダウンテーブル

☐	ポート	原因	残り時間 (秒)
☐	GE1	—	—
☐	GE2	—	—
☐	GE3	—	—
☐	GE4	—	—
☐	GE5	—	—
☐	GE6	—	—
☐	GE7	—	—
☐	GE8	—	—
☐	GE9	—	—
☐	GE10	—	—
☐	GE11	—	—
☐	GE12	—	—
☐	GE13	—	—
☐	GE14	—	—
☐	GE15	—	—
☐	GE16	—	—
☐	GE17	—	—
☐	GE18	—	—
☐	LAG1	—	—
☐	LAG2	—	—
☐	LAG3	—	—
☐	LAG4	—	—
☐	LAG5	—	—
☐	LAG6	—	—
☐	LAG7	—	—
☐	LAG8	—	—

リフレッシュ リカバリー

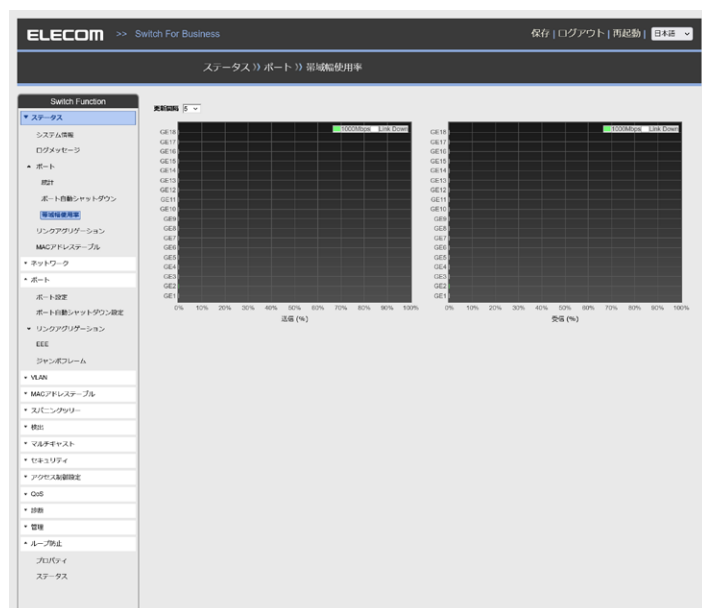
リカバリー

リフレッシュ

表示内容を最新のものに更新します。

【ポート】帯域幅使用率

帯域幅使用率をグラフで表示します。



リンクアグリゲーション

リンクアグリゲーション情報を表示します。

リンクアグリゲーションテーブル

LAG	名前	タイプ	リンクステータス	アクティブメンバー	非アクティブメンバー
LAG 1	---	---	---		
LAG 2	---	---	---		
LAG 3	---	---	---		
LAG 4	---	---	---		
LAG 5	---	---	---		
LAG 6	---	---	---		
LAG 7	---	---	---		
LAG 8	---	---	---		

リンクアグリゲーションテーブル

項目	内容
LAG	リンクアグリゲーションのグループ名を表示します。
タイプ	リンクアグリゲーションのタイプを表示します。
リンクステータス	リンクアグリゲーションのリンクステータスを表示します。
アクティブメンバー	リンクアグリゲーションのアクティブに設定したポートを表示します。
非アクティブメンバー	リンクアグリゲーションの非アクティブに設定したポートを表示します。

MACアドレステーブル

スイッチが管理している MAC アドレステーブルを表示します。

Switch Function

- ▼ ステータス
 - システム情報
 - ログメッセージ
 - ▼ ポート
 - リンクアグリゲーション
 - MACアドレステーブル**
 - ▼ ネットワーク
 - ポート
 - ▼ VLAN
 - MACアドレステーブル
 - ▼ スパンニングツリー
 - 移出
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - ▼ 診断
 - 管理
 - ループ防止

ステータス >> MACアドレステーブル

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

MACアドレステーブル

表示: すべて ▼ 1~2件目を表示/22件

VLAN	MACアドレス	タイプ	ポート
1	38 97 AA 5F C4 16	管理	CPU
1	88 85 84 59 6D 2A	動的	GE1

先頭 前へ 1 次へ 最後

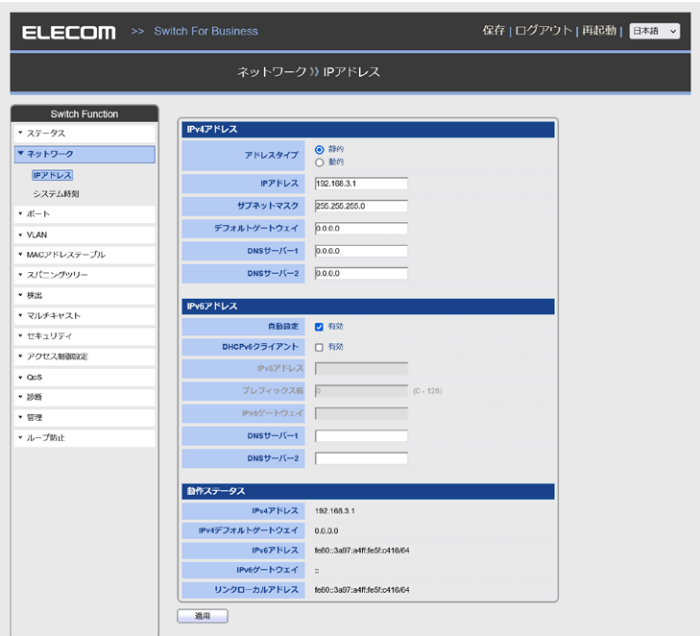
クリア リフレッシュ

リンクアグリゲーションテーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ごとに保持した MAC アドレスを表示します。 VLAN を選択し「クリア」をクリックすると、テーブルをクリアします。 「再表示」をクリックすると、保持した MAC アドレスを再表示します。
MAC アドレス	
タイプ	
ポート	

IP アドレス

IP アドレスの設定をします。



■ IPv4アドレス

項目	内容
アドレスタイプ	IP アドレスを静的に設定するか、動的に割り当てるか選択します。
IP アドレス	「アドレスタイプ」に「静的」を選択しているときに、アドレスを設定します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS サーバー 1	
DNS サーバー 2	

■ IPv6アドレス

項目	内容
自動設定	RA(Router Advertisement) による、ステートレスアドレス自動設定の有効 / 無効を設定します。

項目	内容		
DHCPv6 クライアント	DHCPv6 による、ステートフルアドレス自動設定の有効 / 無効を設定します。自動設定 / DHCPv6 の有効 / 無効の組み合わせにより、アドレスの取得は以下の通りとなります。		
	自動設定	DHCPv6 クライアント	
	有効	有効	リンクローカルアドレスおよびステートレスアドレス自動設定 (RA) と DHCPv6 両方から IP アドレスを取得します。 (IP アドレスの合計 : 3 つ)
	有効	無効	ステートレスアドレス自動設定となります (RA)。
	無効	有効	ステートフルアドレス自動設定となります。
	無効	無効	固定 IPv6 アドレスとなります。
IP アドレス			
プレフィックス長	「アドレスタイプ」に「静的」を選択しているときに、アドレスを設定します。		
IPv6 ゲートウェイ			
DNS サーバー 1 / DNS サーバー 2	DNS サーバーを設定します。		

■ 動作ステータス

項目	内容
IPv4 アドレス	現在の IP アドレス情報が表示されます。
デフォルトゲートウェイ	
IPv6 アドレス	
IPv6 ゲートウェイ	
リンクローカルアドレス	

システム時刻

システム時刻を設定します。

項目	内容	
設定方法	SNTP	SNTP サーバーからシステム時刻を取得します。
	コンピューターから	管理用パソコンの時刻をシステム時刻に設定します。
	手動設定	手動でシステム時刻を設定します。
	MEMO 「コンピューターから」「手動設定」で取得した時刻は本製品を再起動すると、システム情報の現在時刻は初期の時刻にリセットされます。常に現在時刻を取得する場合はSNTPサーバーから時刻取得を行ってください。	
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。 (初期値：UTC + 9 (日本))	

■ SNTP

項目	内容
アドレスタイプ	
サーバーアドレス	「設定方法」に「SNTP」を選択しているときに、SNTP サーバーの情報を入力します。
サーバーポート	

■ 手動設定

項目	内容
日	「設定方法」に「手動設定」を選択しているときに、時刻を入力します。
時間	「日」入力欄をクリックするとカレンダーが表示され日付を選択することが可能です。 (入力形式 日: YYYY-MM-DD / 時刻: HH:MM:SS)

■ サマータイム

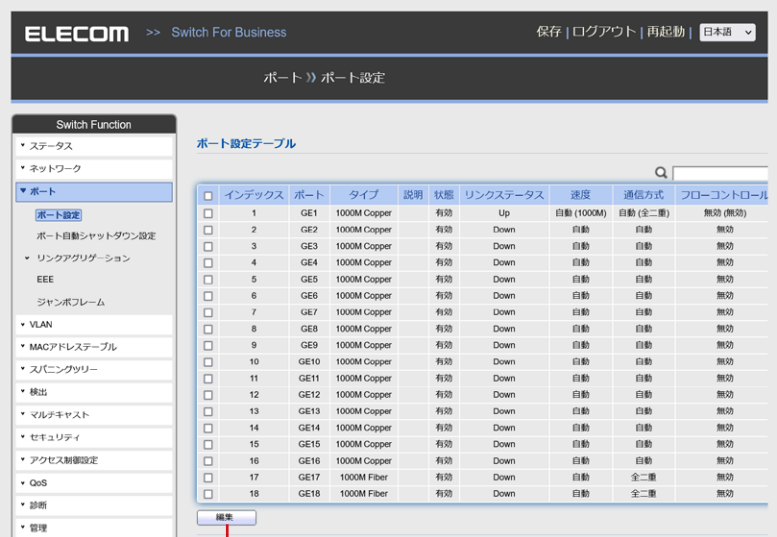
項目	内容
タイプ	なし サマータイムを設定しません。
	繰り返し 毎年決まった時期にサマータイムを設定します。
	不定期 年と日時を指定してサマータイムを設定します。
オフセット	サマータイム時期にオフセットする時間を設定します。 (1-1440 分 初期値: 60 分)
繰り返し	サマータイムの開始時期と終了時期を設定します。 曜日、週、月、時間をリストから選択できます。
	曜日 日曜日 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日
	週 1 / 2 / 3 / 4 / 5
	月 1 月 / 2 月 / 3 月 / 4 月 / 5 月 / 6 月 / 7 月 / 8 月 / 9 月 / 10 月 / 11 月 / 12 月
	時間 00:00 ~ 23:00 で正時単位
不定期	サマータイムの開始日時と終了日時を設定します。 開始、終了欄をクリックするとカレンダーから日付を入力できます。 時刻はリストから 00:00 ~ 23:00 の正時単位で選択できます。

■ 動的ステータス

項目	内容
現在時刻	本製品に設定された時刻、または本製品が取得した現在時刻を表示します。

ポート設定

物理ポートの設定をします。



選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P78「ポート設定編集」](#)

項目	内容
インデックス	ポート設定テーブルのエントリー番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
タイプ	各ポートのリンクタイプを表示します。
説明	ポートの説明を表示します。
状態	ポート設定の有効、無効を表示します。
リンクステータス	各ポートのリンクステータス、速度などの情報を表示します。
速度	
通信方式	
フローコントロール	

ポート設定編集

The screenshot shows the 'Port Setting' (ポート設定) page in the ELECOM Switch For Business web interface. The left sidebar contains a 'Switch Function' menu with options like 'ステータス', 'ネットワーク', 'ポート', 'ポート自動シャットダウン設定', 'リンクアップリケーション', 'EEE', 'ジャンプフレーム', 'VLAN', 'MACアドレステーブル', 'スプリングワリー', '抽出', 'マルチキャスト', 'セキュリティ', 'アクセス制御設定', 'QoS', and '802.3ac'. The 'ポート' option is selected, and its sub-menu 'ポート設定' is active. The main content area is titled 'ポート設定編集' and shows settings for port 'GE1'. It includes a '説明' (Description) field, a '状態' (Status) section with a checked '有効' (Enabled) radio button, a '速度' (Speed) section with '自動' (Auto) selected among 10M, 100M, and 1000M, a '通信方式' (Communication Mode) section with '自動' (Auto) selected among '全二重' (Full Duplex), '半二重' (Half Duplex), and '自動' (Auto), and a 'フローコントロール' (Flow Control) section with '有効' (Enabled) selected among '自動' (Auto), '有効' (Enabled), and '無効' (Disabled). At the bottom are '適用' (Apply) and '閉じる' (Close) buttons.

項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
説明	ポートの説明を入力します。
状態	無効にする場合は、チェックを外します。(初期値：有効)
速度	ポートの速度を設定します。 自動（初期値）／100M／1000M
通信方式	通信方式を設定します。 自動（初期値）／全二重／半二重
フローコントロール	フローコントロールの設定をします。 自動／有効／無効（初期値）

ポート自動シャットダウン設定

ポートの自動シャットダウン設定をします。

項目	内容
リカバリーインターバル	(範囲: 30 ~ 86400、初期値: 300)
BPDU ガード	BPDU ガードが発生した場合、ポートを自動シャットダウンします。 (初期値: 無効)
UDLD	UDLD が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。 (初期値: 無効)
セルフループ	セルフループが発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。 (初期値: 無効)
ブロードキャストフラッドディンク	ブロードキャストフラッドディンクが発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値: 無効)
未知のマルチキャストフラッドディンク	未知のマルチキャストフラッドディンクが発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値: 無効)
ユニキャストフラッドディンク	ユニキャストフラッドディンクが発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。
ACL	ACL が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値: 無効)
ポートセキュリティ	ポートセキュリティの侵害が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。
DHCP レート制限	DHCP レート制限が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。 (初期値: 無効)

項目	内容
ARP レート制限	ARP レート制限が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。 (初期値：無効)

【リンクアグリゲーション】グループ

リンクアグリゲーションのテーブル設定を行います。

項目	内容
負荷分散方式	負荷分散方式を「MAC アドレス」または、「IP-MAC アドレス」のいずれかに設定します。

リンクアグリゲーションテーブル

項目	内容
LAG	リンクアグリゲーショングループを表示します。
タイプ	リンクアグリゲーショングループのタイプを表示します。
リンクステータス	ポートのリンクステータスを表示します。
アクティブメンバー	リンクアグリゲーショングループでアクティブなポートを表示します。
非アクティブメンバー	リンクアグリゲーショングループで非アクティブなポートを表示します。

リンクアグリゲーショングループ編集

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
 - ポート設定
 - ポート自動シャットダウン設定
 - リンクアグリゲーション
 - グループ**
 - ポート設定
 - LACP
 - EEE
 - ジャンボフレーム
 - VLAN
 - MAGアドレステーブル
 - スパンニングツリー
 - 移出

リンクアグリゲーショングループ編集

LAG 1

名前

タイプ

☒ 静的

☐ LACP

メンバー

利用可能なポート

選択済みのポート

適用 閉じる

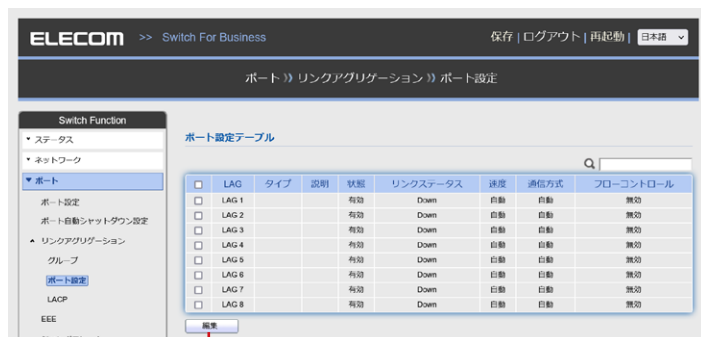
項目	内容
LAG	リンクアグリゲーションテーブル画面で選択したグループを表示します。
名前	リンクアグリゲーショングループの名前を設定します。
タイプ	リンクアグリゲーショングループのタイプを表示します。 (静的 または LACP)
メンバー	リンクアグリゲーショングループに選択するポートを設定します。

MEMO

メンバーに指定する物理ポートの 速度／デュプレックス／フローコントロール設定は、すべて同一の設定内容にしてください。

【リンクアグリゲーション】ポート設定

リンクアグリゲーションのテーブル設定を行います。



選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P84「ポート設定編集」](#)

ポート設定テーブル

項目	内容
LAG	リンクアグリゲーショングループを表示します。
タイプ	リンクアグリゲーションポートのタイプを表示します。
説明	リンクアグリゲーショングループの説明を表示します。
状態	リンクアグリゲーショングループの状態を表示します。(有効または無効)
リンクステータス	ポートのリンクステータスを表示します。
速度	リンクアグリゲーションのポートのリンクアップ速度が表示されます。 (自動／自動-10M／自動-100M／自動-10M/100M／10M／100M／1000M)
通信方式	リンクアグリゲーションポートのデュプレックスを表示します。
フローコントロール	ポート設定編集画面で設定したフローコントロールの状態を表示します。 (自動／有効／無効)

ポート設定編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

ポート >> リンクアグリゲーション >> ポート設定

Switch Function

- ▼ ステータス
- ▼ ネットワーク
- ▼ ポート
 - ポート設定
 - ポート自動シャットダウン設定
 - ▲ リンクアグリゲーション
 - グループ
 - ポート設定
 - LAGP
 - EEE
 - ジャンボフレーム
- ▼ VLAN
- ▼ MACアドレステーブル
- ▼ スパンニングツリー
- ▼ 橋渡し
- ▼ マルチキャスト
- ▼ サブマニタリング

ポート設定編集

ポート LAG3

説明

状態 ☒ 有効

速度

- ☒ 自動 ☐ 10M ☐ 100M
- ☐ 自動 - 10M ☐ 1000M
- ☐ 自動 - 100M
- ☐ 自動 - 1000M
- ☐ 自動 - 10M/100M

フローコントロール

- ☐ 自動
- ☐ 有効
- ☒ 無効

適用 閉じる

項目	内容
ポート	リンクアグリゲーショングループを表示します。
説明	リンクアグリゲーショングループの説明を入力します。
状態	リンクアグリゲーショングループの状態を設定します。(有効または無効)
速度	選択されたポートの速度を設定します。 (自動 / 自動 - 10M / 自動 - 100M / 自動 - 10M/100M / 10M / 100M / 1000M)
フローコントロール	選択されたポートのフローコントロールを設定します。 (自動 / 有効 / 無効)

【リンクアグリゲーション】LACP

リンクアグリゲーションのテーブル設定を行います。

The screenshot shows the 'LACPポート設定テーブル' (LACP Port Configuration Table) in the ELECOM Switch For Business web interface. The table has four columns: 'インデックス' (Index), 'ポート' (Port), 'ポートプライオリティ' (Port Priority), and 'タイムアウト' (Timeout). The table lists 18 ports (GE1 to GE18) with a priority of 1 and a timeout of Long. A red arrow points to the 'インデックス' column header, indicating that selecting a port in this column will apply the settings to all ports.

選択中のポートを設定します。

「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P86 「LACP ポート設定編集」](#)

項目	内容
システムプライオリティ	LACP システムプライオリティの設定を行います。値が小さいほどシステムプライオリティは高くなります。プライオリティに指定できる範囲は 1 ～ 65535 です。(初期値: 32768)

LACP ポート設定テーブル

項目	内容
インデックス	LACP のインデックス番号です。
ポート	LACP にエントリーするポート番号です。
ポートプライオリティ	LACP ポート設定編集画面で設定したプライオリティの値が表示されます。
タイムアウト	LACP ポート設定編集画面で設定したプライオリティのタイムアウトを表示します。

LACP ポート設定編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes the ELECOM logo, a breadcrumb trail '>> Switch For Business', and links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main header area displays the path 'ポート >> リンクアグリゲーション >> LACP'. On the left, a 'Switch Function' sidebar lists various settings, with 'ポート' (Port) currently selected. The main content area, titled 'LACPポート設定編集', contains a configuration form. This form has three main sections: 'ポート' (Port) with a dropdown menu showing 'GE10', 'ポートプライオリティ' (Port Priority) with a text input field containing '1' and a range '(1 - 65535, デフォルト: 1)' below it, and 'タイムアウト' (Timeout) with radio buttons for 'Long' (selected) and 'Short'. At the bottom of the form are two buttons: '適用' (Apply) and '閉じる' (Close).

項目	内容
ポート	選択したポート番号が表示されます。
ポートプライオリティ	プライオリティの設定を行います。プライオリティ値が低いほど、ポートが LACP 伝送に使用される可能性が高くなります。プライオリティに指定できる範囲は 1 ～ 65535 です。(初期値: 1)
タイムアウト	プライオリティのタイムアウトを設定します。long (30 秒) / short (1 秒) のどちらかを選択します。(初期値: long / short)

EEE

省電力機能 Energy Efficient Ethernet(EEE) 機能の有効／無効を設定します。



選択したポートのEEE設定を編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P88「EEE設定編集」](#)

EEE 設定テーブル

項目	内容
インデックス	EEE 設定テーブルのインデックス番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
状態	各ポートの EEE 設定の有効、無効を表示します。
動作ステータス	各ポートの EEE 設定の動作ステータスを表示します。

EEE 設定編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

ポート >> EEE

Switch Function

- ▼ ステータス
- ▼ ネットワーク
- ▼ ポート
- ポート設定
- ポート自動シャットダウン設定
- ▼ リンクアグリゲーション

EEE設定編集

ポート GE1

状態 ☐ 有効

適用 閉じる

項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	省電力機能 Energy Efficient Ethernet(EEE) を有効にする場合、チェックを入れます。

ジャンボフレーム

ジャンボフレーム機能の有効／無効に設定します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

ポート >> ジャンボフレーム

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
 - ポート設定
 - ポート自動シャットダウン設定
- リンクアグリゲーション
 - グループ
 - ポート設定
 - LACP
- IEEE
 - ジャンボフレーム
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スプリニングテーブル
- 橋出
- マルチキャスト
- サモトリディ

ジャンボフレーム
☐ 有効

注：有効時 10000byte / 無効時 1522byte で動作します

適用

項目	内容
ジャンボフレーム	チェックすると、ジャンボフレームが有効になります。 有効時 10000byte / 無効時 1522byte で動作します。(初期値：無効)

グローバル設定

PoEの設定を行います。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

PoE >> グローバル設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- PoE**
 - グローバル設定
 - 電力表示
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- サブリンクツリー
- 検索
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

最大供給可能電力 120 W

消費電力 0 W

供給可能電力 120 W

スケジュールステータス 無効 ▼

適用

PoEスケジュールテーブル

インデックス	グループ名	ポートリスト	スケジュールステータス
☐ 1	なし		無効
☐ 2	なし		無効
☐ 3	なし		無効
☐ 4	なし		無効
☐ 5	なし		無効
☐ 6	なし		無効
☐ 7	なし		無効
☐ 8	なし		無効
☐ 9	なし		無効
☐ 10	なし		無効
☐ 11	なし		無効
☐ 12	なし		無効
☐ 13	なし		無効
☐ 14	なし		無効
☐ 15	なし		無効
☐ 16	なし		無効
☐ 17	なし		無効
☐ 18	なし		無効
☐ 19	なし		無効
☐ 20	なし		無効
☐ 21	なし		無効
☐ 22	なし		無効
☐ 23	なし		無効
☐ 24	なし		無効

編集

選択したスケジュールを編集します。
→ [P91「PoEスケジュール編集」](#)

項目	内容
最大供給可能電力	
消費電力	現在の状態を表示します。
供給可能電力	
スケジュールステータス	スケジュールステータスの有効／無効を切り替えます。

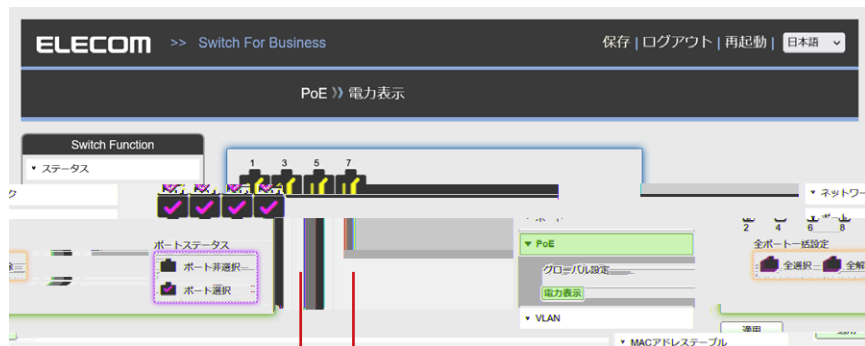
PoE スケジュール編集



項目	内容
インデックス	選択中のインデックス番号を表示します。
スケジュールステータス	スケジュールステータスの有効／無効を切り替えます。
グループ名	「タイムスケジュール」(→ 288 ページ) で事前にタイムスケジュールを作成し、表示されたリストから選択します。
ポートリスト	電力を供給するポートを選択します。

電力表示

ポートにチェックを入れて、「適用」をクリックすると、チェックを入れたポートのPoE機能が有効になります。

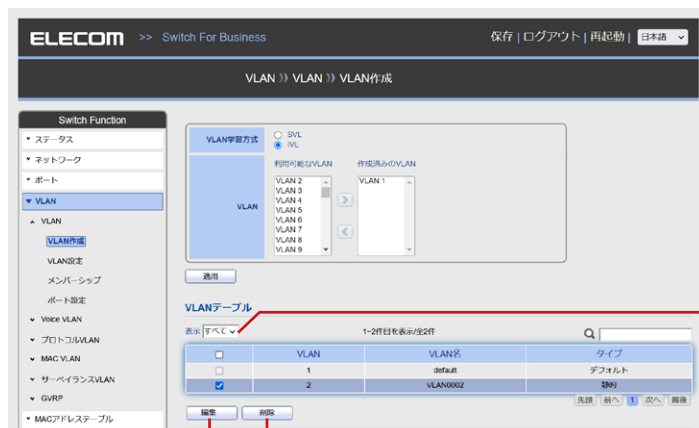


すべてのポートの選択を解除します。

すべてのポートを選択します。

[VLAN] VLAN 作成

VLAN を作成します。



設定された VLAN の表示件数を変更します。
すべて (初期値) / 10 件 / 30 件 / 50 件 / 100 件

選択中の VLAN を削除します。

選択中の VLAN 名を設定します。

項目	内容	
VLAN 学習方式 (FW Ver.2.0.4 以上)	SVL	機器全体で MAC アドレステーブルを保持します。
	IVL	VLAN ごとに MAC アドレステーブルを保持します。 (初期値)
VLAN	利用可能な VLAN	未設定の VLAN をリストで表示します。 VLAN 2 ~ 4094
	作成された VLAN	作成された VLAN をリストで表示します。

VLAN テーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
名前	VLAN 名編集で設定した名前が表示されます。
タイプ	アドレスタイプを表示します。

VLAN 名編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

VLAN >> VLAN >> VLAN作成

Switch Function

- ▼ ステータス
- ▼ ネットワーク
- ▼ ポート
- ▼ **VLAN**
- ▼ VLAN

VLAN名編集

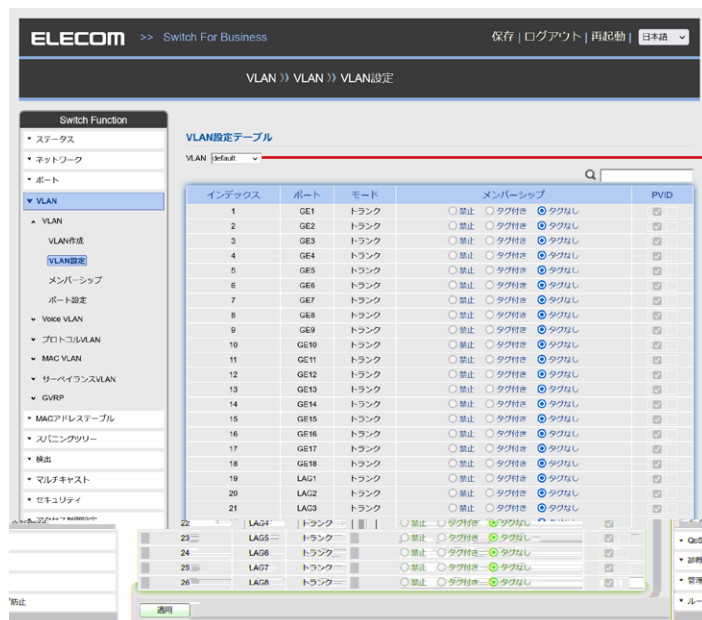
VLAN名:

[VLAN名を再入力してください](#)

項目	内容
名前	VLAN 名前を入力します。 (半角英数字で 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)

[VLAN] VLAN 設定

VLANを設定します。



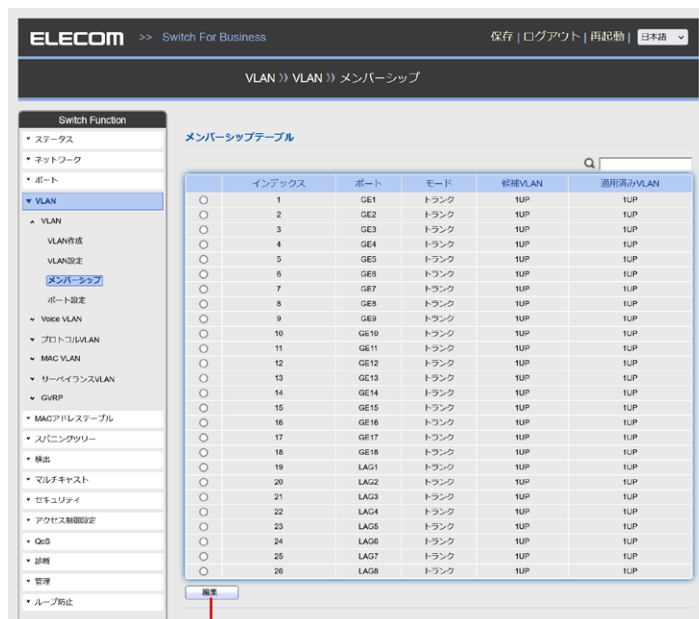
設定するVLANを選択します。

VLAN 設定テーブル

項目	内容
インデックス	VLAN 設定テーブルのインデックス番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
モード	VLAN のモードを表示します。 ハイブリッド／アクセス／トランク
メンバーシップ	メンバーシップ設定を行います。 禁止（初期値）／Tagged／Untagged
PVID	設定しません。

[VLAN] メンバーシップ

VLANのメンバーシップを設定します。



選択したポートのメンバーシップを編集します。
→ [P98「メンバーシップ設定編集」](#)

メンバーシップテーブル

項目	内容
インデックス	メンバーシップテーブルのインデックス番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
モード	VLAN のモードを表示します。 ハイブリッド／アクセス／トランク
候補 VLAN	各ポートの管理 VLAN を表示します。
適用済み VLAN	各ポートの適用済み VLAN を表示します。

MEMO

候補 VLAN、適用済み VLAN には「T」、「U」、「P」が付きます。各項目の内容は以下の通りです。

T(Tagged)	タグ付き VLAN
U(Untagged)	タグなし VLAN
P(PVID)	PVID が有効の VLAN

メンバーシップ設定編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes the ELECOM logo, a breadcrumb trail '>> Switch For Business', and links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main header displays the path 'VLAN > VLAN > メンバーシップ'. On the left, a 'Switch Function' sidebar lists various settings, with 'VLAN' expanded and 'メンバーシップ' highlighted. The main content area, titled 'ポート設定画面', contains a 'ポート' (Port) dropdown menu showing '2', a 'モード' (Mode) dropdown menu showing 'LAGG', and a 'メンバーシップ' (Membership) section. This section has three radio button options: '禁止' (Prohibit), 'タグ付き' (Tagged), and 'タグなし' (Untagged). The 'タグ付き' option is currently selected. Below these are two checkboxes for 'PVID' and two buttons at the bottom: '適用' (Apply) and '戻る' (Back).

項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
モード	選択中のポートのモードを表示します。
メンバーシップ	メンバーシップ設定を行います。 禁止（初期値）／タグ付き／タグなし

[VLAN] ポート設定

ポート VLAN を設定します。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
 - VLAN**
 - VLAN作成
 - VLAN設定
 - メンバーシップ
 - ポート設定**
 - Voice VLAN
 - プロトコルVLAN
 - MAC VLAN
 - サーバイフンスVLAN
 - GVRP
 - MACアドレステーブル
 - スパンニングツリー
 - 橋出
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - 診断
 - 管理
 - ループ防止

VLAN > VLAN > ポート設定

ポート設定テーブル

インデックス	ポート	モード	PVID	許可フレームタイプ	入カフィルタリング	
☐	1	GE1	トランク	1	すべて	有効
☐	2	GE2	トランク	1	すべて	有効
☐	3	GE3	トランク	1	すべて	有効
☐	4	GE4	トランク	1	すべて	有効
☐	5	GE5	トランク	1	すべて	有効
☐	6	GE6	トランク	1	すべて	有効
☐	7	GE7	トランク	1	すべて	有効
☐	8	GE8	トランク	1	すべて	有効
☐	9	GE9	トランク	1	すべて	有効
☐	10	GE10	トランク	1	すべて	有効
☐	11	GE11	トランク	1	すべて	有効
☐	12	GE12	トランク	1	すべて	有効
☐	13	GE13	トランク	1	すべて	有効
☐	14	GE14	トランク	1	すべて	有効
☐	15	GE15	トランク	1	すべて	有効
☐	16	GE16	トランク	1	すべて	有効
☐	17	GE17	トランク	1	すべて	有効
☐	18	GE18	トランク	1	すべて	有効
☐	19	LAG1	トランク	1	すべて	有効
☐	20	LAG2	トランク	1	すべて	有効
☐	21	LAG3	トランク	1	すべて	有効
☐	22	LAG4	トランク	1	すべて	有効
☐	23	LAG5	トランク	1	すべて	有効
☐	24	LAG6	トランク	1	すべて	有効
☐	25	LAG7	トランク	1	すべて	有効
☐	26	LAG8	トランク	1	すべて	有効

編集

選択中のポート設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると
全選択になります。
→ [P100「ポート設定編集」](#)

ポート設定編集

項目	内容						
ポート	選択中のポートを表示します。						
モード	<table border="1"> <tr> <td>ハイブリッド</td><td>ハイブリッドポートに設定する場合、選択します。 複数のタグなし VLAN とタグ付き VLAN を同時に使用できるモードです。</td></tr> <tr> <td>アクセス</td><td>アクセスポートに設定する場合、選択します。 通常、コンピューターなどのデバイスは 1 つのネットワークに所属するのでアクセスポートを使用します。</td></tr> <tr> <td>トランク</td><td>トランクポートに設定する場合、選択します。 主にスイッチ同士を接続する際に使用するポートです。</td></tr> </table>	ハイブリッド	ハイブリッドポートに設定する場合、選択します。 複数のタグなし VLAN とタグ付き VLAN を同時に使用できるモードです。	アクセス	アクセスポートに設定する場合、選択します。 通常、コンピューターなどのデバイスは 1 つのネットワークに所属するのでアクセスポートを使用します。	トランク	トランクポートに設定する場合、選択します。 主にスイッチ同士を接続する際に使用するポートです。
ハイブリッド	ハイブリッドポートに設定する場合、選択します。 複数のタグなし VLAN とタグ付き VLAN を同時に使用できるモードです。						
アクセス	アクセスポートに設定する場合、選択します。 通常、コンピューターなどのデバイスは 1 つのネットワークに所属するのでアクセスポートを使用します。						
トランク	トランクポートに設定する場合、選択します。 主にスイッチ同士を接続する際に使用するポートです。						
PVID	PVID を設定します。(1 - 4094)						
許可フレームタイプ※	許可フレームタイプを設定します。 すべて / タグのみ / タグなしのみ						
入力フィルタリング※	入力フィルタリングの有効、無効を設定します。						

※ モードで「ハイブリッド」を選択した場合、設定します。

【Voice VLAN】プロパティ

Voice VLAN（音声 VLAN）は、VoIP サービスを強化するために、IP 電話からの音声トラフィックに対し VLAN を自動的に割り当てる機能です。

高い優先度と個別の VLAN を使用することで、VoIP トラフィックの品質とセキュリティを保証します。

VLAN タグを持つ VoIP パケットが来ると、音声 VLAN 機能はオリジナルの VLAN タグを置き換えません。

MEMO

- Voice VLAN 機能は、他の機能（QoS を含む）より優先順位が高くなっています。そのため、音声トラフィックは QoS 機能には影響されずに Voice VLAN 機能設定に従って処理されます。
- VoIP トラフィックの品質を保証するためには、音声 VLAN に最も高い優先度を設定することをお勧めします。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN**
 - VLAN
 - Voice VLAN
 - プロパティ**
 - Voice CUI
 - プロトコルVLAN
 - MAG VLAN
 - サーバベースVLAN
 - QVRP
 - MAGアドレステーブル
 - スパンニングツリー
 - 橋出
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定

状態

VLAN: なし

CoS / 802.1p リマッピング: 6

ポートエンコーディング: 1442

注: エンコーディング: ポートエンコーディング + CUI = エンコーディング (30分)

適用

ポート設定テーブル

インデックス	ポート	状態	モード	QoSポリシー
☐	1	無効	自動	Voice/VoIP
☐	2	無効	自動	Voice/VoIP
☐	3	無効	自動	Voice/VoIP
☐	4	無効	自動	Voice/VoIP
☐	5	無効	自動	Voice/VoIP
☐	6	無効	自動	Voice/VoIP
☐	7	無効	自動	Voice/VoIP
☐	8	無効	自動	Voice/VoIP
☐	9	無効	自動	Voice/VoIP
☐	10	無効	自動	Voice/VoIP
☐	25	LAG7	自動	Voice/VoIP
☐	26	LAG8	自動	Voice/VoIP

編集

選択したポートを編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P102 「ポート設定編集」](#)

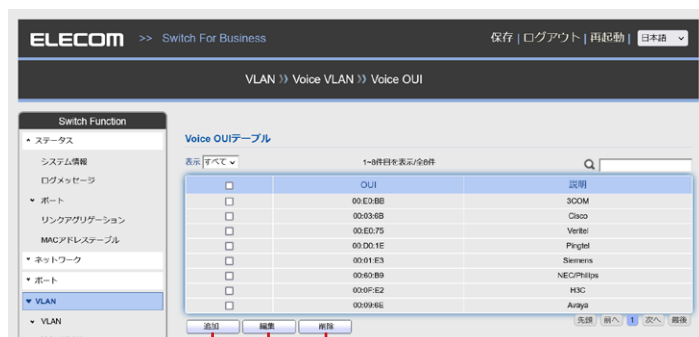
項目	内容
状態	Voice VLAN 機能を有効にします。(初期値：無効)
VLAN	Voice VLAN ID を選択します。
CoS / 802.1p リマーケティング	IEEE 802.1p プライオリティを設定します。 (範囲：0 ～ 7、初期値：7)
ポートエイジング時間	ポートが自動 VLAN の一部の場合、音声 VLAN からポートを削除するまでの時間（時間）を設定します。(範囲：1 ～ 120 時間、初期値：1)

ポート設定編集

項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	Voice VLAN を有効にする場合、チェックを入れます。
モード	Voice VLAN のモードを設定します。
QoS ポリシー	Voice VLAN の QoS ポリシーを設定します。

[Voice VLAN] Voice OUI

Voice OUI を設定します。

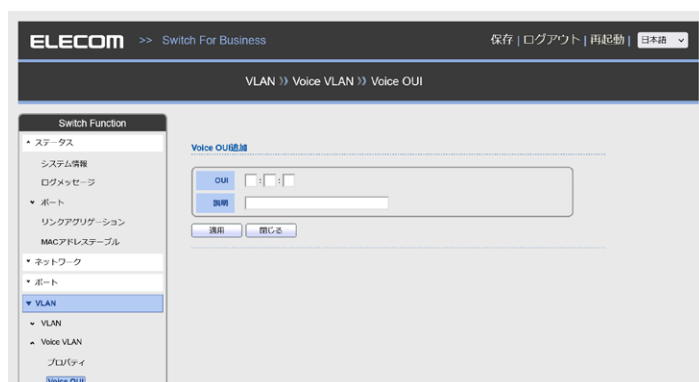


選択した VOICE OUI を削除します。

選択したポートの Voice OUI を編集します。
 「OUI」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
 → [P103 \[Voice OUI追加／編集\]](#)

Voice OUI を追加します。
 → [P103 \[Voice OUI追加／編集\]](#)

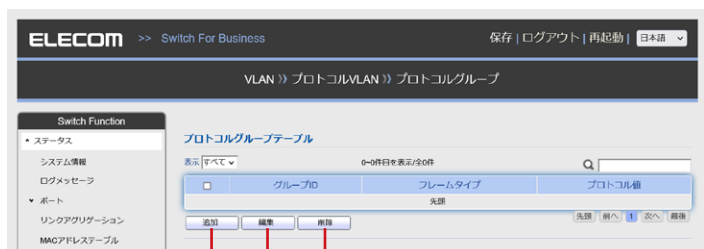
Voice OUI追加／編集



項目	内容
OUI	OUI を設定します。
説明	OUI に関する説明を入力します。

【プロトコル VLAN】プロトコルグループ

プロトコルグループを設定します。

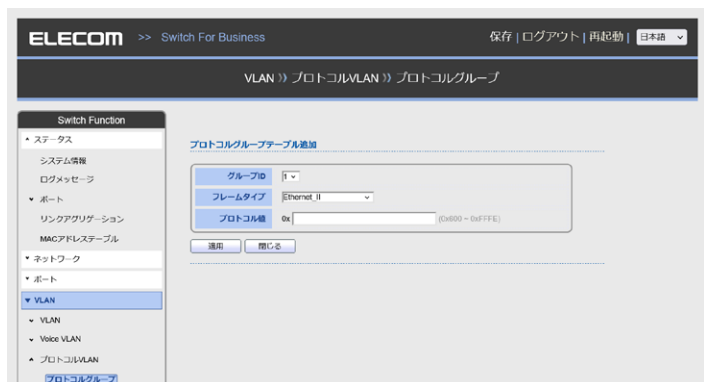


選択したプロトコルグループを削除します。

選択したプロトコルグループを編集します。
「グループID」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P104 「プロトコルグループテーブル追加／編集」](#)

プロトコルグループを追加します。
→ [P104 「プロトコルグループテーブル追加／編集」](#)

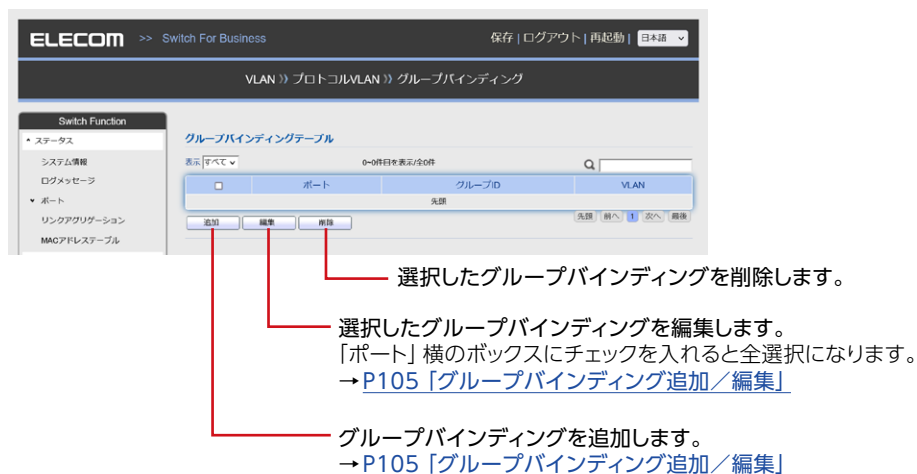
プロトコルグループテーブル追加／編集



項目	内容
グループ ID	追加するプロトコルグループの ID を選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。 (Ethernet_II / IEEE802.3_LLC_Other / RFC_1042)
プロトコル値	追加するプロトコルグループのプロトコル値を設定します。

【プロトコル VLAN】グループバインディング

グループバインディングを設定します。



グループバインディングテーブル

表示 すべて 0-0件目を表示/00件

ポート	グループID	VLAN
先頭		

追加 編集 削除

選択したグループバインディングを削除します。

選択したグループバインディングを編集します。
「ポート」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P105「グループバインディング追加／編集」](#)

グループバインディングを追加します。
→ [P105「グループバインディング追加／編集」](#)

グループバインディング追加／編集



グループバインディング追加

利用可能ポート 選択中のポート

ポート

グループID

VLAN

適用 閉じる

注意：VLAN/ハイブリッドポートのみMAC VLANを設定できます

項目	内容
ポート	MAC グループエントリにバインドされているポート ID を表示します。
グループ ID	ポートがバインドされているグループ ID を表示します。
VLAN	MAC グループに一致するパケットに割り当てられる VLAN ID を表示します。

[MAC VLAN] MACグループ

MAC グループを設定します。



選択したMACグループを削除します。

選択したMACグループを編集します。
「グループID」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P106 \[MACグループ追加／編集\]](#)

MACグループを追加します。
→ [P106 \[MACグループ追加／編集\]](#)

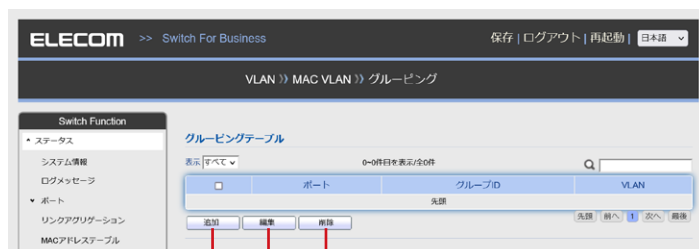
MACグループ追加／編集



項目	内容
ポート	エントリーされたグループ ID を追加／編集します。
グループ ID	エントリーされた MAC アドレスを追加／編集します。
VLAN	分類されたパケットの MAC アドレスのマスクを追加／編集します。

[MAC VLAN] グループリング

グループリングテーブルを設定します。



選択したグループリングテーブルを削除します。

選択したグループリングテーブルを編集します。
「ポート」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P107「グループリング追加／編集」](#)

グループリングテーブルを追加します。
→ [P107「グループリング追加／編集」](#)

グループリング追加／編集



項目	内容
ポート	グループリングに追加するポートを選択します。 選択できるのはハイブリッドポートに設定されたポートのみとなります。
グループ ID	グループの ID を選択します。
VLAN	グループの VLAN ID を設定します。

【サーベイランスVLAN】プロパティ

サーベイランス VLAN を設定します。

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

VLAN >> サーベイランスVLAN >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- システム情報
- ログメッセージ
- ポート
 - リンクアグリゲーション
 - MAGアドレステーブル
- ネットワーク
 - ポート
 - VLAN
 - VLAN
 - Voice VLAN
 - プロトコルVLAN
 - MAC VLAN
 - サーベイランスVLAN
 - プロパティ
 - サーベイランスOUI
 - GVRP
 - MAGアドレステーブル
 - 静的アドレス
 - 動的アドレス
 - フィルタリングアドレス
 - スパンニングツリー
 - 橋出
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - 診断
 - 管理
 - ループ防止

状態
☐ 有効

VLAN
なし

CoS / 802.1p
リマールキング
☐ 有効

ポートエージング時間
1440
分 (30 ~ 65536, デフォルト: 1440)
注: ポートエージング時間 + ポートエージング時間 + OUIエージング時間 (300)

適用

ポート設定テーブル

	インデックス	ポート	状態	モード	QoSポリシー
☐	1	GE1	無効	自動	ビデオリット
☐	2	GE2	無効	自動	ビデオリット
☐	3	GE3	無効	自動	ビデオリット
☐	4	GE4	無効	自動	ビデオリット
☐	5	GE5	無効	自動	ビデオリット
☐	6	GE6	無効	自動	ビデオリット
☐	7	GE7	無効	自動	ビデオリット
☐	8	GE8	無効	自動	ビデオリット
☐	9	GE9	無効	自動	ビデオリット
☐	10	GE10	無効	自動	ビデオリット
☐	11	GE11	無効	自動	ビデオリット
☐	12	GE12	無効	自動	ビデオリット
☐	13	GE13	無効	自動	ビデオリット
☐	14	GE14	無効	自動	ビデオリット
☐	15	GE15	無効	自動	ビデオリット
☐	16	GE16	無効	自動	ビデオリット
☐	17	GE17	無効	自動	ビデオリット
☐	18	GE18	無効	自動	ビデオリット
☐	19	LAG1	無効	自動	ビデオリット
☐	20	LAG2	無効	自動	ビデオリット
☐	21	LAG3	無効	自動	ビデオリット
☐	22	LAG4	無効	自動	ビデオリット
☐	23	LAG5	無効	自動	ビデオリット
☐	24	LAG6	無効	自動	ビデオリット
☐	25	LAG7	無効	自動	ビデオリット
☐	26	LAG8	無効	自動	ビデオリット

適用

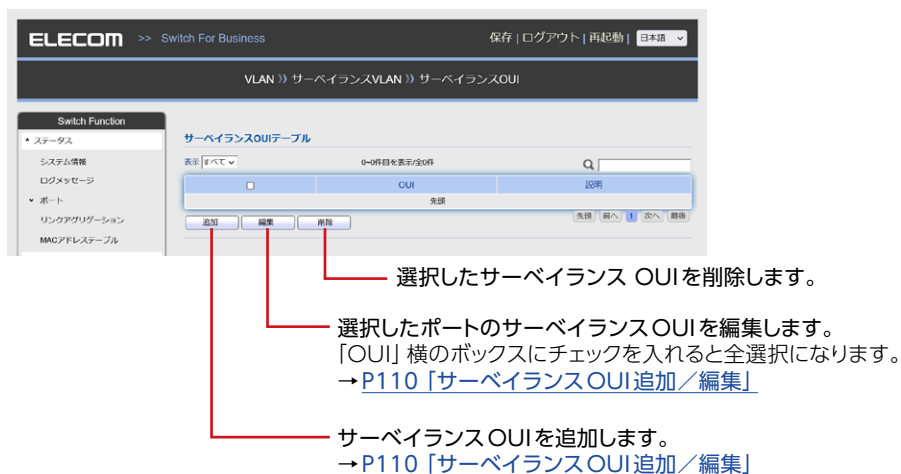
項目	内容
状態	サーベイランス VLAN を有効にする場合、チェックを入れます。
VLAN	対象となる VLAN を選択します。
CoS / 802.1p リマールキング	IEEE 802.1p プライオリティを設定します。 (範囲: 0 ~ 7、初期値: 7)
ポートエージング 時間	ポートが自動 VLAN の一部の場合、サーベイランス VLAN からポートを削除する までの時間 (時間) を設定します。(範囲: 1 ~ 120 時間、初期値: 1)

ポート設定編集

項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	Voice VLAN を有効にする場合、チェックを入れます。
モード	Voice VLAN のモードを設定します。
QoS ポリシー	Voice VLAN の QoS ポリシーを設定します。

【サーベイランスVLAN】サーベイランス OUI

サーベイランス OUI を設定します。



選択したサーベイランス OUI を削除します。

選択したポートのサーベイランス OUI を編集します。
「OUI」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P110 「サーベイランス OUI 追加／編集」](#)

サーベイランス OUI を追加します。
→ [P110 「サーベイランス OUI 追加／編集」](#)

サーベイランス OUI 追加／編集



項目	内容
OUI	OUI を設定します。
説明	OUI に関する説明を入力します。

【GVRP】プロパティ

GVRP の設定をします。

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

VLAN >> GVRP >> プロパティ

Switch Function
* ステータス
システム情報
ログメッセージ
* ポート
リンクアグリゲーション
MACアドレステーブル
* ネットワーク
* ポート
▼ VLAN
* VLAN
* Voice VLAN
* プロトコルVLAN
* MAC VLAN
* サーベिकासVLAN
* GVRP
プロパティ
メンバーシップ
設定
* MACアドレステーブル
* スパニングツリー
* 橋渡し
* マルチキャスト
* セキュリティ
* アクセス制御設定
* QoS
* 診断
* 管理
* ループ防止

状態
☐ 有効

動作タイムアウト
Join 20 ms
Leave 60 ms
LeaveAll 1000 ms
適用

ポート設定テーブル

	インデックス	ポート	状態	VLAN生成	登録
☐	1	GE1	無効	有効	標準
☐	2	GE2	無効	有効	標準
☐	3	GE3	無効	有効	標準
☐	4	GE4	無効	有効	標準
☐	5	GE5	無効	有効	標準
☐	6	GE6	無効	有効	標準
☐	7	GE7	無効	有効	標準
☐	8	GE8	無効	有効	標準
☐	9	GE9	無効	有効	標準
☐	10	GE10	無効	有効	標準
☐	11	GE11	無効	有効	標準
☐	12	GE12	無効	有効	標準
☐	13	GE13	無効	有効	標準
☐	14	GE14	無効	有効	標準
☐	15	GE15	無効	有効	標準
☐	16	GE16	無効	有効	標準
☐	17	GE17	無効	有効	標準
☐	18	GE18	無効	有効	標準
☐	19	LAG1	無効	有効	標準
☐	20	LAG2	無効	有効	標準
☐	21	LAG3	無効	有効	標準
☐	22	LAG4	無効	有効	標準
☐	23	LAG5	無効	有効	標準
☐	24	LAG6	無効	有効	標準
☐	25	LAG7	無効	有効	標準
☐	26	LAG8	無効	有効	標準

項目	内容
状態	GVRP を有効にする場合、チェックを入れます。
動作タイムアウト	設定変更はできません。

ポート設定編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

VLAN >> GVRP >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- システム情報
- ログメッセージ
- ポート
- リンクアグリゲーション
- MACアドレステーブル
- ネットワーク
- VLAN

ポート設定編集

ポート	LAGB
状態	☐ 有効
VLAN生成	☒ 有効
登録	☒ 標準 ☐ 固定 ☐ 禁止

適用 閉じる

項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	GVRP を有効にする場合、チェックを入れます。
VLAN 生成	VLAN 生成を有効にします。
登録	登録状態を設定します。

【GVPR】メンバーシップ

GVPRのメンバーシップを設定します。



メンバーシップテーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
メンバー	VLAN に属しているポートを表示します。
動的メンバー	VLAN のダイナミックポートを表示します。
タイプ	VLAN タイプを表示します。

【GVPR】統計

GVPRの統計の設定をします。

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

VLAN >> GVPR >> 統計

Switch Function

- ステータス
 - システム情報
 - ログメッセージ
- ポート
 - リンクアグリゲーション
 - MACアドレステーブル
- ネットワーク
 - ポート
 - VLAN
 - VLAN
 - Voice VLAN
 - プロトコルVLAN
 - MAC VLAN
 - サービス VLAN
 - GVPR
 - プロパティ
 - メンバーシップ
 - 統計
 - MACアドレステーブル
 - スパンニングツリー
 - 橋渡し
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - 診断
 - 管理
 - ループ防止

ポート
GET
統計
更新間隔

すべて
受信
エラー

更新間隔
なし
5 秒
10 秒
30 秒

受信
Join empty 0
Empty 0
Leave Empty 0
Join In 0
Leave In 0
Leave All 0

送信
Join empty 0
Empty 0
Leave Empty 0
Join In 0
Leave In 0
Leave All 0

エラー
Invalid Protocol ID 0
Invalid Attribute Type 0
Invalid Attribute Value 0
Invalid Attribute Length 0
Invalid Event 0

項目	内容
ポート	対象となるポートを選択します。
統計	統計の対象となるトラフィックを選択します。
更新間隔	統計情報の更新間隔を設定します。

MACアドレステーブル

動的アドレス

スイッチが管理している動的アドレステーブルを表示します。



選択した動的アドレスを静的アドレスに追加します。

動的アドレステーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ごとに保持した MAC アドレスを表示します。
MAC アドレス	VLAN を選択し「クリア」をクリックすると、テーブルをクリアします。
ポート	「再表示」をクリックすると、保持した MAC アドレスを再表示します。

MEMO

本製品の VLAN 学習方式 (MAC アドレスの学習方式) は、FW のバージョンにより異なります。

Ver.2.0.4 以降	IVL/SVL 切り替え可能 (初期値: IVL) (→ P93 「 【VLAN】 VLAN 作成 」)
Ver.2.0.3 未満	IVL のみ対応

静的アドレス

スイッチが管理している静的アドレステーブルを表示します。

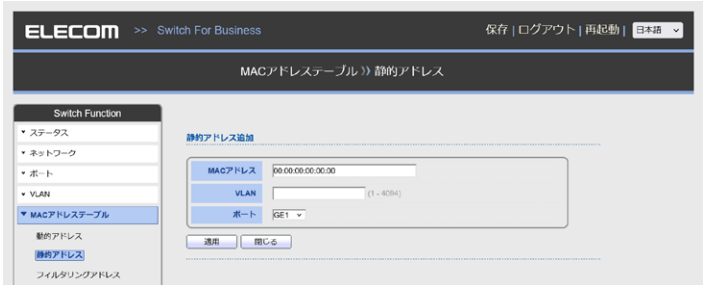


選択した静的アドレスを削除します。

選択したポートの静的アドレスを編集します。
「VLAN」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P116「静的アドレス追加／編集」](#)

静的アドレスを追加します。
→ [P116「静的アドレス追加／編集」](#)

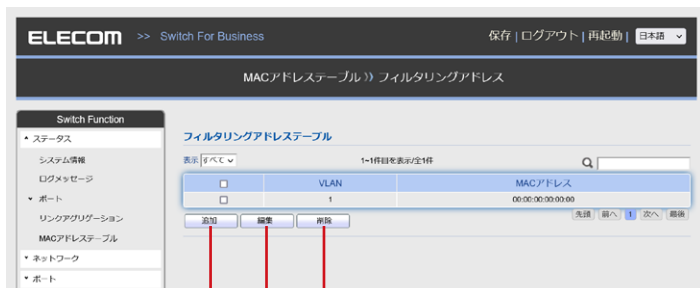
静的アドレス追加／編集



項目	内容
MAC アドレス	MAC アドレスを設定します。
VLAN	VLAN を設定します。
ポート	ポートを選択します。

フィルタリングアドレス

フィルタリングを設定します。

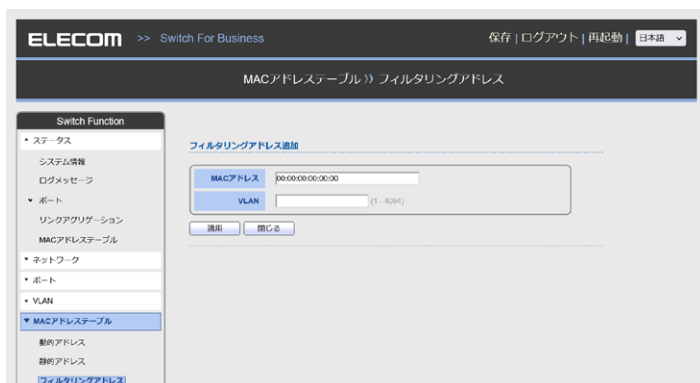


選択したフィルタリングを削除します。

選択したフィルタリングを編集します。
「VLAN」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P117「フィルタリングアドレス追加／編集」](#)

フィルタリングを追加します。
→ [P117「フィルタリングアドレス追加／編集」](#)

フィルタリングアドレス追加／編集



項目	内容
MAC アドレス	MAC アドレスを設定します。
VLAN	VLAN を設定します。(1-4094)

エージングタイム

エージングタイムを設定します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

MACアドレステーブル >> エージングタイム

Switch Function

ステータス

ネットワーク

ポート

VLAN

MACアドレステーブル

動的アドレス

静的アドレス

フィルタリングアドレス

エージングタイム

スニッピング

エージングタイム

000 秒 (10 - 10000000, デフォルト 300)

注意: エージングタイムは動的アドレスおよびポートセキュリティに共通で設定されます。

適用

項目	内容
エージングタイム	MAC アドレステーブル情報を、エージング時間として設定した時間内のみ保持します。エージングタイムで設定した値は「動的アドレス」および「ポートセキュリティ」の設定時間として同じ値が使用されます。 (10 - 10000000 秒 初期値: 300 秒)

プロパティ

スパニングツリーのプロパティを設定します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スパニングツリー) プロパティ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- ▼ スパニングツリー
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MSTインスタンス
 - MSTポート設定
 - 統計
- ▶ 検出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

状態☐ 有効

動作モード

- ☐ STP
- ☒ RSTP
- ☐ MSTP

Path Cost

- ☒ Long
- ☐ Short

BPDUハンドリング

- ☐ フィルタリング
- ☒ フラッディング

優先度32768 (0 - 61440, デフォルト: 32768)

ハロータイム2 秒 (1 - 10, デフォルト: 2)

最大経過時間20 秒 (0 - 40, デフォルト: 20)

転送遅延15 (4 - 30, デフォルト: 10)

送信ホールドカウント0 (1 - 10, デフォルト: 0)

リージョン名38.97.A8.5F.C4.1B

リビジョン0 (0 - 65535, デフォルト: 0)

最大ホップ数20 (1 - 40, デフォルト: 20)

動作ステータス

- ブリッジID32768-38.97.A8.5F.C4.1B
- 優先ルートブリッジ0-00:00:00:00:00:00
- ルートポート該当なし
- Root Path Cost0
- トポロジー変更カウント0
- 最終トポロジー変更00:00:00:00:00:00

適用

項目	内容						
状態	チェックを入れると、スパニングツリー機能を有効にします。						
動作モード	スパニングツリー機能のプロトコルを選択します。(初期値: RSTP) <table><tr><td>STP</td><td>Spanning Tree プロトコル (IEEE 802.1D) 例: スイッチは STP 強制互換モードに RSTP セットを使用します。)</td></tr><tr><td>RSTP</td><td>Rapid Spanning Tree (IEEE 802.1w)</td></tr><tr><td>MSTP</td><td>Multiple Spanning Tree (IEEE 802.1s)</td></tr></table>	STP	Spanning Tree プロトコル (IEEE 802.1D) 例: スイッチは STP 強制互換モードに RSTP セットを使用します。)	RSTP	Rapid Spanning Tree (IEEE 802.1w)	MSTP	Multiple Spanning Tree (IEEE 802.1s)
STP	Spanning Tree プロトコル (IEEE 802.1D) 例: スイッチは STP 強制互換モードに RSTP セットを使用します。)						
RSTP	Rapid Spanning Tree (IEEE 802.1w)						
MSTP	Multiple Spanning Tree (IEEE 802.1s)						
Path Cost	Path Cost 方式を指定します。 <table><tr><td>Long</td><td>デフォルトの Path Cost が 1 ~ 200,000,000 の範囲内であることを指定します。</td></tr><tr><td>Short</td><td>デフォルトの Path Cost が 1 ~ 65,535 の範囲内であることを指定します。</td></tr></table>	Long	デフォルトの Path Cost が 1 ~ 200,000,000 の範囲内であることを指定します。	Short	デフォルトの Path Cost が 1 ~ 65,535 の範囲内であることを指定します。		
Long	デフォルトの Path Cost が 1 ~ 200,000,000 の範囲内であることを指定します。						
Short	デフォルトの Path Cost が 1 ~ 65,535 の範囲内であることを指定します。						

119

項目	内容
BPDU ハンドリング	STP が無効な場合の BPDU 転送方法を指定します。
	フィルタリング STP が無効な場合に BPDU をフィルタリングします。
	フラッドイング STP が無効な場合に BPDU をフラッドイングします。
優先度	パケット送信を行う優先度を設定します。値が小さいほど優先度は高くなります。(範囲: 0 - 61440、初期値: 32678)
ハロータイム	ルートデバイスにより、スイッチが機能している旨を通知するために送信されるコンフィグレーションメッセージの送信間隔 (秒) を設定します。(範囲: 1-10、初期値: 2)
最大経過時間	最大経過時間 (秒) を設定します。(範囲: 6-40、初期値: 20)
転送遅延	ルートデバイスが状態を変更するまでの最大待ち時間 (秒) を設定します。(範囲: 4-30、初期値: 15)
送信ホールドカウント	ブリッジポートが一秒あたり BPDU を送信する回数です。超過した場合、次の BPDU の送信は遅延します。(範囲: 1-10、初期値: 6)
リージョン名	リージョン名を設定します。最大長は 32 文字です。初期値は本製品の MAC アドレスです。
リビジョン	リビジョン番号を設定します。有効な範囲は 0 ~ 65535 です。
最大ホップ数	BPDU が破棄されるまでの MSTP 領域内のホップ数を指定します。有効な範囲は 1 ~ 40 です。

動作ステータス

項目	内容
ブリッジ ID	本製品のブリッジ ID を表示します。
指定ルートブリッジ	指定されたルートブリッジの識別子を表示します。
ルートポート	本製品の動作中のルート ポートを表示します。
Root Path Cost	Root Path Cost を表示します。
トポロジ変更カウント	トポロジ変更カウントを表示します。
最終トポロジ変更	最終トポロジ変更を表示します。

ポート設定

スパンニングツリーのポート設定をします。

ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スパンニングツリー」ポート設定

Switch Function
ステータス
システム情報
ログメッセージ
ポート
リンクアグリゲーション
MACアドレステーブル
ネットワーク
ポート
VLAN
MACアドレステーブル
スパンニングツリー
プロトコル
ポート設定
MSTインスタンス
MSTポート設定
統計
検索
マルチキャスト
セキュリティ
アクセス制御設定
QoS
診断
管理
ループ防止

ポート設定テーブル

インデックス	ポート	状態	Path Cost	優先度	SPDUフィルター	SPDUガード	エッジ動作ステータス	ポイント
☐	1	GE1	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	2	GE2	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	3	GE3	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	4	GE4	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	5	GE5	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	6	GE6	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	7	GE7	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	8	GE8	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	9	GE9	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	10	GE10	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	11	GE11	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	12	GE12	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	13	GE13	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	14	GE14	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	15	GE15	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	16	GE16	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	17	GE17	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	18	GE18	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	19	LAG1	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	20	LAG2	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	21	LAG3	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	22	LAG4	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	23	LAG5	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	24	LAG6	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	25	LAG7	有効	20000	128	無効	無効	無効
☐	26	LAG8	有効	20000	128	無効	無効	無効

編集
プロトコルマイグレーションチェック

選択中のポート設定を行います。
 「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
 → [P122「ポート設定編集」](#)

ポート設定編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', '>> Switch For Business', and links for '保存', 'ログアウト', '再起動', and a language dropdown set to '日本語'. The main header is 'スパンニングツリー」ポート設定'. The left sidebar under 'Switch Function' lists various system functions, with 'スパンニングツリー' highlighted. The main content area is titled 'ポート設定編集' and shows configuration for port 'LAG8'. The configuration includes: '状態' (Status) set to '有効' (Enabled); 'Path Cost' set to '0' (with a note '(0 - 200000000) (0 = Auto)'); '優先度' (Priority) set to '128'; 'エッジポート' (Edge Port) set to '無効' (Disabled); 'BPDUフィルター' (BPDU Filter) set to '無効' (Disabled); 'BPDUガード' (BPDU Guard) set to '無効' (Disabled); and 'ポイントツーポイント' (Point-to-Point) set to '自動' (Automatic). At the bottom, there are checkboxes for 'ポート状態' (Port Status), 'ブリッジ' (Bridge), 'ポートID' (Port ID), '優先コスト' (Priority Cost), 'エッジ動作ステータス' (Edge Operation Status), and 'ポイントツーポイント動作ステータス' (Point-to-Point Operation Status), all of which are currently set to '無効' (Disabled) or 'False'.

項目	内容				
ポート	選択したポートの ID を表示します。				
状態	選択したポートの STP を有効にします。(初期値：無効)				
Path Cost	選択したポートの STP Path Cost を設定します。				
優先度	選択したポートの STP 優先度を設定します				
エッジポート	エッジモードの有効 / 無効を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>有効</td><td>強制的に true 状態にします (ホストへのリンクとして)。</td></tr> <tr> <td>無効</td><td>強制的に false 状態にします (ブリッジへのリンクとして)。</td></tr> </table>	有効	強制的に true 状態にします (ホストへのリンクとして)。	無効	強制的に false 状態にします (ブリッジへのリンクとして)。
有効	強制的に true 状態にします (ホストへのリンクとして)。				
無効	強制的に false 状態にします (ブリッジへのリンクとして)。				
BPDU フィルター	選択したポートからの BPDU フィルター の有効 / 無効を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>有効</td><td>BPDU フィルター機能を有効にします。</td></tr> <tr> <td>無効</td><td>BPDU フィルター機能を無効にします。</td></tr> </table>	有効	BPDU フィルター機能を有効にします。	無効	BPDU フィルター機能を無効にします。
有効	BPDU フィルター機能を有効にします。				
無効	BPDU フィルター機能を無効にします。				
BPDU ガード	選択したポートからの BPDU ガードの有効 / 無効を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>有効</td><td>BPDU ガード機能を有効にします。</td></tr> <tr> <td>無効</td><td>BPDU ガード機能を無効にします。</td></tr> </table>	有効	BPDU ガード機能を有効にします。	無効	BPDU ガード機能を無効にします。
有効	BPDU ガード機能を有効にします。				
無効	BPDU ガード機能を無効にします。				

項目	内容
ポイントツーポイント	ポイントツーポイント ポート構成を設定します。
	自動 ポートのデブプレックス設定によって異なります。
	有効 true 状態に設定します。
	無効 false 状態に設定します。
ポート状態	ポートの通信状態を表示します。
指定ブリッジ	選択したブリッジのブリッジ ID を表示します。
指定ポート ID	選択したポート ID を表示します。
指定コスト	選択したポートの Path Cost を表示します。
エッジ動作ステータス	エッジポートの動作状況を表示します。
ポイントツーポイント動作ステータス	ポイントツーポイントポートの動作状況を表示します。

MSTインスタンス

MSTインスタンスの設定をします。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スパンニングツリー > MSTインスタンス

Switch Function

- ステータス
 - システム情報
 - ログメッセージ
- ポート
 - リンクアグリゲーション
 - MACアドレステーブル
- ネットワーク
 - ポート
 - VLAN
 - MACアドレステーブル
 - スパンニングツリー**
 - プロトタイプ
 - ポート設定
 - MSTインスタンス**
 - MSTポート設定
 - 統計
- 検索

MSTインスタンステーブル

MSTI	優先度	ブリッジID	指定ルートブリッジ	ルートポート	Root Path Cost	残りのホップ数	VLAN
0	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	1-4094
1	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
2	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
3	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
4	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
5	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
6	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
7	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
8	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
9	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
10	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
11	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
12	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
13	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
14	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	
15	32768	32768-3897-A45F-C416	0-00-00-00-00-00-00	設定なし	0	0	

編集

選択中のMSTインスタンスの設定を行います。
→ [P124 「MSTインスタンス設定の編集」](#)

MSTインスタンス設定の編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スパンニングツリー > MSTインスタンス

Switch Function

- ステータス
 - システム情報
 - ログメッセージ
- ポート
 - リンクアグリゲーション
 - MACアドレステーブル
- ネットワーク
 - ポート
 - VLAN
 - MACアドレステーブル
 - スパンニングツリー**
 - プロトタイプ
 - ポート設定
 - MSTインスタンス**
 - MSTポート設定
 - 統計
- 検索

MSTインスタンス設定の編集

MSTI 15

VLAN

優先度 32768 (0-81440, デフォルト: 32768)

ブリッジID 32768-3897-A45F-C416

指定ルートブリッジ 0-00-00-00-00-00-00

ルートポート

Root Path Cost 0

残りのホップ数 0

適用 閉じる

項目	内容
MSTI	選択されたポート番号が表示されます。
VLAN	VLAN ID を選択します。
優先度	MSTI 優先度を設定します。(範囲: 0 - 61440、初期値: 32678)
ブリッジ ID	MSTI のブリッジ ID が表示されます。
指定ルートブリッジ	MSTI 上の指定されたルートブリッジが表示されます。
ルートポート	MSTI 上の指定されたルートポートが表示されます。
Root Path Cost	MSTI 上の指定された Root Path Cost が表示されます
残りのポップ数	MSTI 上の指定された残りのポップ数が表示されます

MST ポート設定

MST ポートを設定します。

ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スパンニングツリー」MSTポート設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- ネットワーク
- スパンニングツリー
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MSTインスタンス
 - MSTポート設定
 - 統計
- 検索
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

MSTポート設定テーブル

MSTI 0

インデックス	ポート	Path Cost	優先度	ポートロール	ポート状態	モード	タイプ	指定ブリッジ	指定ポート
☐	1	GE1	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	2	GE2	20000	128	無効	フォワーディング	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	3	GE3	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	4	GE4	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	5	GE5	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	6	GE6	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	7	GE7	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	8	GE8	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	9	GE9	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	10	GE10	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	11	GE11	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	12	GE12	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	13	GE13	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	14	GE14	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	15	GE15	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	16	GE16	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	17	GE17	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	18	GE18	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	19	LAG1	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	20	LAG2	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	21	LAG3	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	22	LAG4	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	23	LAG5	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	24	LAG6	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	25	LAG7	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00
☐	26	LAG8	20000	128	無効	無効	RSTP	優先	0-00:00:00:00:00:00

編集

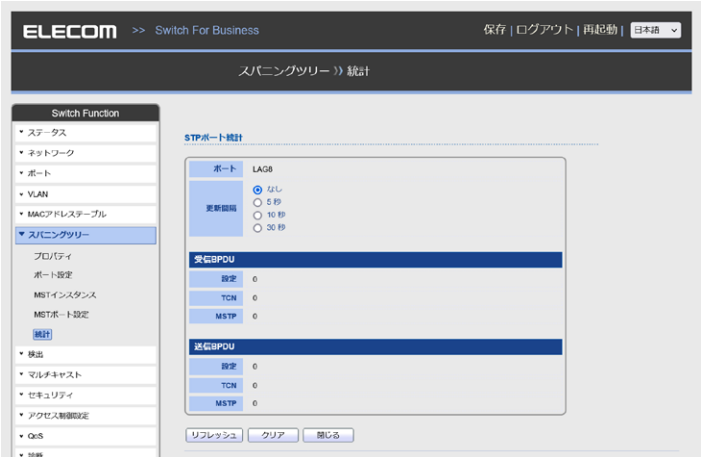
選択中のポート設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P133「ポート設定編集」](#)

MST ポート設定の編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', '>> Switch For Business', and links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main header indicates the current page is 'スパンニングツリー」MSTポート設定'. The left sidebar, titled 'Switch Function', lists various configuration options, with 'スパンニングツリー' expanded to show 'プロパティ' (Properties), 'ポート設定' (Port Settings), 'MSTインスタンス' (MST Instance), 'MSTポート設定' (MST Port Settings), and '統計' (Statistics). The 'MSTポート設定' section is active, displaying a form titled 'MSTポート設定の編集'. The form contains the following fields: 'MSTI' (0), 'ポート' (LAG8), 'Path Cost' (0, with a range of 0 to 2000000000 and 0 = Auto), '優先度' (128, with a dropdown arrow), 'ポートロール' (無効), 'ポート状態' (無効), 'モード' (RSTP), 'タイプ' (境界), '指定ブリッジ' (0-400:00:00:00:00:00), '指定ポートID' (128-255), '指定コスト' (20000), and '残りのホップ数' (20). At the bottom of the form are '適用' (Apply) and '閉じる' (Close) buttons.

項目	内容
MSTI	選択したポートの MST インスタンスを表示します。
ポート	選択したポート ID を表示します。
Path Cost	選択したポートの Path Cost を設定します。 (範囲：0 - 2000000000、初期値：0) (0＝ 自動設定)
優先度	選択したポートの優先度を設定します。(設定値：0/16/32/48/64/80/96/112/126/144/160/176/192/208/224/240、初期値：128)
ポートロール	選択したポートのロールを表示します。
ポート状態	選択したポートの状態を表示します。
モード	選択したポートの STP 動作モードを表示します。
タイプ	選択したポートのタイプを表示します。
指定ブリッジ	選択したブリッジのブリッジ ID を表示します。
指定ポート ID	選択したポート ID を表示します。
指定コスト	選択したポートの Path Cost を表示します。
残りのポップ数	選択したポートの残りのホップ数を表示します。

STP ポート統計



項目	内容
ポート	選択されたポートが表示されます。
更新間隔	統計の更新間隔を設定します。(なし / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒)
受信 BPDU	受信 BPDU を表示します。
送信 BPDU	送信 BPDU を表示します。

【LLDP】プロパティ

LLDP (Link Layer Discovery Protocol) のプロパティを設定します。

■ LLDP

項目	内容						
状態	LLDP の有効／無効を設定します。(初期値：有効)						
LLDP Handling	LLDP が無効になっている場合に、フィルタリング、ブリッジング、またはフラッディングする LLDP PDU 処理アクションを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>フィルタリング</td><td>パケットを削除します。</td></tr> <tr> <td>ブリッジング</td><td>(VLAN 対応フラッディング) パケットをすべての VLAN メンバーに転送します。</td></tr> <tr> <td>フラッディング</td><td>パケットをすべてのポートに転送します。</td></tr> </table>	フィルタリング	パケットを削除します。	ブリッジング	(VLAN 対応フラッディング) パケットをすべての VLAN メンバーに転送します。	フラッディング	パケットをすべてのポートに転送します。
フィルタリング	パケットを削除します。						
ブリッジング	(VLAN 対応フラッディング) パケットをすべての VLAN メンバーに転送します。						
フラッディング	パケットをすべてのポートに転送します。						
TLV アドバタイズ間隔	TLV アドバタイズ間隔を設定します。 (範囲：30 ～ 32767 秒、初期値：300 秒)						
Hold Multiplier	Hold Multiplier を設定します。 (範囲：2 ～ 10、初期値：4)						
再初期化遅延	LLDP 再初期化の遅延時間を設定できます。LLDP が無効化されてから、設定した遅延時間の間は LLDP が有効化されません。 (範囲：1 ～ 10 秒、初期値：2 秒)						
送信遅延	LLDP フレーム内容を変更した場合、一時的に送信を停止する間隔を設定します。 (範囲：1 ～ 8191 秒、初期値：2 秒)						

■ LLDP-MED

項目	内容
Fast Start Repeat Count	ポートリンクアップ時のファストスタートの繰り返し回数を選択します (範囲 1 ~ 10、デフォルト = 3)。

【LLDP】ポート設定

ポートごとに LLDP を設定します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

検出 >> LLDP >> ポート設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- ▼ 検出
 - LLDP
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MEDネットワークポリシー
 - MFDポート設定
 - バグットビュー
 - ローカル情報
 - ネイバー
 - 統計
 - マルチキャスト
 - セキュリティ

ポート設定テーブル

Q

	インデックス	ポート	モード	選択済のTLV
☐	1	GE1	通脱	802.1 PVID
☐	2	GE2	通脱	802.1 PVID
☐	3	GE3	通脱	802.1 PVID
☐	4	GE4	通脱	802.1 PVID
☐	5	GE5	通脱	802.1 PVID
☐	6	GE6	通脱	802.1 PVID
☐	7	GE7	通脱	802.1 PVID
☐	8	GE8	通脱	802.1 PVID
☐	9	GE9	通脱	802.1 PVID
☐	10	GE10	通脱	802.1 PVID
☐	11	GE11	通脱	802.1 PVID
☐	12	GE12	通脱	802.1 PVID
☐	13	GE13	通脱	802.1 PVID
☐	14	GE14	通脱	802.1 PVID
☐	15	GE15	通脱	802.1 PVID
☐	16	GE16	通脱	802.1 PVID
☐	17	GE17	通脱	802.1 PVID
☐	18	GE18	通脱	802.1 PVID

編集

選択中のポートのモードを設定します。
→ [P133「ポート設定編集」](#)

ポート設定編集

The screenshot shows the 'ELECOM Switch For Business' web interface. The top navigation bar includes '保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語'. The breadcrumb trail is '検出 >> LLDP >> ポート設定'. The left sidebar under 'Switch Function' has '検出' expanded, showing 'LLDP' and 'ポート設定' (highlighted). The main content area is titled 'ポート設定編集'. It features a 'ポート' dropdown set to 'GE18', a 'モード' section with radio buttons for '送信', '受信', '送受信' (selected), and '無効', and an 'Optional TLV' section with a list of checkboxes and a '選択済のTLV' box containing '802.1 PVID'. Below this is an '802.1VLAN名' section with a list of checkboxes and a '選択済のVLAN' box. At the bottom are '適用' and '閉じる' buttons.

項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
モード	LLDP のモードを設定します。 送信／受信／送受信／無効
Optional TLV	LLDP オプションの TLV を選択します。(複数選択可) システム名／ポートの説明／システム説明／ System Capability ／ 802.3 MAC-PHY ／ 802.3 Link Aggregation ／ 802.3 Maximum Frame Size ／ Management Address ／ 802.1 PVID.
802.1VLAN 名	VLAN 名 ID を選択します。(複数選択可)

【LLDP】MED ネットワークポリシー

MED ネットワークポリシーテーブルを設定します。



選択したネットワークポリシーを削除します。

選択したネットワークポリシーを編集します。
「ポリシー ID」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P135【MED ネットワークポリシー追加／編集】](#)

ネットワークポリシーを追加します。
→ [P135【MED ネットワークポリシー追加／編集】](#)

項目	内容
Voice Auto Mode	Voice Auto Mode を有効にする場合、チェックを入れます。

MED ネットワークポリシー追加／編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The breadcrumb trail is "検出 >> LLDP >> MEDネットワークポリシー". The left sidebar shows "Switch Function" with "検出" selected. The main area is titled "MEDネットワークポリシー追加" and contains the following fields:

- ポリシーID: 1
- アプリケーション: Voice
- VLAN: 100 (範囲: 1 - 4094)
- VLANタグ: ☒ タグ付き ☐ タグなし
- 優先度: 5
- DSCP: 5

Buttons for "適用" and "閉じる" are at the bottom.

項目	内容
ポリシー ID	ポリシー ID を設定します。
アプリケーション	アプリケーションの種類を選択します。
VLAN	VLAN ID を設定します。
VLAN タグ	VLAN タグを設定します。
優先度	優先度を設定します。
DSCP	DSCP を設定します。

【LLDP】MED ポート設定

MED ポートを設定します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

検出 >> LLDP >> MEDポート設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 検出
 - LLDP
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MEDネットワークポリシー
 - MEDポート設定**
 - バケットビュー
 - ローカル情報
 - ネイバー
 - 統計
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定

MEDポート設定テーブル

Q

	インデックス	ポート	状態	Network Policy		Location	Inventory
				アクティブ	アプリケーション		
☐	1	GE1	有効	はい		U/A	U/A
☐	2	GE2	有効	はい		U/A	U/A
☐	3	GE3	有効	はい		U/A	U/A
☐	4	GE4	有効	はい		U/A	U/A
☐	5	GE5	有効	はい		U/A	U/A
☐	6	GE6	有効	はい		U/A	U/A
☐	7	GE7	有効	はい		U/A	U/A
☐	8	GE8	有効	はい		U/A	U/A
☐	9	GE9	有効	はい		U/A	U/A
☐	10	GE10	有効	はい		U/A	U/A
☐	11	GE11	有効	はい		U/A	U/A
☐	12	GE12	有効	はい		U/A	U/A
☐	13	GE13	有効	はい		U/A	U/A
☐	14	GE14	有効	はい		U/A	U/A
☐	15	GE15	有効	はい		U/A	U/A
☐	16	GE16	有効	はい		U/A	U/A
☐	17	GE17	有効	はい		U/A	U/A
☐	18	GE18	有効	はい		U/A	U/A

編集

選択したMEDポートを編集します。
 「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
 → [P137 「MEDポート設定編集」](#)

MED ポート設定編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', '>> Switch For Business', and buttons for '保存', 'ログアウト', '再起動', and '日本語'. The breadcrumb trail is '検出 >> LLDP >> MEDポート設定'. The left sidebar, titled 'Switch Function', lists various settings: ステータス, ネットワーク, ポート, VLAN, MACアドレステーブル, スパニングツリー, LLDP (selected), プロバディ, ポート設定, MEDネットワークポリシー, MEDポート設定 (selected), パケットビュー, ローカル情報, テイバー, マルチキャスト, セキュリティ, and アクセサリ機能設定. The main content area, titled 'MEDポート設定編集', shows the configuration for port 'GE18'. It includes a '状態' (Status) section with a checked '有効' (Enabled) checkbox. Below this are two main sections: 'Optional TLV' and 'ネットワークポリシー' (Network Policy). The 'Optional TLV' section has a '利用可能なTLV' (Available TLV) list with 'Location Inventory' selected, and a '選択済みのTLV' (Selected TLV) list with 'Network Policy' selected. The 'ネットワークポリシー' section has a '利用可能なポリシー' (Available Policy) list and a '選択済みのポリシー' (Selected Policy) list. At the bottom is the 'Location' section with three input fields: '座標' (Coordinates) with a hint '(16進文字の16ペア)', '住所' (Address) with a hint '(6～160ペアの16進文字)', and 'ECS ELIN' with a hint '(10～25ペアの16進文字)'. There are '適用' (Apply) and '閉じる' (Close) buttons at the bottom.

項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	Voice VLAN を有効にする場合、チェックを入れます。
Optional TLV	Optional TLV を設定します。
ネットワークポリシー	MED ネットワークポリシーを設定します。

■ Location

項目	内容
座標	位置データを 16 進数形式の座標として設定します。(16 桁の 16 進数を 16 ペアまで入力可能)
住所	ロケーションデータを civic アドレスとして 16 進数形式で設定します。(6 ～ 160 ペアの 16 進数を入力可能)
ECS ELIN	ロケーションデータを 16 進形式の緊急コールサービス緊急ロケーション識別番号 (ECS ELIN) として設定します。(10 ～ 25 ペアの 16 進数を入力可能)

【LLDP】パケットビュー

パケットビューの情報を表示します。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 検出**
 - LLDP
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MEDネットワークポリシー
 - MEDポート設定
 - パケットビュー**
 - ローカル情報
 - ネイバー
 - 統計
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定

検出 >> LLDP >> パケットビュー

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

パケットビューテーブル

	インデックス	ポート	使用キバイト	利用可能バイト	動作ステータス
☐	1	GE1	48	1440	通信中ではない
☐	2	GE2	48	1440	通信中ではない
☐	3	GE3	48	1440	通信中ではない
☐	4	GE4	48	1440	通信中ではない
☐	5	GE5	48	1440	通信中ではない
☐	6	GE6	48	1440	通信中ではない
☐	7	GE7	48	1440	通信中ではない
☐	8	GE8	48	1440	通信中ではない
☐	9	GE9	48	1440	通信中ではない
☐	10	GE10	48	1429	通信中ではない
☐	11	GE11	48	1429	通信中ではない
☐	12	GE12	48	1429	通信中ではない
☐	13	GE13	48	1429	通信中ではない
☐	14	GE14	48	1429	通信中ではない
☐	15	GE15	48	1429	通信中ではない
☐	16	GE16	48	1429	通信中ではない
☐	17	GE17	48	1429	通信中ではない
☐	18	GE18	48	1429	通信中ではない
☐	19	GE19	48	1429	通信中ではない

詳細

選択中のパケットの詳細を表示します。
→ [P139「パケットビューの詳細」](#)

パケットビューの詳細

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

検出 >> LLDP >> パケットビュー

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 検出
- LLDP
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MEDネットワークポリシー
 - MEDポート設定
 - パケットビュー
 - ローカル情報
 - ネイバー
 - 設定?
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

パケットビューの詳細

ポート
GE18

必須のTLV

サイズ(バイト)22

動作ステータス送信

MED 機能

サイズ(バイト)9

動作ステータス送信

MED ロケーション

サイズ(バイト)0

動作ステータス送信

MED ネットワークポリシー

サイズ(バイト)10

動作ステータス送信

MED Inventory

サイズ(バイト)0

動作ステータス送信

MED Extended Power via MDI

サイズ(バイト)0

動作ステータス送信

R02.3 TLV

サイズ(バイト)0

動作ステータス送信

オプションTLV

サイズ(バイト)0

動作ステータス送信

R02.1 TLV

サイズ(バイト)8

動作ステータス送信

合計

使用中(バイト)49

利用可能(バイト)1439

閉じる

項目	内容
必須の TLV	必須の TLV バイトサイズの合計を表示します。
MED 機能	MED 機能バイトサイズの合計を表示します。
MED ロケーション	MED ロケーションバイトサイズの合計を表示します。
MED ネットワークポリシー	MED ネットワークポリシーバイトサイズの合計を表示します。
MED Inventory	MEDInventory バイトサイズの合計を表示します。

項目	内容
MED Extended Power via MDI	MED Extended Power via MDI バイトサイズの合計を表示します。
802.3 TLV	802.3 TLV バイトサイズの合計を表示します。
オプション TLV	オプション TLV バイトサイズの合計を表示します。
802.1 TLV	802.1TLV バイトサイズの合計を表示します。
合計	各パケット内の LLDP 情報の合計バイト数を表示します。

【LLDP】ローカル情報

本製品の LLDP 情報を表示します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

検出 >> LLDP >> ローカル情報

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 検出
- LLDP
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MEDネットワークポリシー
 - MEDポート設定
 - ローカル情報
 - マイバー
 - 統計
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

デバイスの概要

筐体のサブタイプ: MACアドレス

筐体ID: 38:97:A4:5F:C4:16

システム名: Switch

システム説明: EHB-SG2C15

サポートされている機能: ブリッジ

有効な機能: ブリッジ

ポートのサブタイプ: ローカル

ポートステータステーブル

	インデックス	ポート	LLDP状態	LLDP-MED状態
☐	1	GE1	通電	有効
☐	2	GE2	通電	有効
☐	3	GE3	通電	有効
☐	4	GE4	通電	有効
☐	5	GE5	通電	有効
☐	6	GE6	通電	有効
☐	7	GE7	通電	有効
☐	8	GE8	通電	有効
☐	9	GE9	通電	有効
☐	10	GE10	通電	有効
☐	11	GE11	通電	有効
☐	12	GE12	通電	有効
☐	13	GE13	通電	有効
☐	14	GE14	通電	有効
☐	15	GE15	通電	有効
☐	16	GE16	通電	有効
☐	17	GE17	通電	有効
☐	18	GE18	通電	有効

詳細

選択中のエントリーの詳細情報を表示します。

→ [P142「ローカル詳細情報」](#)

デバイス概要

項目	内容
筐体 ID サブタイプ	筐体 ID サブタイプを表示します。
筐体 ID	MAC アドレスを表示します。
システム名	本製品のシステム名を表示します。(初期値: Switch)
システム説明	本製品の型番を表示します。
サポートされている機能	サポートされている機能が表示されます。
有効な機能	有効な機能が表示されます。
ポート ID サブタイプ	ポート ID のサブタイプが表示されます。

ポートステータステーブル

項目	内容
インデックス	LLDP ポートステータステーブルのインデックス番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
LLDP 状態	LLDP の状態を表示します。
LLDP-MED 状態	LLDP-MED 状態を表示します。

ローカル詳細情報

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

検出 >> LLDP >> ローカル情報

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 検出
- LLDP
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MEDネットワークポリシー
 - MEDポート設定
 - バケットヒュー
 - ローカル情報
 - ネイバー
 - 統計
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

ローカル情報詳細

設定のサブタイプ

MACアドレス

デバイスID

3E-3F-A4-5F-D4-16

システム名

Switch

システム説明

8PB-SIG2C16

サポートされている機能

ブリッジ

有効な機能

ブリッジ

ポートID

G616

ポートIDサブタイプ

ローカル

ポート説明

新增アドレステーブル

アドレスサブタイプ

アドレス

インターフェイスサブタイプ

インターフェイス番号

0件の結果が見つかりました。

MAC / PHYの詳細

オートネゴシエーションをサポート

該当なし

オートネゴシエーションが有効

該当なし

オートネゴシエーションのアドバタイズされた機能

該当なし

動作MAUタイプ

該当なし

802.3詳細

802.3 最大フレームサイズ

該当なし

802.3 リンクアグリゲーション

アグリゲーション機能

該当なし

アグリゲーションステータス

該当なし

アグリゲーションポートID

該当なし

MED詳細

サポートされている機能

機能: ネットワークポリシー

現在の機能

機能: ネットワークポリシー

デバイスクラス

ネットワーク接続

PoEデバイスタイプ

該当なし

PoE電源

該当なし

PoE能力優先

該当なし

PoE能力値

該当なし

ハードウェアリビジョン

該当なし

ファームウェアリビジョン

該当なし

ネットワークポートID

802.3

項目	内容
筐体 ID サブタイプ	シャーシ ID サブタイプを表示します。
筐体 ID	MAC アドレスを表示します。
システム名	本製品のシステム名を表示します。(初期値: Switch)
システム説明	本製品の型番を表示します。
サポートされている機能	サポートされている機能が表示されます。
有効な機能	有効な機能が表示されます。
ポート ID	ポート ID が表示されます。
ポート ID サブタイプ	ポート ID のサブタイプが表示されます。
ポート説明	ポート説明が表示されます。

[[LLDP]] ネイバー

ネイバーの情報を表示します。

設定されたVLANの表示件数を変更します。
すべて(初期値) / 10件 / 30件 / 50件 / 100件

選択中のネイバー情報を表示します。

情報を最新のものに更新します。

ネイバーリストをクリアします。

ネイバーテーブル

項目	内容
ローカルポート	ローカルポート番号を表示します。
シャーシ ID サブタイプ	シャーシ ID サブタイプを表示します。
シャーシ ID	シャーシ ID を表示します。
ポート ID サブタイプ	ポート ID サブタイプを表示します。
ポート ID	ポート ID が表示されます。
System Name	表示しません。
有効期間	ネイバーテーブルの有効期間が表示されます。

ネイバー詳細情報

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

検出 >> LLDP >> ネイバー

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 検出
 - LLDP
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MEDネットワークポリシー
 - MEDポート設定
 - パケットヒュー
 - ローカル情報
 - ネイバー
 - 統計
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - 診断
 - 管理
 - ループ防止

ネイバー情報詳細

ローカルポート GE2

基本的な詳細

筐体IDサブタイプ	MACアドレス
筐体ID	08:05:04:00:00:2A
ポートIDサブタイプ	MACアドレス
ポートID	08:05:04:00:00:2A
ポート説明	
システム名	
システム説明	
サポートされている機能	該当なし
有効な機能	該当なし

管理アドレステーブル

アドレスサブタイプ アドレス インターフェイスサブタイプ インターフェイス番号

0件の結果が見つかりました。

MAC / PHYの詳細

ポートネゴシエーションが有効 (True)

オートネゴシエーションのアドバタイズされた機能 1000baseT(PO)

動作は全タイプ (その他)

002.3 MDX/電線

項目	内容
ローカルポート	選択したポートを表示します。

■ 基本詳細

項目	内容
筐体 ID サブタイプ	筐体 ID サブタイプを表示します。
筐体 ID	筐体 ID を表示します。
ポート ID サブタイプ	ポート ID サブタイプを表示します。
ポート ID	ポート ID を表示します。
ポート説明	表示しません。
ポート名	
システム名	
システム説明	
サポートされている機能	
有効な機能	

【LLDP】統計

LLDP の統計を表示します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

検出 >> LLDP >> 統計

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 検出**
 - LLDP
 - プロパティ
 - ポート設定
 - MEDネットワークポリシー
 - MEDポート設定
 - バケットビュー
 - ローカル情報
 - ネイバー
 - 統計**
 - マルチキャスト
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - 診断
 - 管理
 - ループ防止

LLDP統計

登録	15
削除	14
確認	0
エントリアウト	0

クリア リフレッシュ

統計テーブル

インデックス	ポート	送信フレーム		受信フレーム		受信TLV		ネイバー タイムアウト
		合計	エラー	合計	エラー	正常	認識不可	
☐	1 GE1	29430	383	3	0	0	0	0
☐	2 GE2	17849	186	1	0	0	0	0
☐	3 GE3	0	0	0	0	0	0	0
☐	4 GE4	0	0	0	0	0	0	0
☐	5 GE5	0	0	0	0	0	0	0
☐	6 GE6	0	0	0	0	0	0	0
☐	7 GE7	0	0	0	0	0	0	0
☐	8 GE8	0	0	0	0	0	0	0
☐	9 GE9	0	0	0	0	0	0	0
☐	10 GE10	0	0	0	0	0	0	0
☐	11 GE11	0	0	0	0	0	0	0
☐	12 GE12	0	0	0	0	0	0	0
☐	13 GE13	0	0	0	0	0	0	0
☐	14 GE14	0	0	0	0	0	0	0
☐	15 GE15	0	0	0	0	0	0	0
☐	16 GE16	0	0	0	0	0	0	0
☐	17 GE17	0	0	0	0	0	0	0
☐	18 GE18	0	0	0	0	0	0	0

クリア リフレッシュ

リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

【一般】プロパティ

マルチキャストのプロパティを設定します。



項目	内容	
不明なマルチキャストへの対応	不明なマルチキャストへのアクションを設定します。	
	フラッディング	不明なマルチキャストデータをフラッディングします。
	破棄	不明なマルチキャストデータを破棄します。
	ルーターポートに転送	未知のマルチキャストデータをルーターポートに転送します。

■ マルチキャスト転送方式

項目	内容
IPv4	IPv4 マルチキャストの転送方法を宛先 MAC アドレスまたは、宛先 IP アドレスに従って転送します。
IPv6	IPv6 マルチキャストの転送方法を宛先 MAC アドレスまたは、宛先 IP アドレスに従って転送します。

【一般】グループアドレス

マルチキャストのグループアドレスを設定します。



情報を最新のものに更新します。

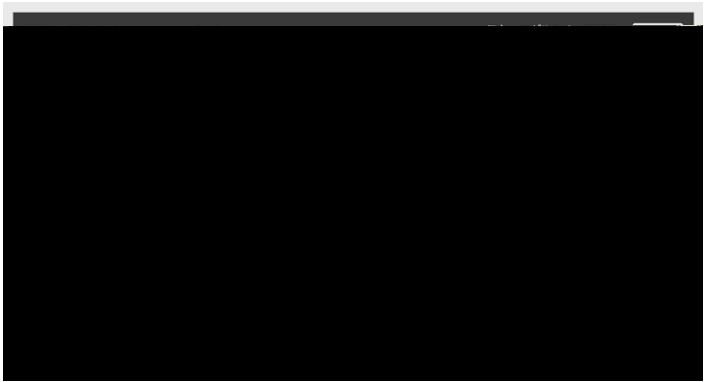
グループアドレスを削除します。

選択中のグループアドレスを編集します。
→ [P149 \[グループアドレステーブル追加/編集\]](#)

グループアドレスを追加します。
→ [P149 \[グループアドレステーブル追加/編集\]](#)

グループアドレステーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
グループアドレス	設定したグループアドレスを表示します。
メンバー	メンバーに設定したポートを表示します。
タイプ	アドレスタイプを表示します。
Life(Sec)	表示しません。

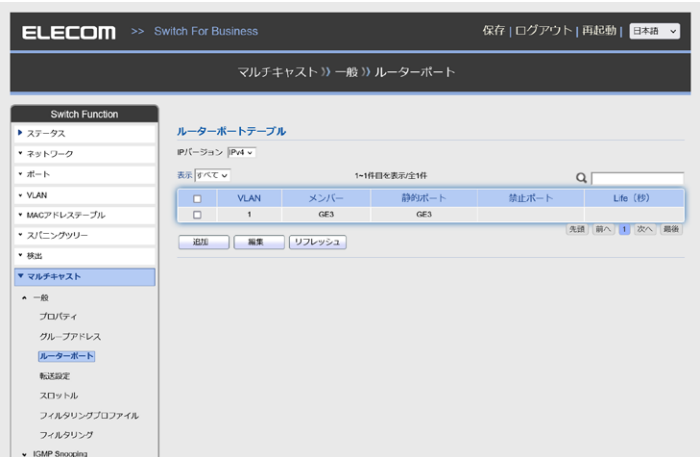


項目	内容
VLAN	グループアドレスを追加する VLANID を選択します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを選択します。
グループアドレス	任意のマルチキャストアドレスを入力します。
マスク	マスクを入力

ド

【一般】ルーターポート

ルーターポートを設定します。



ルーターポートテーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
メンバー	メンバーに設定したポートを表示します。
静的メンバー	静的メンバーのポートを表示します。
禁止ポート	禁止されたルーターポートメンバーを表示します。
Life (秒)	ルーターエントリーの有効期限を表示します。

ルーターポートの追加／編集



項目	内容	
VLAN	ルーターエントリーの VLAN ID です。	
	使用可能な VLAN	選択可能な VLAN メンバーを表示します。
	選択済みの VLAN	選択された VLAN メンバーを表示します。
IP バージョン	IPv4 または、IPv6 を選択します。	
タイプ	ルーターのポートタイプを静的または禁止から設定します。	
ポート	ルーターエントリーのメンバーポートです。	
	使用可能ポート	選択可能なルーターポートメンバーを表示します。
	選択済みのポート	選択されたルーターポートメンバーを表示します。

【一般】転送設定

転送の設定をします。

マルチキャスト転送設定を削除します。

マルチキャスト転送設定を編集します。
→ [P153「転送設定追加／編集」](#)

マルチキャスト転送設定を追加します。
→ [P153「転送設定追加／編集」](#)

全転送テーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
静的ポート	静的ポートに設定されたポートを表示します。
禁止ポート	禁止ポートに設定されたポートを表示します。

転送設定追加／編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

マルチキャスト >> 一般 >> 転送設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
 - 一般
 - プロパティ
 - グループアドレス
 - ルーターポート
 - 転送設定
 - スロットル
 - フィルタリングプロファイル
 - フィルタリング
 - IGMP Snooping
 - MLD Snooping
 - MVR

転送設定追加

VLAN

利用可能なVLAN: 1, 2

選択済のVLAN:

IPバージョン: IPv4

タイプ:
 ☒ 静的
 ☐ 禁止

ポート

利用可能なポート: GE1, GE2, GE3, GE4, GE5, GE6, GE7, GE8

選択済のポート:

適用 閉じる

項目	内容
VLAN	利用可能な VLANID を選択します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを選択します。
タイプ	全転送テーブルのタイプを選択します。(静的／禁止)
ポート	利用可能なポートを選択します。

【一般】スロットル

スロットルの設定をします。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

マルチキャスト >> 一般 >> スロットル

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 検出
- マルチキャスト**
 - 一般
 - プロバティ
 - グループアドレス
 - ルーターポート
 - 転送設定
 - スロットル**
 - フィルタリングプロファイル
 - フィルタリング
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- MVR
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

スロットルテーブル

IPバージョン IPv4

Q

☐	インデックス	ポート	最大グループ	スロットルアクション
☐	1	GE1	256	上書き
☐	2	GE2	256	上書き
☐	3	GE3	256	上書き
☐	4	GE4	256	上書き
☐	5	GE5	256	上書き
☐	6	GE6	256	上書き
☐	7	GE7	256	上書き
☐	8	GE8	256	上書き
☐	9	GE9	256	上書き
☐	10	GE10	256	上書き
☐	11	GE11	256	上書き
☐	12	GE12	256	上書き
☐	13	GE13	256	上書き
☐	14	GE14	256	上書き
☐	15	GE15	256	上書き
☐	16	GE16	256	上書き
☐	17	GE17	256	上書き
☐	18	GE18	256	上書き
☐	19	LAG1	256	上書き
☐	20	LAG2	256	上書き
☐	21	LAG3	256	上書き
☐	22	LAG4	256	上書き
☐	23	LAG5	256	上書き
☐	24	LAG6	256	上書き
☐	25	LAG7	256	上書き
☐	26	LAG8	256	上書き

編集

選択中のスロットル設定します。
→ [P155「スロットル編集」](#)

スロットル編集



項目	内容	
ポート	選択中のポートを表示します。	
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを表示します。	
最大グループ	ポートの最大グループ数を設定します。	
スロットルアクション	最大グループ数を超えた場合の動作を設定します。	
	拒否	入れ替えを行いません。
	上書き	既存グループと入れ替えます。

【一般】フィルタリングプロファイル

フィルタリングのプロファイルを設定します。



選択したフィルタリングを削除します。

選択したフィルタリングを編集します。

「プロファイルID」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P156「プロファイル追加／編集」](#)

フィルタリングを追加します。

→ [P156「プロファイル追加／編集」](#)

プロファイル追加／編集



項目	内容
プロファイル ID	追加するプロファイルの ID を設定します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを表示します。
開始アドレス	グループ設定する IP レンジの開始アドレスを設定します。
終了アドレス	グループ設定する IP レンジの終了アドレスを設定します。
アクション	グループ設定する IP レンジのアクションを設定します。

【一般】フィルタリング

フィルタリングの設定をします。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋渡し
- マルチキャスト**
 - 一般
 - プロバティ
 - グループアドレス
 - ルーターポート
 - 転送設定
 - スロットル
 - フィルタリングプロファイル
 - フィルタリング**
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- MVR
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

マルチキャスト >> 一般 >> フィルタリング

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

フィルタリングテーブル

IPバージョン | IPv4

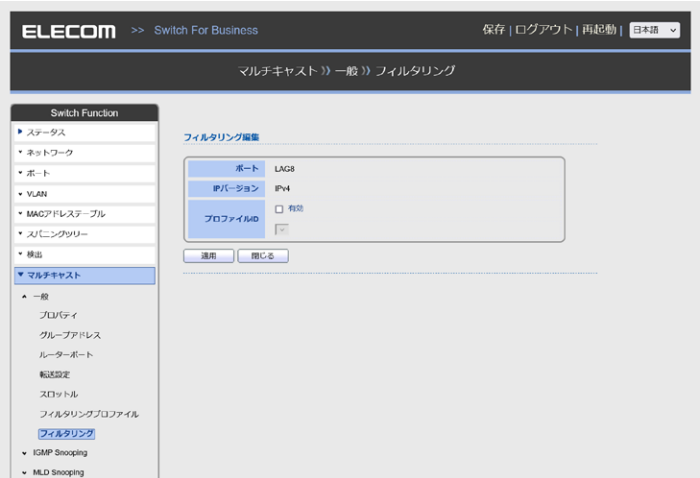
検索

☐	インデックス	ポート	プロファイルID
☐	1	GE1	
☐	2	GE2	
☐	3	GE3	
☐	4	GE4	
☐	5	GE5	
☐	6	GE6	
☐	7	GE7	
☐	8	GE8	
☐	9	GE9	
☐	10	GE10	
☐	11	GE11	
☐	12	GE12	
☐	13	GE13	
☐	14	GE14	
☐	15	GE15	
☐	16	GE16	
☐	17	GE17	
☐	18	GE18	
☐	19	LAG1	
☐	20	LAG2	
☐	21	LAG3	
☐	22	LAG4	
☐	23	LAG5	
☐	24	LAG6	
☐	25	LAG7	
☐	26	LAG8	

編集

選択中のフィルタリングを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P158 「フィルタリング編集」](#)

フィルタリング編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを表示します。
プロファイル ID	プロファイル ID を有効に設定します。

[IGMP Snooping] プロパティ

IGMP Snooping のプロパティを設定します。

選択したVLANの設定をします。
→ [P160 \[VLAN設定編集\]](#)

項目	内容
状態	IGMP Snooping のステータスを有効にします。
バージョン	IGMP Snooping のバージョンを選択します。(IGMPv2 / IGMPv3)
レポート抑制	IGMP Snooping の制御レポートを選択します。(初期値：有効)

VLAN 設定テーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
動作ステータス	動作ステータスの有効、無効を表示します。
ルーターポート自動学習	ルーターポート自動学習の有効、無効を表示します。
Query Robustness	各種クエリ設定を行います。
Query Interval	
Query Max Response Interval	
Last Member Query Counter	
Last Member Query Interval	即時離脱の有効、無効を表示します。
即時離脱	

VLAN 設定編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

マルチキャスト >> IGMP Snooping >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
 - 一般
 - IGMP Snooping
 - プロパティ
 - クエリ
 - 即時
 - MLD Snooping
 - MVR
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - 診断
 - 管理
 - ループ防止

VLAN設定編集

VLAN 1

状態 ☐ 有効

ルーターポート自動学習 ☒ 有効

即時離脱 ☐ 有効

Query Robustness 2 (1-7, デフォルト 2)

Query Interval 125 秒 (30-15000, デフォルト 125)

Query Max Response Interval 10 秒 (5-20, デフォルト 10)

Last Member Query Counter 2 (1-7, デフォルト 2)

Last Member Query Interval 1 秒 (1-25, デフォルト 1)

動作ステータス

状態	数値
Query Robustness	2
Query Interval	125 (秒)
Query Max Response Interval	10 (秒)
Last Member Query Counter	2
Last Member Query Interval	1 (秒)

適用 閉じる

項目	内容
VLAN	選択した VLAN ID が表示されます。
状態	IGMP Snooping の設定を行います。(初期値: 無効)
ルーターポート自動学習	ルーターポート自動学習の設定を行います (初期値: 有効)
即時離脱	IGMP の離脱設定を行います。IGMPv2 Leave および IGMPv3 Report (離脱要求) メッセージを受信すると、該当ポートへのマルチキャスト通信をすぐに停止します。(初期値: 無効)
Query Robustness	各種クエリ設定を行います。設定は「動作ステータス」にも表示されます。
Query Interval	
Query Max Response Interval	
Last Member Query Counter	
Last Member Query Interval	

[IGMP Snooping] クエリア

IGMP Snooping クエリアを設定します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

マルチキャスト >> IGMP Snooping >> クエリア

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 移出
- マルチキャスト
 - 一般
 - IGMP Snooping
 - プロパティ
 - クエリア
 - 設定
 - MLD Snooping
 - MVR
 - セキュリティ

クエリアテーブル

☐

VLAN

状態

動作ステータス

バージョン

クエリアアドレス

☐	1	無効	無効		
☐	2	無効	無効		

編集

選択中のクエリアを設定します。
→ [P162「クエリア編集」](#)

クエリアテーブル

項目	内容
VLAN	クエリア編集画面で設定した内容が表示されます。
状態	
動作ステータス	
バージョン	
クエリアアドレス	

161

クエリア編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The breadcrumb trail is 'マルチキャスト >> IGMP Snooping >> クエリア'. The left sidebar shows the 'Switch Function' menu with 'マルチキャスト' expanded, containing 'IGMP Snooping' and 'プロバディ'. The main content area is titled 'クエリア編集' and contains a form with the following fields:

- VLAN**: 2
- 状態**: ☒ 有効
- バージョン**: ☒ IGMPv2, ☐ IGMPv3

At the bottom of the form are two buttons: '適用' (Apply) and '閉じる' (Close).

項目	内容
VLAN	選択した VLAN ID が表示されます。
状態	クエリア設定行います。(初期値:無効)
バージョン	IGMP のバージョンを設定します。(IPMGv2 / IPMGv3)

【IGMP Snooping】統計

IGMP Snooping の統計を表示します。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト**
 - 一般
 - IGMP Snooping
 - プロパティ
 - クエリア
 - 統計**
 - MLD Snooping
 - MVR
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定

マルチキャスト >> IGMP Snooping >> 統計

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

受信パケット	
Total	289
Valid	34
Invalid	255
Other	0
Leave	0
Report	0
General Query	0
Special Group Query	0
Source-specific Group Query	0

送信パケット	
Leave	0
Report	0
General Query	0
Special Group Query	0
Source-specific Group Query	0

クリア リフレッシュ

リフレッシュ

表示内容を最新のものに更新します。

クリア

表示をクリアします。

【MLD Snooping】プロパティ

MLD Snooping のプロパティを設定します。

選択したVLANの設定をします。

→ [P165 「VLAN 設定編集」](#)

項目	内容
状態	MLD Snooping のステータスを有効にします。
バージョン	MLD Snooping のバージョンを選択します。(MLDv2 / MLDv3)
レポート抑制	MLD Snooping の制御レポートを選択します。(初期値: 有効)

VLAN 設定テーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
動作ステータス	動作ステータスの有効、無効を表示します。
ルーターポート自動学習	ルーターポート自動学習の有効、無効を表示します。
Query Robustness	各種クエリ設定を行います。
Query Interval	
Query Max Response Interval	
Last Member Query Counter	
Last Member Query Interval	
即時離脱	即時離脱の有効、無効を表示します。

VLAN 設定編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

マルチキャスト >> MLD Snooping >> プロバディ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
 - 一般
 - IGMP Snooping
 - プロバディ
 - クエリ
 - MLD Snooping
 - プロバディ
 - クエリ
 - MVR
 - セキュリティ
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - 診断
 - 管理

VLAN設定編集

VLAN 2

状態 ☐ 有効

ルーターポート自動学習 ☒ 有効

即時離脱 ☐ 有効

Query Robustness 2 (1-7, デフォルト 2)

Query Interval 125 秒 (30-15000, デフォルト 125)

Query Max Response Interval 10 秒 (5-20, デフォルト 10)

Last Member Query Counter 2 (1-7, デフォルト 2)

Last Member Query Interval 1 秒 (1-25, デフォルト 1)

動作ステータス

項目	状態	数値
Query Robustness	2	
Query Interval	125 (秒)	
Query Max Response Interval	10 (秒)	
Last Member Query Counter	2	
Last Member Query Interval	1 (秒)	

適用 閉じる

項目	内容
VLAN	選択した VLAN ID が表示されます。
状態	IGMP Snooping の設定を行います。(初期値: 無効)
ルーターポート自動学習	ルーターポート自動学習の設定を行います (初期値: 有効)
即時離脱	IGMP の離脱設定を行います。IGMPv2 Leave および IGMPv3 Report (離脱要求) メッセージを受信すると、該当ポートへのマルチキャスト通信をすぐに停止します。(初期値: 無効)
Query Robustness	各種クエリ設定を行います。設定は「動作ステータス」にも表示されます。
Query Interval	
Query Max Response Interval	
Last Member Query Counter	
Last Member Query Interval	

【MLD Snooping】統計

MLD Snooping の統計を表示します。

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top header includes the ELECOM logo, navigation links, and a language dropdown set to Japanese. The main title is 'マルチキャスト >> MLD Snooping >> 統計'. The left sidebar lists various switch functions, with 'マルチキャスト' expanded to show 'MLD Snooping' and '統計' selected. The main content area displays two tables:

受信パケット	
Total	0
Valid	0
Invalid	0
Other	0
Leave	0
Report	0
General Query	0
Special Group Query	0
Source-specific Group Query	0

送信パケット	
Leave	0
Report	0
General Query	0
Special Group Query	0
Source-specific Group Query	0

Below the tables are two buttons: 'クリア' (Clear) and 'リフレッシュ' (Refresh).

リフレッシュ

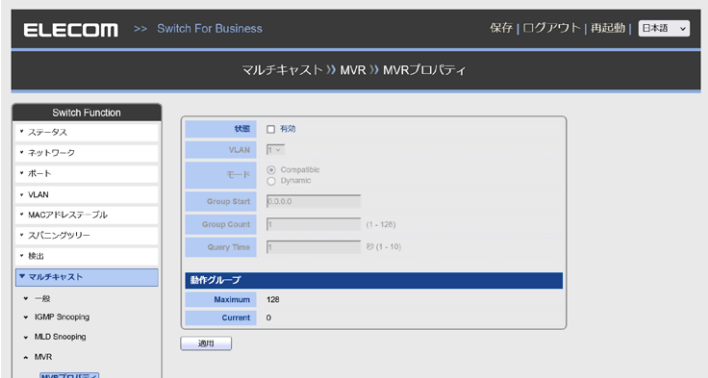
表示内容を最新のものに更新します。

クリア

表示をクリアします。

[MVR]MVRプロパティ

MVR のプロパティを設定します。



項目	内容				
状態	チェックを入れると、MVR のステータスを有効にします。				
VLAN	VLAN を選択します。				
モード	MVR モードを設定する <table><tr><td>Compatible</td><td>互換モードです。</td></tr><tr><td>Dynamic</td><td>送信元ポート上のグループ メンバーを学習します。</td></tr></table>	Compatible	互換モードです。	Dynamic	送信元ポート上のグループ メンバーを学習します。
Compatible	互換モードです。				
Dynamic	送信元ポート上のグループ メンバーを学習します。				
Group Start	MVR Group start を入力します。				
Group Count	Group Count を入力します。				
Query Time	Query Time を入力します。				

MVR ポートの設定をします。

圖 10-1-1 圖表

選択中のポートを設定します。
「エントリー」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P169「ポート設定編集」](#)

ポート設定編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes the ELECOM logo, a breadcrumb trail '>> Switch For Business', and links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main header area displays the path 'マルチキャスト >> MVR >> MVRポート設定'. On the left, a 'Switch Function' sidebar lists options like 'ステータス', 'ネットワーク', 'ポート', 'VLAN', 'MACアドレステーブル', 'スパンニングツリー', '検索', and 'マルチキャスト' (which is selected). The main content area, titled 'ポート設定編集', contains a form with the following fields:

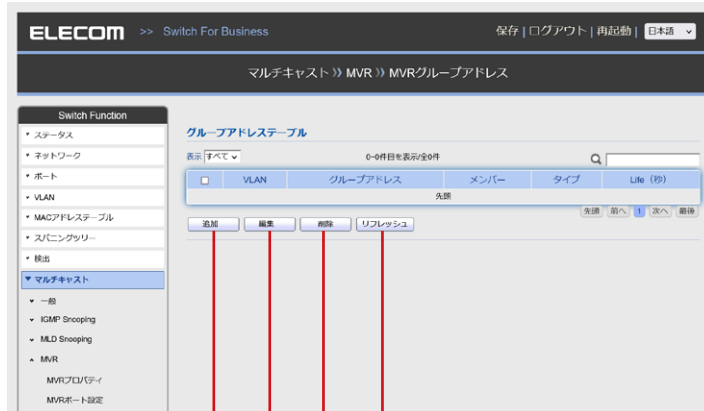
- ポート**: A text input field.
- LAGS**: A radio button group with 'なし' (selected) and '送信ポート'.
- ロール**: A radio button group with 'なし' (selected) and '送信元ポート'.
- 即時脱退**: A checkbox labeled '有効' (checked).

At the bottom of the form are '適用' (Apply) and '閉じる' (Close) buttons.

項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
ロール	MVR ポートのロール設定をします。(なし／受信ポート／送信ポート)
即時脱退	有効にチェックを入れると、MVR ポートから即時脱退します。

【MVR】MVRグループアドレス

MVR グループアドレスの設定をします。



リフレッシュ

表示内容を最新のものに更新します。

選択したグループアドレスを削除します。

選択したグループアドレスを編集します。

「VLAN」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P171 「グループアドレス追加」](#)

グループアドレスを追加します。

→ [P171 「グループアドレス追加」](#)

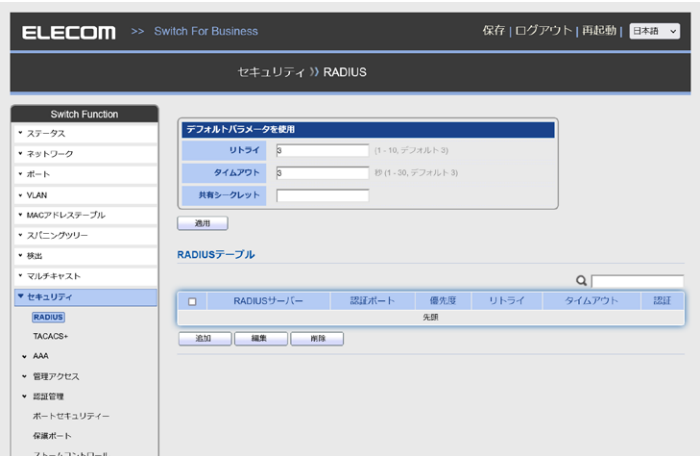
グループアドレス追加

The screenshot displays the 'ELECOM >> Switch For Business' web interface. At the top, there are links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The breadcrumb trail shows 'マルチキャスト >> MVR >> MVRグループアドレス'. The left sidebar, titled 'Switch Function', lists various settings with 'マルチキャスト' (Multicast) currently selected. The main content area, titled 'グループアドレス追加' (Add Group Address), contains a form for configuring a new multicast group. It includes a 'VLAN' dropdown menu showing '1', a 'グループアドレス' (Group Address) text input field with a range hint '(0.0.0.0 - 0.0.0.0)', and a 'メンバー' (Member) table. The table has two columns: '利用可能ポート' (Available Port) and '選択済のポート' (Selected Port). At the bottom of the form are '適用' (Apply) and '閉じる' (Close) buttons.

項目	内容
VLAN	MVR グループの VLAN ID を表示します。
グループアドレス	MVR グループの IP アドレスを入力します。
メンバー	MVR グループのメンバーポートを設定します。

RADIUS

RADIUS サーバーは、中央集中型のユーザー管理を容易にし、スニッフィングやハッカーからの攻撃から保護します。



■ デフォルトパラメータを使用

デフォルトの値を設定します。

項目	内容
リトライ	(範囲：1 ～ 10、初期値：3)
タイムアウト	(範囲：1 ～ 30、初期値：3)
共有シークレット	クライアントへのログオンアクセスを認証するために使用する暗号キーです。(半角英数字のみ 32 文字以下)

RADIUS サーバー追加／編集

The screenshot shows the 'RADIUSサーバー追加' (Add RADIUS Server) configuration page. The form includes the following fields and options:

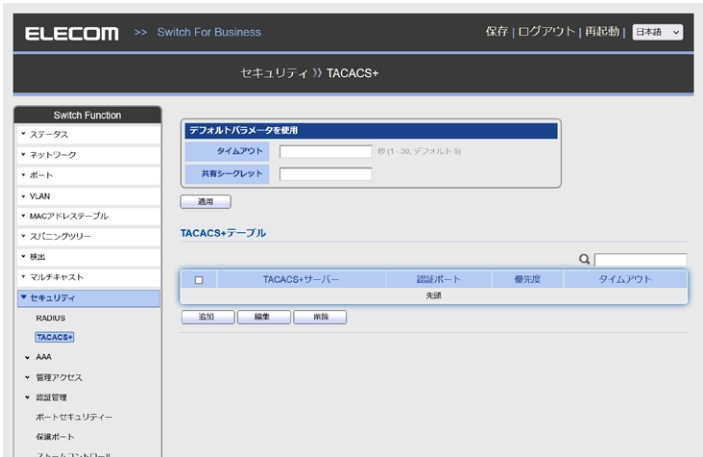
- アドレスタイプ**: Radio buttons for Host (selected), IPv4, and IPv6.
- RADIUSサーバー**: Text input field for the server IP address.
- 認証ポート**: Text input field with value 1812. Range: 0 - 65535, Default: 1812.
- 優先度**: Text input field with value 1812. Range: 0 - 65535.
- 共有シークレット**: Text input field with a checkbox 'デフォルトを使用' (Use Default).
- リトライ**: Text input field with value 1. Range: 1 - 10, Default: 3. Includes a checkbox 'デフォルトを使用'.
- タイムアウト**: Text input field with value 1. Range: 1 - 30, Default: 3. Includes a checkbox 'デフォルトを使用'.
- 認証**: Radio buttons for ログイン (Login), 802.1X, and すべて (All). 'すべて' is selected.

Buttons at the bottom: 適用 (Apply), 閉じる (Close).

項目	内容
アドレスタイプ	アドレスのタイプを選択します。
RADIUS サーバー	認証に使用する RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。 (初期値：空欄)
認証ポート	RADIUS プロトコルが使用する UDP ポート番号を設定します。 (初期値：1812)
優先度	優先度を設定します。値が小さいほど優先度は高くなります。 (範囲：0 ～ 65535、初期値：空白)
共有シークレット	クライアントへのログオンアクセスを認証するために使用する暗号キーです。チェックを入れると、デフォルトの値を使用します。 (半角英数字のみ 32 文字以下、初期値：デフォルトを使用)
リトライ	チェックを入れると、デフォルトの値を使用します。 (範囲：1 ～ 10、初期値：デフォルトを使用)
タイムアウト	チェックを入れると、デフォルトの値を使用します。 (範囲：1 ～ 30、初期値：デフォルトを使用)
認証	認証方法を選択します。 (初期値：すべて)

TACACS+

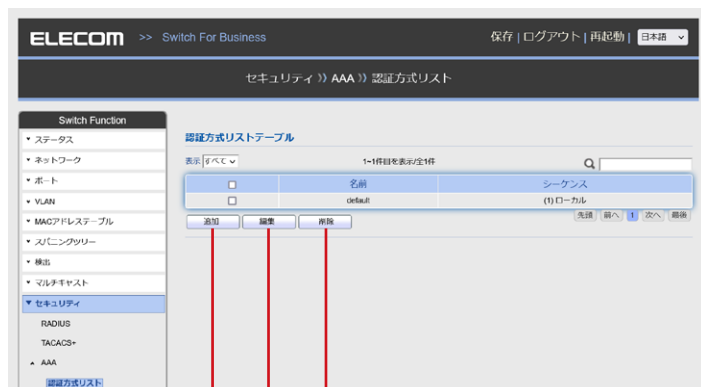
TACACS+ リモートアクセス認証サーバーに設定されたユーザー名とパスワードのリストに基づいたマネジメントアクセス（management access）の制御を行い、IEEE 802.1X ポート認証のためのクライアントアクセスを認証します。



■ デフォルトパラメータを使用

項目	内容
タイムアウト	ユーザーからの認証のレスポンスに対するスイッチの待ち時間（秒）を指定します。（範囲：1 ～ 30、初期値：3）
共有シークレット	クライアントへのログオンアクセスを認証するために使用する暗号キーです。（半角英数字のみ 32 文字以下）

【AAA】認証方式リスト



選択したリストテーブルを削除します。

選択したリストテーブルを編集します。
「名前」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P176「認証方式リスト追加／編集」](#)

リストテーブルを追加します。
→ [P176「認証方式リスト追加／編集」](#)

認証方式リスト追加／編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> AAA >> 認証方式リスト

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- ▼ セキュリティ
 - RADIUS
 - TACACS+
 - AAA
 - 認証方式リスト
 - ログイン認証
 - 管理アクセス
 - 温度管理
 - ポートセキュリティ
 - 保護ポート
 - ストームコントロール

認証方式リスト追加

名前

認証方式 1

認証方式 2

認証方式 3

認証方式 4

未設定
なし
ローカル
有効
RADIUS
TACACS+

未設定
なし
ローカル
有効
RADIUS
TACACS+

未設定
なし
ローカル
有効
RADIUS
TACACS+

未設定
なし
ローカル
有効
RADIUS
TACACS+

適用 閉じる

項目	内容												
名前	追加する認証方式リストの名前を設定します。												
認証方式 1	第 1 優先のログイン認証方式を設定します。 <table> <tr> <td>未設定</td><td>認証方式を設定しません。</td></tr> <tr> <td>なし</td><td>何も認証をしません。</td></tr> <tr> <td>ローカル</td><td>認証にローカルアカウントデータベースを使用します。</td></tr> <tr> <td>有効</td><td>認証にパスワードを使用します。</td></tr> <tr> <td>RADIUS</td><td>認証に RADIUS サーバーを使用します。</td></tr> <tr> <td>TACACS+</td><td>認証に TACACS+ サーバーを使用します。</td></tr> </table>	未設定	認証方式を設定しません。	なし	何も認証をしません。	ローカル	認証にローカルアカウントデータベースを使用します。	有効	認証にパスワードを使用します。	RADIUS	認証に RADIUS サーバーを使用します。	TACACS+	認証に TACACS+ サーバーを使用します。
未設定	認証方式を設定しません。												
なし	何も認証をしません。												
ローカル	認証にローカルアカウントデータベースを使用します。												
有効	認証にパスワードを使用します。												
RADIUS	認証に RADIUS サーバーを使用します。												
TACACS+	認証に TACACS+ サーバーを使用します。												
認証方式 2	第 2 優先のログイン認証方式を設定します。												
認証方式 3	第 3 優先のログイン認証方式を設定します。												
認証方式 4	第 4 優先のログイン認証方式を設定します。												

【AAA】ログイン認証

The screenshot shows the configuration page for AAA Login Authentication on an ELECOM Switch For Business. The interface includes a sidebar with a tree view of system functions. The 'セキュリティ' (Security) section is expanded, showing 'AAA' and '認証方式リスト' (Authentication Method List). The main content area displays a table for configuring authentication methods for Telnet, SSH, HTTP, and HTTPS. Each method is currently set to 'Default' and has a '(1) ローカル' (1 Local) button. An '適用' (Apply) button is located at the bottom of the configuration area.

項目	内容
Telnet	ログインする際にどの認証方式リストを適用するか設定します。
SSH	
HTTP	
HTTPS	

【管理アクセス】管理VLAN

管理 VLAN を選択します。



項目	内容
管理 VLAN	管理 VLAN に設定する ID をリストから選択します。

【管理アクセス】管理サービス

管理サービスの設定をします。

The screenshot shows the 'ELECOM Switch For Business' management interface. The breadcrumb trail is 'セキュリティ >> 管理アクセス >> 管理サービス'. The left sidebar has a 'Switch Function' menu with 'セキュリティ' (Security) selected. The main content area is titled '管理サービス' and contains four sections:

- 管理サービス**: A list of services with checkboxes. Telnet, SSH, and SNMP are unchecked. HTTP and HTTPS are checked.
- セッションタイムアウト**: Input fields for session timeout in minutes. Telnet, SSH, HTTP, and HTTPS are all set to 10. The range is 0 to 65535 minutes.
- パスワードリトライカウント**: Input fields for password retry count. Telnet and SSH are both set to 3. The range is 0 to 120.
- サイレントタイム**: Input fields for silent time in seconds. Telnet and SSH are both set to 0. The range is 0 to 65535 seconds.

At the bottom of the main area is a '適用' (Apply) button.

■ 管理サービス

項目	内容
Telnet	使用するサービスにチェックを入れます。 (初期値: HTTP にチェック)
SSH	
HTTP	
HTTPS	
SNMP	

■ セッションタイムアウト

項目	内容
Telnet	セッションがタイムアウトする時間を設定します。(分) (範囲: 0 ~ 65535、初期値: 10)
SSH	
HTTP	
HTTPS	

■ パスワードリトライカウント

項目	内容
Telnet	パスワードをリトライできる回数を設定します。 (範囲：0 ～ 120、初期値：3)
SSH	

■ サイレントタイム

項目	内容
Telnet	パスワードリトライカウントの回数を超えた入力エラーを検知すると、設定した時間はパスワード入力を受け付けなくなります。 (範囲：0 ～ 65535、初期値：3)
SSH	

【管理アクセス】管理画面アクセス制御設定

管理アクセスの制御設定をします。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> 管理アクセス >> 管理画面アクセス制御設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- RADIUS
- TACACS+
- AAA

アクセス制御設定名

適用

管理画面アクセス制御設定テーブル

表示 すべて

0-0件目を表示/20件

アクセス制御設定名

状態

ルール

先頭

先頭 (前へ) 1 (次へ) 最後

有効

無効

削除

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を無効にします。

選択したアクセス制御を有効にします。

項目	内容
アクセス制御設定名	名称を入力し、「適用」をクリックすると、アクセス制御が追加されます。 (半角英数字、記号で 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)

181

【管理アクセス】管理画面アクセスリスト作成

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business management interface. The breadcrumb navigation is: セキュリティ >> 管理アクセス >> 管理画面アクセス制御リスト作成. The left sidebar shows the 'Switch Function' menu with 'セキュリティ' (Security) selected. The main area is titled '管理画面アクセス制御リスト作成テーブル' (Management Access Control List Creation Table). It includes a search bar, a table with columns for '優先度' (Priority), 'アクション' (Action), 'サービス' (Service), 'ポート' (Port), and 'アドレスマスク' (Address Mask). Below the table are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). Red arrows point from Japanese text instructions to these buttons and the table header.

設定するアクセス制御を選択します。

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を編集します。
→ [P183「管理画面アクセス制御リスト追加」](#)

アクセス制御を追加します。
→ [P183「管理画面アクセス制御リスト追加」](#)

管理画面アクセス制御リスト追加

The screenshot shows the '管理画面アクセス制御リスト追加' (Add Access Control List) dialog in the ELECOM Switch For Business management interface. The dialog has the following fields and options:

- アクセス制御設定名** (Access Control List Name): abc
- 優先度** (Priority): 1 (Range: 1 - 85535)
- サービス** (Service):
 - ☐ すべて (All)
 - ☐ Http
 - ☐ Https
 - ☒ Snmp
 - ☐ Ssh
 - ☐ Telnet
- アクション** (Action):
 - ☐ 許可 (Allow)
 - ☒ 拒否 (Deny)
- ポート** (Port):
 - 利用可能ポート (Available Ports): GE1, GE2, GE3, GE4, GE5, GE6, GE7, GE8
 - 選択済みのポート (Selected Ports): [Empty]
- IPバージョン** (IP Version):
 - ☒ すべて (All)
 - ☐ IPv4
 - ☐ IPv6
- IPV4**: [Empty] / 192.168.255.255
- IPV6**: [Empty] / [Empty] (1 - 128)

Buttons at the bottom: 適用 (Apply), 閉じる (Close).

項目	内容												
アクセス制御設定名	アクセス制御設定名が表示されます。												
優先度	ACE の優先度を指定します。より高いシーケンスを持つ ACE が最初に処理されます (1 が最高の優先順位)。「追加」ダイアログでのみ使用できます。												
サービス	サービスのタイプを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>すべて</td><td>すべてのサービス</td></tr> <tr> <td>HTTP</td><td>HTTP サービスのみ</td></tr> <tr> <td>HTTPs</td><td>HTTPs サービスのみ</td></tr> <tr> <td>SNMP</td><td>SNMP サービスのみ</td></tr> <tr> <td>SSH</td><td>SSH サービスのみ</td></tr> <tr> <td>Telnet</td><td>Telnet サービスのみ</td></tr> </table>	すべて	すべてのサービス	HTTP	HTTP サービスのみ	HTTPs	HTTPs サービスのみ	SNMP	SNMP サービスのみ	SSH	SSH サービスのみ	Telnet	Telnet サービスのみ
すべて	すべてのサービス												
HTTP	HTTP サービスのみ												
HTTPs	HTTPs サービスのみ												
SNMP	SNMP サービスのみ												
SSH	SSH サービスのみ												
Telnet	Telnet サービスのみ												
アクション	ACE 一致パケット後のアクションを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>許可</td><td>ACE 基準を満たすパケットを転送します。</td></tr> <tr> <td>拒否</td><td>ACE 基準を満たすパケットを拒否します。</td></tr> </table>	許可	ACE 基準を満たすパケットを転送します。	拒否	ACE 基準を満たすパケットを拒否します。								
許可	ACE 基準を満たすパケットを転送します。												
拒否	ACE 基準を満たすパケットを拒否します。												

項目	内容	
ポート	利用可能なポートを選択します。	
IP バージョン	送信元 IP アドレスの種類を選択します。	
	すべて	すべての IP アドレスがアクセスできます。
	IPv4	アクセスするための IPv4 アドレスを指定します。
	IPv6	アクセスするための IPv6 アドレスを指定します。
IPv4	送信元 IPv4 アドレス値とサブネットマスクを入力します。	
IPv6	送信元 IPv6 アドレス値とサブネットマスクを入力します。	

【認証管理】プロパティ

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> 認証管理 >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スニッパツタリ
- 移出
- マルチキャスト
- セキュリティ

RADIUS

- TACACS+
- AAA
- 管理アクセス
- 認証管理
- プロパティ
- ポート設定
- MACベースローカルアカウント
- WEBベースローカルアカウント
- セッション
- ポートセキュリティ
- 保護ポート
- ストームコントロール
- DoS
- ダイナミックARPインスベクション
- DHCP Snooping
- IPソースガード

認証タイプ

802.1x ☐ MACベース ☐ WEBベース ☐

ゲストVLAN

MACベースユーザーIDフォーマット 000000000000

適用

ポートモードテーブル

インデックス	ポート	認証タイプ			ポートモード	認証順序	認証方式	ゲストVLAN	VLAN
		802.1x	MACベース	WEBベース					
☐	1 GE1	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	2 GE2	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	3 GE3	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	4 GE4	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	5 GE5	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	6 GE6	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	7 GE7	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	8 GE8	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	9 GE9	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	10 GE10	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	11 GE11	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	12 GE12	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	13 GE13	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	14 GE14	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	15 GE15	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	16 GE16	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	17 GE17	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	
☐	18 GE18	無効	無効	無効	マルチ認証	802.1x	RADIUS	無効	

適用

選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P186「ポートモード編集」](#)

項目	内容	
認証タイプ	次の認証タイプを有効または無効にします。	
	802.1x	IEEE 802.1x を使用して認証を実行します。
	MAC ベース	MAC アドレスを使用して認証を実行します。
	WEB ベース	ユーザーが認証を行うための Web ページで認証を実行します。
ゲスト VLAN	ゲスト VLAN を有効／無効にします。ゲスト VLAN が有効な場合は、ゲスト VID として使用可能な VLAN ID を 1 つ選択する必要があります。	
MAC ベースユーザー ID フォーマット	Mac ベースの認証 RADIUS ユーザー名／パスワード ID 形式を選択します。	

ポートモード編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

セキュリティ >> 認証管理 >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋渡し
- マルチキャスト
- セキュリティ
- RADIUS
- TACACS+
- AAA
- 管理アクセス
- 配置管理
- プロパティ
- ポート設定
- MACベースローカルアカウント
- WEBベースローカルアカウント
- セッション
- ポートにセキュリティ
- 保護ポート
- ストームコントロール
- DoS
- ダイナミックARP-インスベクション

ポートモード編集

ポート GE18

認証タイプ ☐ 802.1x ☐ MACベース ☐ WEBベース

ホストモード ☒ マルチ認証 ☐ マルチホスト ☐ シングルホスト

認証順序 利用可能なタイプ 選択済みタイプ
MACベース WEBベース > 802.1x <

認証方式 利用可能な認証方式 選択済み認証方式
ローカル > RADIUS <

ゲストVLAN ☐ 有効

VLAN割り当てモード ☐ 無効 ☐ 拒絶 ☒ 許可

適用 閉じる

項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
認証タイプ	認証タイプを選択します。
ホストモード	ホストモードを選択します。
認証順序	認証順序を設定します。
認証方式	認証方式を設定します。
ゲスト VLAN	チェックを入れるとゲスト VLAN が有効になります。
VLAN 割り当てモード	VLAN 割り当てモードを選択します。

【認証管理】ポート設定

認証管理ポートの設定をします。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▾

セキュリティ >> 認証管理 >> ポート設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- ▼ セキュリティ
 - RADIUS
 - TACACS+
 - AAA
 - 管理アクセス
 - ▲ 認証管理
 - プロパティ
 - [ポート設定](#)
 - MACベースローカルアカウント
 - WEBベースローカルアカウント
 - セッション

ポート設定テーブル

□	インデックス	ポート	ポート制御	再認証	最大ホスト数	共通タイマー			送信周期	サブリカント
						再認証	非アクティブ	無応答		
☐	1	GE1	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	2	GE2	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	3	GE3	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	4	GE4	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	5	GE5	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	6	GE6	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	7	GE7	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	8	GE8	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	9	GE9	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	10	GE10	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	11	GE11	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	12	GE12	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	13	GE13	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	14	GE14	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	15	GE15	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	16	GE16	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	17	GE17	無効	無効	256	3600	60	60	30	3
☐	18	GE18	無効	無効	256	3600	60	60	30	3

[編集](#)

選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P188「ポート設定編集」](#)

ポート設定編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> 認証管理 >> ポート設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ**
 - RADIUS
 - TACACS+
 - AAA
 - 管理アクセス
 - 認証管理
 - プロキシ
 - ポート制御**
 - MACベースローカルアカウント
 - WEBベースローカルアカウント
 - セッション
 - ポートセキュリティ
 - 保護ポート
 - ストームコントロール

ポート設定編集

ポート: GE18

ポート制御: ☒ 無効 ☐ 強制承認 ☐ 強制解除 ☐ 自動

再認証: ☐ 有効

最大ホスト数: 256 (1 - 256, デフォルト: 256)

共通タイマー

再認証: 3600 秒 (300 - 4294967294, デフォルト: 3600)

再アクティブ: 60 秒 (60 - 65535, デフォルト: 60)

無応答: 60 秒 (60 - 65535, デフォルト: 60)

802.1xパラメータ

送信間隔: 30 秒 (1 - 65535, デフォルト: 30)

サブリカントタイムアウト: 30 秒 (1 - 65535, デフォルト: 30)

サーバータイムアウト: 30 秒 (1 - 65535, デフォルト: 30)

最大リクエスト数: 2 (1 - 10, デフォルト: 2)

Webベースパラメータ

最大ログイン回数: ☐ 制限なし ☐ 制限あり

最大ログイン回数: 3 (3 - 10, デフォルト: 3)

適用 閉じる

項目	内容								
ポート	選択中のポート番号が表示されます。								
ポート制御	以下の認証ポート制御タイプをサポートします。 <table border="1"> <tr> <td>無効</td><td>認証機能を無効にし、すべてのクライアントがネットワークにアクセスできるようにします。</td></tr> <tr> <td>強制承認</td><td>ポートが強制的に承認され、すべてのクライアントがネットワークにアクセスできるようになります。</td></tr> <tr> <td>強制解除</td><td>ポートが強制的に解除されるため、すべてのクライアントはネットワークにアクセスできません。</td></tr> <tr> <td>自動</td><td>ネットワークにアクセスするには、認証手順にパスする必要があります。</td></tr> </table>	無効	認証機能を無効にし、すべてのクライアントがネットワークにアクセスできるようにします。	強制承認	ポートが強制的に承認され、すべてのクライアントがネットワークにアクセスできるようになります。	強制解除	ポートが強制的に解除されるため、すべてのクライアントはネットワークにアクセスできません。	自動	ネットワークにアクセスするには、認証手順にパスする必要があります。
無効	認証機能を無効にし、すべてのクライアントがネットワークにアクセスできるようにします。								
強制承認	ポートが強制的に承認され、すべてのクライアントがネットワークにアクセスできるようになります。								
強制解除	ポートが強制的に解除されるため、すべてのクライアントはネットワークにアクセスできません。								
自動	ネットワークにアクセスするには、認証手順にパスする必要があります。								
再認証	再認証の有効 / 無効の設定をします。								
最大ホスト数	複数認証モードでは、合計ホスト数が最大ホスト数を超えることはできません。								

■ 共通タイマー

項目	内容
再認証	再認証期間の経過後ホストは初期状態に戻り、再度認証手順にパスする必要があります。
非アクティブ	認証されたホストからのパケットがない場合、非アクティブタイマーが増加します。 非アクティブなタイムアウトの後、ホストは許可されなくなり、対応するセッションが削除されます。 マルチホスト モードでは、パケットはポート上のすべてのパケットではなく、許可されたホストのみをカウントします。
無応答	認証に失敗しポートがロックされた場合、無応答時間経過した後に再度認証することができるようになります。

■ 802.1xパラメータ

項目	内容
送信可能	デバイスが要求を再送信する前に、サブリカント（クライアント）からの Extensible Authentication Protocol (EAP) 要求 / アイデンティティ フレームへの応答を待機します。
サブリカントタイムアウト	送信できる EAP リクエストの最大数を設定します。 定義された時間が経過しても応答が受信されない場合（サブリカント タイムアウト）、認証プロセスが再開されます。
サーバータイムアウト	EAP 要求がサブリカントに再送信されるまでの経過秒数を設定します。
最大リクエスト数	デバイスが認証サーバーにリクエストを再送信するまでの経過秒数を設定します。

■ Web ベースパラメータ

項目	内容
最大ログイン回数	無限に設定するか、最大ログイン数を指定します。

【認証管理】MACベースローカルアカウント



選択したMACベースローカルアカウントを削除します。

選択したMACベースローカルアカウントを編集します。
「MACアドレス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P191 【MACベースローカルアカウント追加／編集】](#)

MACベースローカルアカウントを追加します。
→ [P191 【MACベースローカルアカウント追加／編集】](#)

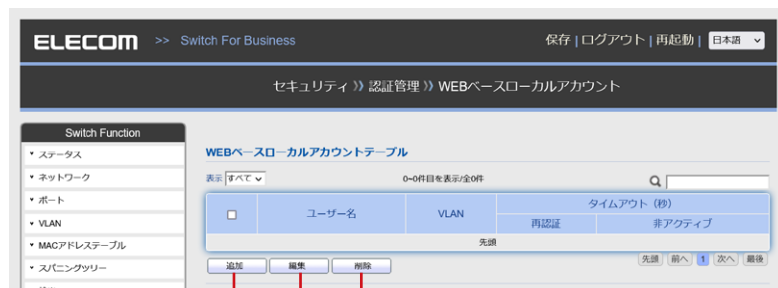
MAC ベースローカルアカウント追加／編集

項目	内容
MAC アドレス	追加したい MAC アドレスを入力します。
ポート制御	ポート制御方法を選択します。
VLAN	VLAN ID を設定します。

■ 割り当てタイマー

項目	内容
再認証	再認証までの時間を設定します。
非アクティブ	非アクティブとなるまでの時間を設定します。

【認証管理】WEB ベースローカルアカウント



選択したWEB ベースローカルアカウントを削除します。

選択したWEB ベースローカルアカウントを編集します。
「ユーザー名」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P193 【WEBベースローカルアカウント追加／編集】](#)

WEB ベースローカルアカウントを追加します。
→ [P193 【WEBベースローカルアカウント追加／編集】](#)

WEB ベースローカルアカウント追加／編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM >> Switch For Business', '保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語', and a breadcrumb trail 'セキュリティ > 認証管理 > WEBベースローカルアカウント'. The left sidebar lists 'Switch Function' categories: ステータス, ネットワーク, ポート, VLAN, MACアドレステーブル, スパンニングツリー, 橋渡し, マルチキャスト, セキュリティ (selected), RADIUS, TACACS+, AAA, and 管理アクセス. The main content area is titled 'WEBベースローカルアカウント追加' and contains the following form fields:

- ユーザー名**: Text input with 'user' entered.
- パスワード**: Password input with '****' entered.
- パスワード確認**: Password confirmation input.
- VLAN**: Text input with '1' entered, and a note '(1 - 4094)'.
- 割り当てタイマー** section:
 - 再認証**: Radio button for 'ユーザー定義' (User-defined) is selected. The input field shows '3000' and a note '秒 (300 - 4294367294)'.
 - 非アクティブ**: Radio button for 'ユーザー定義' (User-defined) is selected. The input field shows '30' and a note '秒 (30 - 65535)'.

At the bottom of the form are '適用' (Apply) and '閉じる' (Close) buttons.

項目	内容
ユーザー名	ユーザー名を入力します。 (半角英数字のみ 30 文字まで)
パスワード	認証パスワードを入力します。 (半角英数字のみ 32 文字まで)
パスワード確認	確認用のパスワードを入力します。
VLAN	VLAN ID を設定します。

■ 割り当てタイマー

項目	内容
再認証	再認証までの時間を設定します。
非アクティブ	非アクティブとなるまでの時間を設定します。

【認証管理】セッション

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes the ELECOM logo, a breadcrumb trail '>> Switch For Business', and links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main header displays the navigation path 'セキュリティ >> 認証管理 >> セッション'.

On the left, a 'Switch Function' sidebar lists several categories: 'ステータス' (Status), 'ネットワーク' (Network), 'ポート' (Port), 'VLAN', 'MACアドレステーブル' (MAC Address Table), 'スパンニングツリー' (Spanning Tree), and '輸出' (Export).

The main content area is titled 'セッションテーブル' (Session Table). It features a '表示' (Display) dropdown menu currently set to 'すべて' (All), and a text indicator '0-0件目を表示/全0件' (Display 0-0 items / of 0 total items). Below this is a table with columns for session details. The first row is a header row with a checkbox, 'セッションID', 'ポート', 'MACアドレス', '現在のタイプ', '状態', and a '運用情報' (Operational Information) section. The second row contains sub-headers: 'VLAN', 'セッション時間', '非アクティブ時間', and '無応答時間'. The table body is currently empty, with a '先讀' (Load More) link at the bottom.

At the bottom of the main area are two buttons: 'クリア' (Clear) and 'リフレッシュ' (Refresh). Red lines from the text on the right point to these buttons.

リフレッシュ

表示内容を最新のものに更新します。

クリア

表示をクリアします。

ポートセキュリティ

ポートのセキュリティを設定します。

ポートセキュリティに登録されている
MACアドレスをすべて削除します。

ポートセキュリティ

ポートセキュリティテーブル

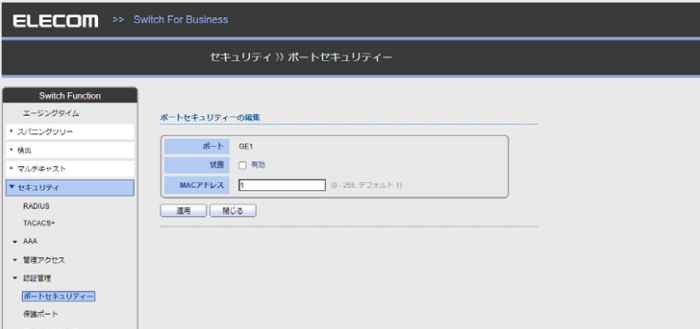
	インデックス	ポート	状態	MACアドレス	現在の登録数
☐	1	GE1	無効	1	1
☐	2	GE2	無効	1	0
☐	3	GE3	無効	1	0
☐	4	GE4	無効	1	0
☐	5	GE5	無効	1	0
☐	6	GE6	無効	1	0
☐	7	GE7	無効	1	0
☐	8	GE8	無効	1	0
☐	9	GE9	無効	1	0
☐	10	GE10	無効	1	0
☐	11	LAG1	無効	1	0
☐	12	LAG2	無効	1	0
☐	13	LAG3	無効	1	0
☐	14	LAG4	無効	1	0
☐	15	LAG5	無効	1	0
☐	16	LAG6	無効	1	0
☐	17	LAG7	無効	1	0
☐	18	LAG8	無効	1	0

編集

選択中のポートのセキュリティを編集します。
→ [P196 「ポートセキュリティの編集」](#)

項目	内容
状態	ポートセキュリティ機能の有効／無効を設定します。 ※ポートセキュリティ機能は動的 MAC アドレスを対象とします。

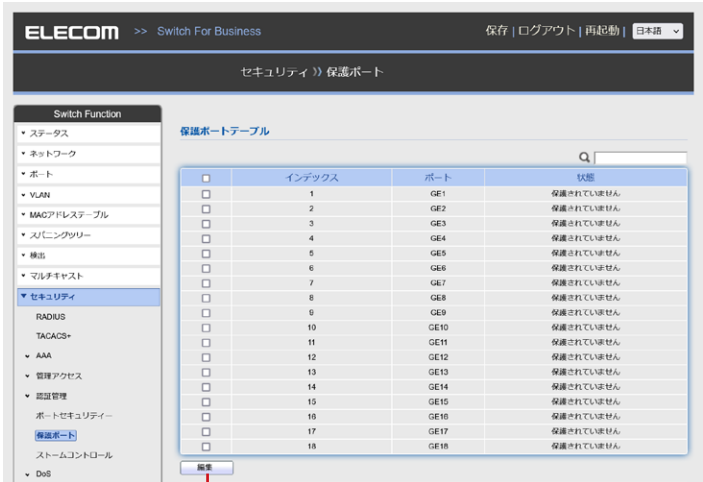
ポートセキュリティの編集



項目	内容
ポート	選択したポートを表示します。
状態	ポートセキュリティの有効 / 無効を設定します。
MAC アドレス	学習できる MAC アドレスの数を指定します。

保護ポート

保護ポートの設定をします。



選択中の保護ポートを編集します。
→ [P197「保護ポート編集」](#)

保護ポート編集



項目	内容
ポート	選択したポート番号を表示します。
状態	チェックを入れるとポートを保護します。

ストームコントロール

トラフィックを制限して過負荷状態になるのを防ぎます。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> ストームコントロール

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋渡し
- マルチキャスト
- セキュリティ
 - RADIUS
 - TACACS+
 - AAA
 - 管理アクセス
 - 温度管理
 - ポートセキュリティ
 - 保護ポート
 - ストームコントロール**
 - DoS
 - ダイナミックNTP-インスペクション
 - DHCP Snooping
 - IPソースガード
 - アクセス制御設定
 - QoS
 - 診断

受信レート単位 ☐ パケット / 秒 ☒ Kbits / 秒

フレーム間ギャップ ☒ 除外 ☐ 含める

適用

ポート設定テーブル

インデックス	ポート	状態	ブロードキャスト		不明なマルチキャスト		不明なユニキャスト		アクション
			状態	レート (Kbps)	状態	レート (Kbps)	状態	レート (Kbps)	
☐	1	GE1	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	2	GE2	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	3	GE3	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	4	GE4	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	5	GE5	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	6	GE6	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	7	GE7	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	8	GE8	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	9	GE9	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	10	GE10	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	11	GE11	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	12	GE12	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	13	GE13	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	14	GE14	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	15	GE15	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	16	GE16	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	17	GE17	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊
☐	18	GE18	有効	10000	有効	10000	有効	10000	破壊

適用

選択中のポートのストームコントロールを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P199「ポート設定編集」](#)

項目	内容
受信レート単位	受信レート単位をパケットまたはKbitsのいずれかに設定します。
フレーム間ギャップ	フレーム間ギャップを除外するか、含めるか設定します

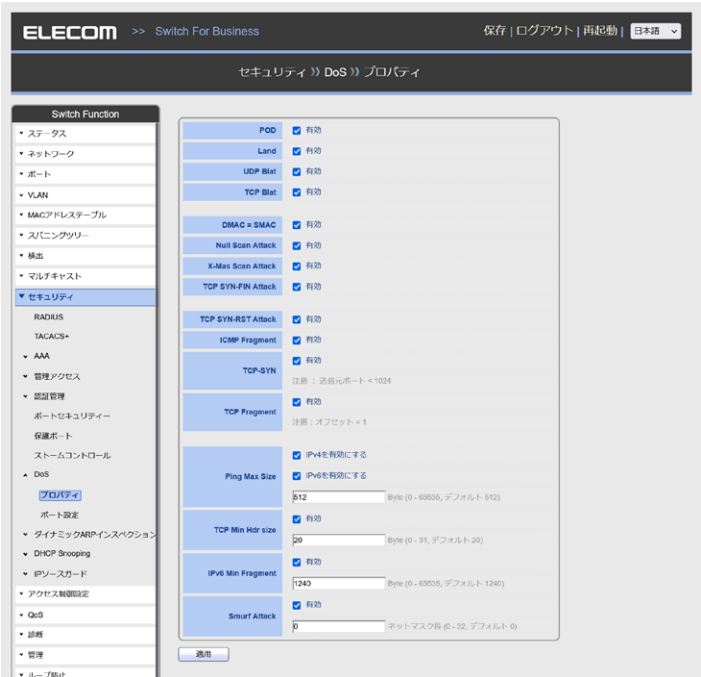
ポート設定編集



項目	内容	
ポート	選択したポートが表示されます。	
状態	ストームコントロールのポート設定を行います。(初期値：無効)	
ブロードキャスト	ストームコントロールのブロードキャスト設定を行います。(初期値:無効) (16-100000000 初期値：10000Kbps)	
不明なマルチキャスト	不明なマルチキャストの設定を行います。(初期値：無効) (16-100000000 初期値：10000Kbps)	
不明なユニキャスト	不明なユニキャストの設定を行います。(初期値：無効) (16-100000000 初期値：10000Kbps)	
アクション	アクションを設定します。	
	破棄	ストーム制御レートを超えるパケットは破棄されます。
	シャットダウン	パケットがストーム制御レートを超えると、ポートがシャットダウンされます。

[DoS] プロパティ

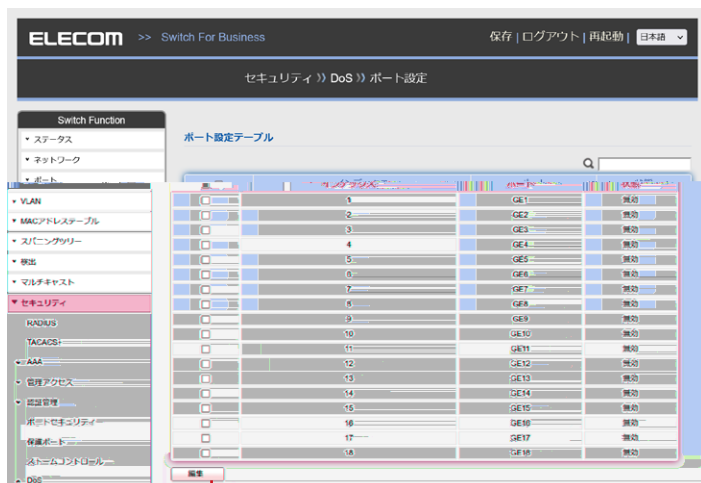
DoS 攻撃防止のための設定を行います。



項目	内容
POD	Ping of Death 攻撃（不正に大きな Ping パケットによる DoS 攻撃） 防御機能を有効にします。（初期値：有効）
Land	Local Area Network Denial 攻撃（送信元 IP アドレスと宛先 IP アドレスが同じパケットによる DoS 攻撃） 防御機能を有効にします。 （初期値：有効）
UDP Blat	UDP Blat 攻撃防御機能を有効にします。（初期値：有効）
TCP Blat	TCP Blat 攻撃防御機能を有効にします。（初期値：有効）
DMAC = SMAC	送信元 MAC アドレスと宛先 MAC アドレスが同じパケットによる DoS 攻撃防御機能を有効にします。（初期値：有効）
Null Scan Attack	Null スキャン（シーケンス番号が 0 かつ、すべてのフラグがセット されていない TCP パケットを利用したポートスキャン） 攻撃防御機 能を有効にします。（初期値：有効）

項目	内容
X-Mas Scan Attack	X-Mas スキャン (シーケンス番号が 0 かつ、FIN/URG/PSH の 3 つの矛盾するフラグがセットされた TCP パケットを利用したポートスキャン) 防御機能を有効にします。(初期値: 有効)
TCP SYN-FIN Attack	SYN/FIN の 2 つの矛盾するフラグがセットされた TCP パケットによる攻撃防御機能を有効にします。(初期値: 有効)
TCP SYN-RST Attack	SYN/RST の 2 つのフラグがセットされた TCP パケットによる攻撃をフィルタリングします。(初期値: 有効)
ICMP Fragment	フラグメントされた ICMP パケットをフィルタリングします。(初期値: 有効)
TCP-SYN	送信元ポートが 1024 未満の TCP SYN フラッド攻撃をフィルタリングします。(初期値: 有効)
TCP Fragment	フラグメントされた先頭以外の TCP パケットをフィルタリングします。(初期値: 有効)
Ping Max Size	設定された値より大きいペイロードサイズを持つ ICMPv4/ICMPv6 Ping パケットをフィルタリングします。(初期値: 有効)
TCP Min Hdr size	完全な TCP ヘッダーを持たないフラグメントされた先頭の TCP パケットをチェックします。(初期値: 有効)
IPv6 Min Fragment	IPv6 フラグメントの最小サイズをチェックします。(初期値: 有効)
Smurf Attack	Smurf Attack による攻撃をフィルタリングします。(初期値: 有効)

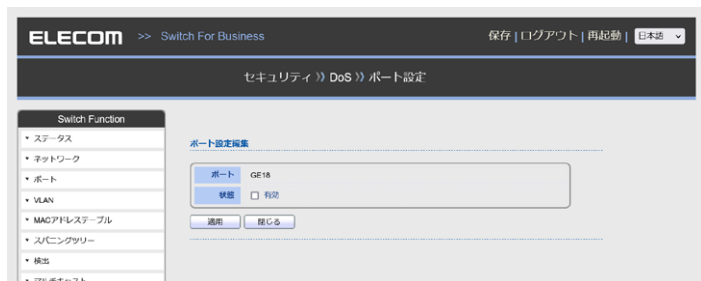
[DoS] ポート設定



マルチキャスト転送設定を編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると
全選択になります。

→ [P202「ポート設定編集」](#)

ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	選択したポートの DoS 設定を有効 / 無効にします。

【ダイナミックARP インспекション】プロパティ

ダイナミック ARP インспекションのプロパティを設定します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> ダイナミックARPインспекション >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- RADIUS
- TACACS+
- AAA
- 管理アクセス
- 認証管理
- ポートセキュリティ
- 保護ポート
- ストームコントロール
- DoS
- ダイナミックARPインспекション
- プロパティ
- 統計
- DHCP Snooping
- IPソースガード
- アクセス制御設定
- QoS
- 秒数
- 管理
- ループ防止

状態 ☐ 有効

VLAN

利用可能なVLAN

VLAN 1
VLAN 2

選択済みのVLAN

適用

ポート設定テーブル

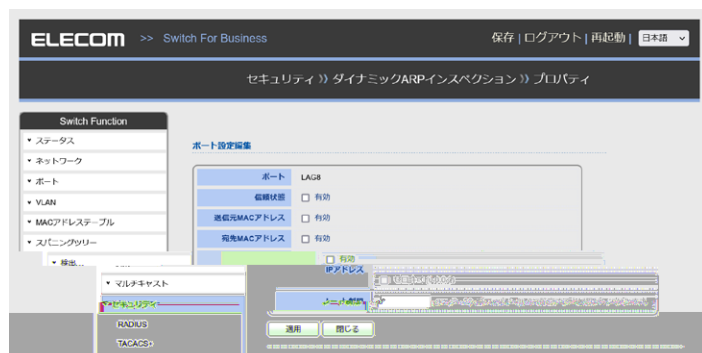
インデックス	ポート	信頼状態	送信元MACアドレス	宛先MACアドレス	IPアドレス	レート制限
☐ 1	GE1	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 2	GE2	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 3	GE3	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 4	GE4	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 5	GE5	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 6	GE6	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 7	GE7	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 8	GE8	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 9	GE9	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 10	GE10	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 11	GE11	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 12	GE12	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 13	GE13	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 14	GE14	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 15	GE15	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 16	GE16	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 17	GE17	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 18	GE18	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 19	LAG1	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 20	LAG2	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 21	LAG3	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 22	LAG4	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 23	LAG5	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 24	LAG6	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 25	LAG7	無効	無効	無効	無効	制限なし
☐ 26	LAG8	無効	無効	無効	無効	制限なし

適用

選択したポートの設定をします。
→ [P204「ポート設定編集」](#)

項目	内容
状態	ダイナミック ARP インспекションを有効にします。
VLAN	利用可能な VLAN から任意の VLAN を選択し、選択済みの VLAN に移動しダイナミック ARP インспекションを有効にします。

ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
信頼状態	インターフェイスの信頼状態を有効または無効にします。 信頼を有効にすると、すべての DHCP パケットが直接転送されます。
送信元 MAC アドレス	有効にすると送信元 MAC アドレスが検査対象になります。
宛先 MAC アドレス	有効にすると宛先 MAC アドレスが検査対象になります。
IP アドレス	有効にすると IP アドレスが検査対象になります。
レート制限	DHCP パケットの入力レート制限を設定します。単位は pps です。 0 は無制限を意味します。

【ダイナミックARPインスペクション】統計

ダイナミック ARP インスペクションの統計を表示します。

セキュリティ > ダイナミックARPインスペクション > 統計

統計テーブル

☐	インデックス	ポート	転送	送信元MAC 失敗	宛先 MAC 失敗	送信元IP 検証失敗	宛先IP 検証失敗	IP-MAC 不一致失敗
☐	1	GE1	0	0	0	0	0	0
☐	2	GE2	0	0	0	0	0	0
☐	3	GE3	0	0	0	0	0	0
☐	4	GE4	0	0	0	0	0	0
☐	5	GE5	0	0	0	0	0	0
☐	6	GE6	0	0	0	0	0	0
☐	7	GE7	0	0	0	0	0	0
☐	8	GE8	0	0	0	0	0	0
☐	9	GE9	0	0	0	0	0	0
☐	10	GE10	0	0	0	0	0	0
☐	11	GE11	0	0	0	0	0	0
☐	12	GE12	0	0	0	0	0	0
☐	13	GE13	0	0	0	0	0	0
☐	14	GE14	0	0	0	0	0	0
☐	15	GE15	0	0	0	0	0	0
☐	16	GE16	0	0	0	0	0	0
☐	17	GE17	0	0	0	0	0	0
☐	18	GE18	0	0	0	0	0	0
☐	19	LAG1	0	0	0	0	0	0
☐	20	LAG2	0	0	0	0	0	0
☐	21	LAG3	0	0	0	0	0	0
☐	22	LAG4	0	0	0	0	0	0
☐	23	LAG5	0	0	0	0	0	0
☐	24	LAG6	0	0	0	0	0	0
☐	25	LAG7	0	0	0	0	0	0
☐	26	LAG8	0	0	0	0	0	0

クリア リフレッシュ

リフレッシュ

表示内容を最新のものに更新します。

クリア

表示をクリアします。

[DHCP Snooping] プロパティ

DHCP Snooping のプロパティを設定します。

状態 ☐ 有効

利用可能なVLAN: VLAN 1, VLAN 2

選択済みのVLAN:

適用

ポート設定テーブル

	インデックス	ポート	信頼状態	Chaddr確認	レート制限
☐	1	GE1	無効	無効	制限なし
☐	2	GE2	無効	無効	制限なし
☐	3	GE3	無効	無効	制限なし
☐	4	GE4	無効	無効	制限なし
☐	5	GE5	無効	無効	制限なし
☐	6	GE6	無効	無効	制限なし
☐	7	GE7	無効	無効	制限なし
☐	8	GE8	無効	無効	制限なし
☐	9	GE9	無効	無効	制限なし
☐	10	GE10	無効	無効	制限なし
☐	11	GE11	無効	無効	制限なし
☐	12	GE12	無効	無効	制限なし
☐	13	GE13	無効	無効	制限なし
☐	14	GE14	無効	無効	制限なし
☐	15	GE15	無効	無効	制限なし
☐	16	GE16	無効	無効	制限なし
☐	17	GE17	無効	無効	制限なし
☐	18	GE18	無効	無効	制限なし
☐	19	LAG1	無効	無効	制限なし
☐	20	LAG2	無効	無効	制限なし
☐	21	LAG3	無効	無効	制限なし
☐	22	LAG4	無効	無効	制限なし
☐	23	LAG5	無効	無効	制限なし
☐	24	LAG6	無効	無効	制限なし
☐	25	LAG7	無効	無効	制限なし
☐	26	LAG8	無効	無効	制限なし

適用

選択したポートの設定をします。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P207「ポート設定編集」](#)

項目	内容
状態	DHCP Snooping の有効 / 無効を設定します。
VLAN	利用可能な VLAN から任意の VLAN を選択し、選択済みの VLAN に移動し DHCP Snooping を有効にします。

ポート設定編集

項目	内容
ポート	選択したポートを表示します。
信頼状態	選択したポートの信頼状態を有効または無効にします。信頼状態を有効にすると、すべての DHCP パケットが直接転送されます。
Chaddr 確認	Chaddr 確認を有効または無効にします。Chaddr 確認を有効にすると、すべての DHCP パケットが、クライアントの MAC アドレスがイーサネットヘッダーの送信元の MAC アドレスと同じかどうかチェックします。
レート制限	DHCP パケットの入力レート制限を設定します。単位は pps です。0 は無制限を意味します。

[DHCP Snooping]統計

DHCP Snooping の統計を表示します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> DHCP Snooping >> 統計

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- ▼ セキュリティ
 - RADIUS
 - TACACS+
 - ▼ AAA
 - 管理アクセス
 - 設定管理
 - ポートセキュリティ
 - 保護ポート
 - ストームコントロール
 - ▼ DoS
 - ▼ ダイナミックARP-インスベクション
 - ▼ DHCP Snooping
 - プロバイ
 - 統計
 - Option82プロバイ
 - Option82リーネットID
 - ▼ IPソースガード
- アクセス制御設定

統計テーブル

	インデックス	ポート	転送	Chaddr確認 による結果	信頼できないポート による結果	信頼できないポートに Option82付与/パケット による結果	無効/パケット による結果
☐	1	GE1	0	0	0	0	0
☐	2	GE2	0	0	0	0	0
☐	3	GE3	0	0	0	0	0
☐	4	GE4	0	0	0	0	0
☐	5	GE5	0	0	0	0	0
☐	6	GE6	0	0	0	0	0
☐	7	GE7	0	0	0	0	0
☐	8	GE8	0	0	0	0	0
☐	9	GE9	0	0	0	0	0
☐	10	GE10	0	0	0	0	0
☐	11	GE11	0	0	0	0	0
☐	12	GE12	0	0	0	0	0
☐	13	GE13	0	0	0	0	0
☐	14	GE14	0	0	0	0	0
☐	15	GE15	0	0	0	0	0
☐	16	GE16	0	0	0	0	0
☐	17	GE17	0	0	0	0	0
☐	18	GE18	0	0	0	0	0
☐	19	LAG1	0	0	0	0	0
☐	20	LAG2	0	0	0	0	0
☐	21	LAG3	0	0	0	0	0
☐	22	LAG4	0	0	0	0	0
☐	23	LAG5	0	0	0	0	0
☐	24	LAG6	0	0	0	0	0
☐	25	LAG7	0	0	0	0	0
☐	26	LAG8	0	0	0	0	0

クリア リフレッシュ

リフレッシュ

表示内容を最新のものに更新します。

クリア

表示をクリアします。

【DHCP Snooping】Option82プロパティ

Option82 のプロパティを設定します。

リモートID ☐ ユーザー定義

動作ステータス

リモートID 38:97:a6:5c:04:16 (Macアドレスに引き継ぎます)

適用

ポート設定テーブル

☐	インデックス	ポート	状態	信頼できないポート許可
☐	1	GE1	無効	破棄
☐	2	GE2	無効	破棄
☐	3	GE3	無効	破棄
☐	4	GE4	無効	破棄
☐	5	GE5	無効	破棄
☐	6	GE6	無効	破棄
☐	7	GE7	無効	破棄
☐	8	GE8	無効	破棄
☐	9	GE9	無効	破棄
☐	10	GE10	無効	破棄
☐	11	GE11	無効	破棄
☐	12	GE12	無効	破棄
☐	13	GE13	無効	破棄
☐	14	GE14	無効	破棄
☐	15	GE15	無効	破棄
☐	16	GE16	無効	破棄
☐	17	GE17	無効	破棄
☐	18	GE18	無効	破棄
☐	19	LAG1	無効	破棄
☐	20	LAG2	無効	破棄
☐	21	LAG3	無効	破棄
☐	22	LAG4	無効	破棄
☐	23	LAG5	無効	破棄
☐	24	LAG6	無効	破棄
☐	25	LAG7	無効	破棄
☐	26	LAG8	無効	破棄

編集

選択したポートの設定をします。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P207「ポート設定編集」](#)

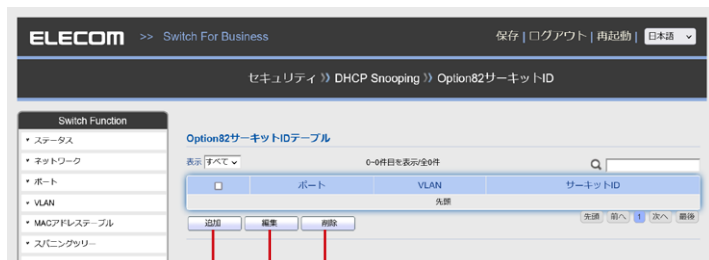
項目	内容
リモート ID	ユーザー定義のリモート ID を有効にします。初期値のリモート ID は本製品の MAC アドレスです。

ポート設定編集



項目	内容	
ポート	選択中のポートを表示します。	
状態	Option82 の有効／無効を設定します。	
信頼できないポート許可	信頼できないポートが DHCP パケットを受信したときに実行するアクションを選択します。 初期値は「破棄」です。	
	保持	元の Option82 を保持します。
	破棄	Option82 でパケットを破棄します。
	置換	スイッチ設定により Option82 の内容を置換します。

[DHCP Snooping] Option82 サーキットID



選択したサーキットIDを削除します。

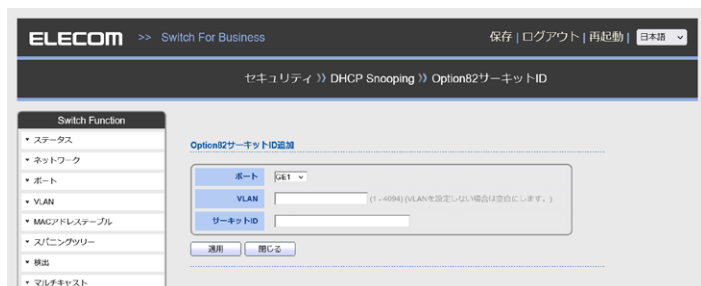
選択したサーキットIDを編集します。
「ポート」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P211 \[Option82 サーキットID追加\]](#)

サーキットIDを追加します。

→ [P211 \[Option82 サーキットID追加\]](#)

Option82 サーキットID追加



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
VLAN	追加する VLAN ID を入力します。
サーキット ID	登録するサーキット ID を入力します。

【IP ソースガード】ポート設定

IP ソースガードのポートを設定します。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スピンニングツリー
- 外出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- RADIUS
- TACACS+

セキュリティ >> IPソースガード >> ポート設定

ポート設定テーブル

インデックス	ポート	状態	送信元確認	現在のエントリー数	最大エントリー数
☐	1	GE1	無効	IP	0
☐	2	GE2	無効	IP	0
☐	3	GE3	無効	IP	0
☐	4	GE4	無効	IP	0
☐	5	GE5	無効	IP	0
☐	6	GE6	無効	IP	0
☐	7	GE7	無効	IP	0
☐	8	GE8	無効	IP	0
☐	9	GE9	無効	IP	0
☐	10	GE10	無効	IP	0
☐	11	GE11	無効	IP	0

検索

ポート設定

ポートセキュリティ

保護ポート

ストームコントロール

DoS

ダイナミックARPインスペクション

DHCP Snooping

IPソースガード

ポート設定

MIPv6バインディング

データ保存

選択中のポート設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P213「ポート設定編集」](#)

ポート設定編集



項目	内容	
ポート	選択中のポートを表示します。	
状態	IP ソースガードの機能を有効にします。初期値は無効です。	
送信元確認	IP ソース ガード送信モードを選択します。	
	IP	パケットの送信元 IP アドレスのみを検証します。
	IP-MAC	パケットの送信元 IP と送信元 MAC アドレスを確認します。
最大エントリー数	ポートを制限できるエントリーの最大数を入力します。 デフォルトはすべてのポートで無制限です。	

【IP ソースガード】IMPV バインディング

IP ソースガードの IMPV バインディングを設定します。



選択した IMPV バインディングを削除します。

選択した IMPV バインディングを編集します。

「ポート」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P215 「IP-MAC-ポート-VLANバインディング追加／編集」](#)

IMPV バインディングを追加します。

→ [P215 「IP-MAC-ポート-VLANバインディング追加／編集」](#)

IP-MAC- ポート-VLANバインディング追加／編集

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> IPSソースカード >> IMPV/バインディング

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ

IP-MAC-ポート-VLANバインディング追加

ポートGE1

VLAN11 - 4094

バインディング☒ IP-MAC-ポート-VLAN☐ IP-ポート-VLAN

MACアドレス

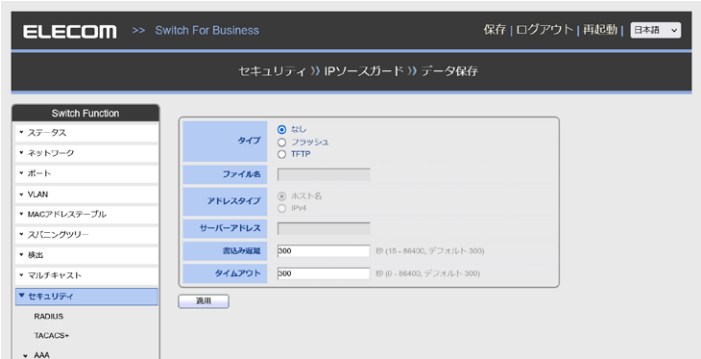
IPアドレス195.255.255.255

適用閉じる

項目	内容			
ポート	追加するポート ID をリストから選択します。			
VLAN	追加する VLAN を入力します。			
バインディング	バインディング エントリーのモードを選択します。			
	<table><tr><td>IP-MAC- ポート-VLAN</td><td>パケットは IP アドレス、MAC アドレス、ポート、および VLAN ID と一致する必要があります。</td></tr><tr><td>IP- ポート-VLAN</td><td>パケットは IP アドレスまたはサブネット、ポートおよび VLAN ID と一致する必要があります。</td></tr></table>	IP-MAC- ポート-VLAN	パケットは IP アドレス、MAC アドレス、ポート、および VLAN ID と一致する必要があります。	IP- ポート-VLAN
IP-MAC- ポート-VLAN	パケットは IP アドレス、MAC アドレス、ポート、および VLAN ID と一致する必要があります。			
IP- ポート-VLAN	パケットは IP アドレスまたはサブネット、ポートおよび VLAN ID と一致する必要があります。			
MAC アドレス	IP-MAC- ポート-VLAN モードを選択した場合、MAC アドレスを入力します。			
IP アドレス	IP-MAC- ポート モードを選択した場合、IP アドレスとサブネットマスクを入力します。			

215

[IP ソースガード] データ保存

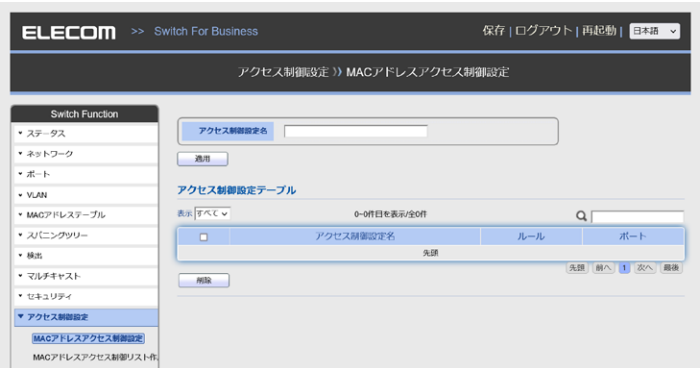


項目	内容						
タイプ	データベース エージェントのタイプを選択します。						
	<table><tr><td>なし</td><td>データベースエージェントサービスを無効にします。</td></tr><tr><td>フラッシュ</td><td>DHCP 動的バインディングエントリをフラッシュに保存します。</td></tr><tr><td>TFTP</td><td>DHCP 動的バインディングエントリをリモート TFTP サーバーに保存します。</td></tr></table>	なし	データベースエージェントサービスを無効にします。	フラッシュ	DHCP 動的バインディングエントリをフラッシュに保存します。	TFTP	DHCP 動的バインディングエントリをリモート TFTP サーバーに保存します。
	なし	データベースエージェントサービスを無効にします。					
	フラッシュ	DHCP 動的バインディングエントリをフラッシュに保存します。					
TFTP	DHCP 動的バインディングエントリをリモート TFTP サーバーに保存します。						
ファイル名	バックアップファイルのファイル名を入力します。タイプで「フラッシュ」および「TFTP」を選択した場合のみ利用可能です。						
アドレスタイプ	TFTP サーバーの種類を選択します。						
	<table><tr><td>ホスト名</td><td>TFTP サーバーのアドレスはホスト名です。</td></tr><tr><td>IPv4</td><td>TFTP サーバーのアドレスは IPv4 アドレスです。</td></tr></table>	ホスト名	TFTP サーバーのアドレスはホスト名です。	IPv4	TFTP サーバーのアドレスは IPv4 アドレスです。		
	ホスト名	TFTP サーバーのアドレスはホスト名です。					
IPv4	TFTP サーバーのアドレスは IPv4 アドレスです。						
サーバーアドレス	サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。タイプで「TFTP」を選択した場合のみ利用可能です。						
読み込み遅延	変更が発生した後にバックアップを実行します。初期値は 300 秒です。						
タイムアウト	バックアップに失敗した場合のタイムアウト時間です。初期値は 300 秒です。						

アクセス制御設定

MACアドレスアクセス制御設定

MAC アドレスでアクセスを制御します。



項目	内容
アクセス制御設定名	名称を入力し、「適用」をクリックすると、アクセス制御が追加されます。 (半角英数字、記号で 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブル クォーテーション) は使用不可)

MACアドレスアクセス制御リスト作成

アクセス制御を追加したり、編集することができます。

設定するアクセス制御を選択します。

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を編集します。
→ [P219「アクセス制御リスト追加」](#)

アクセス制御を追加します。
→ [P219「アクセス制御リスト追加」](#)

アクセス制御リスト追加

項目	内容						
アクセス制御設定名	アクセス制御設定名が表示されます。						
シーケンス	アクセス制御設定のシーケンスを指定します。より高いシーケンスを持つアクセス制御設定が最初に処理されます (1 が最高の優先順位)。						
アクション	アクセス制御設定の packets 後のアクションを選択します。 <table border="1"> <tr> <td>許可</td><td>アクセス制御設定の基準を満たす packets を許可します。</td></tr> <tr> <td>拒否</td><td>アクセス制御設定の基準を満たす packets を拒否します。</td></tr> <tr> <td>シャットダウン</td><td>アクセス制御設定の基準を満たす packets を拒否し、packets を受信したポートを無効にします。このような場合は、[ポート設定] ページから再アクティブ化できます。</td></tr> </table>	許可	アクセス制御設定の基準を満たす packets を許可します。	拒否	アクセス制御設定の基準を満たす packets を拒否します。	シャットダウン	アクセス制御設定の基準を満たす packets を拒否し、packets を受信したポートを無効にします。このような場合は、[ポート設定] ページから再アクティブ化できます。
許可	アクセス制御設定の基準を満たす packets を許可します。						
拒否	アクセス制御設定の基準を満たす packets を拒否します。						
シャットダウン	アクセス制御設定の基準を満たす packets を拒否し、packets を受信したポートを無効にします。このような場合は、[ポート設定] ページから再アクティブ化できます。						
送信元 MAC	送信元 MAC アドレスの種類を選択します。 <table border="1"> <tr> <td>任意</td><td>すべての送信元アドレスが受け入れられます。</td></tr> <tr> <td>ユーザー定義</td><td>ユーザーが定義した送信元アドレスまたは送信元アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する送信元 MAC アドレスとサブネットマスクを入力します。</td></tr> </table>	任意	すべての送信元アドレスが受け入れられます。	ユーザー定義	ユーザーが定義した送信元アドレスまたは送信元アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する送信元 MAC アドレスとサブネットマスクを入力します。		
任意	すべての送信元アドレスが受け入れられます。						
ユーザー定義	ユーザーが定義した送信元アドレスまたは送信元アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する送信元 MAC アドレスとサブネットマスクを入力します。						

項目	内容
宛先 MAC	宛先 MAC アドレスの種類を選択します。
	任意 すべての宛先アドレスが受け入れられます。
	ユーザー定義 ユーザーが定義した宛先アドレスまたは宛先アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する宛先 MAC アドレスとサブネットマスクを入力します。
イーサタイプ	イーサタイプの種類を選択します。
	任意 すべてのイーサネットフレームタイプを受け入れます。
	ユーザー定義 ユーザーが定義したイーサネットフレームタイプのみが受け入れられます。照合するイーサネットフレームタイプの値を入力します。
VLAN	VLAN ID の種類を選択します。
	任意 すべての VLAN ID が受け入れられます。
	ユーザー定義 ユーザーが定義したイーサネットフレームタイプのみが受け入れられます。照合するイーサネットフレームタイプの値を入力します。
802.1p	802.1p の種類を選択します。
	任意 すべての 802.1p 値が受け入れられます。
	ユーザー定義 ユーザーが定義した 802.1p 値または 802.1p 値の範囲のみが受け入れられます。照合する 802.1p 値とサブネットマスクを入力します。

IPv4 アドレスアクセス制御設定

IPv4 アドレスでアクセスを制御します。

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes the ELECOM logo, a breadcrumb trail '>> Switch For Business', and links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main title is 'アクセス制御設定 >> IPv4 アクセス制御設定'. On the left is a 'Switch Function' sidebar with a tree view containing: ステータス, ネットワーク, ポート, VLAN, MACアドレステーブル, スパニングツリー, 検出, マジックキャスト, セキュリティ, and アクセス制御設定 (which is highlighted). The main content area has a form for adding a new rule with a text input for 'アクセス制御設定名' and a '適用' (Apply) button. Below this is a section titled 'アクセス制御設定テーブル' with a '表示' (Display) dropdown set to 'すべて' and a count '0~0件目を表示/全0件'. The table has columns for 'アクセス制御設定名', 'ルール', and 'ポート'. It contains one entry with the name '先頭'. At the bottom of the table are navigation buttons: '削除' (Delete), '先頭' (First), '前へ' (Previous), '1' (Page 1), '次へ' (Next), and '最後' (Last).

項目	内容
アクセス制御設定名	名称を入力し、「適用」をクリックすると、アクセス制御が追加されます。 (半角英数字、記号で 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブル クォーテーション) は使用不可)

IPv4 アクセス制御リスト作成

アクセス制御を追加したり、編集することができます。

設定するアクセス制御を選択します。

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を編集します。
→ [P223 「アクセス制御リスト追加」](#)

アクセス制御を追加します。
→ [P223 「アクセス制御リスト追加」](#)

アクセス制御リスト追加

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

アクセス制御設定 >> IPv4アクセス制御リスト作成

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- ▼ アクセス制御設定**
 - MACアドレスアクセス制御設定
 - MACアドレスアクセス制御リスト作成
 - IPv4アクセス制御設定
 - IPv4アクセス制御リスト作成**
 - IPv6アクセス制御設定
 - IPv6アクセス制御リスト作成
 - アクセス制御設定バインディング
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

アクセス制御リスト追加

アクセス制御設定名 abcd

シーケンス (1 - 2147483647)

アクション ☒ 許可
☐ 拒否
☐ シヤットダウン

プロトコル ☒ 選択 ☐ 拒否
☐ 送信 (0 - 255)

送信元 IP / (アドレス/マスク)

☒ 任意

宛先 IP / (アドレス/マスク)

☒ 任意

サービス種類 ☐ DSCP (0 - 63)
☐ IP優先順位 (0 - 7)

☒ 任意

送信元ポート ☐ シングル (0 - 65535)
☐ 範囲 - / (0 - 65535)

☒ 任意

宛先ポート ☐ シングル (0 - 65535)
☐ 範囲 - / (0 - 65535)

TCPフラグ
Urg: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
Ack: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
Psh: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
Rst: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
Syn: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
Fin: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care

ICMP タイプ ☒ 選択 ☐ 拒否
☐ 送信 (0 - 255)

ICMP コード ☒ 任意
☐ 送信 (0 - 255)

項目	内容
アクセス制御設定名	アクセス制御設定名が表示されます。
シーケンス	アクセス制御設定のシーケンスを指定します。 より高いシーケンスを持つアクセス制御設定が最初に処理されます (1 が最も高いシーケンスです)。

項目	内容
アクション	アクセス制御設定のパケット後のアクションを選択します。
	許可 アクセス制御設定の基準を満たすパケットを許可します。
	拒否 アクセス制御設定の基準を満たすパケットを拒否します。
	シャットダウン アクセス制御設定の基準を満たすパケットを拒否し、パケットを受信したポートを無効にします。このような場合は、[ポート設定] ページから再アクティブ化できます。
プロトコル	プロトコルのタイプを選択します。
	任意 (IP) すべての IP プロトコルが受け入れられます。
	選択 ドロップダウン リストから次のプロトコルのいずれかを選択します。 ICMP / IPinIP / TCP / EGP / IGP / UDP / HMP / RDP / IPV6 / IPV6:ROUT / IPV6:FRAG / RSVP / IPV6:ICMP / OSPF / PIM / L2TP
	定義 プロトコル ID を入力します。
送信元 IP	送信元 IP アドレスの種類を選択します。
	任意 すべての送信元アドレスが受け入れられます。
	定義 ユーザーが定義した送信元アドレスまたは送信元アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する送信元 IP アドレスとサブネットマスクを入力します。
宛先 IP	宛先 IP アドレスの種類を選択します。
	任意 すべての宛先アドレスが受け入れられます。
	定義 ユーザーが定義した宛先アドレスまたは宛先アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する宛先 IP アドレスとサブネットマスクを入力します。
サービス種別	サービスのタイプを選択します。
	任意 すべての種類のサービスが受け入れられます。
	DSCP 照合する DiffServ コードポイント (DSCP) を入力します。
	IP 優先順位 一致する IP 優先順位を入力します。

項目	内容
送信元ポート	プロトコルのタイプを選択します。プロトコルが TCP または UDP の場合にのみ使用できます。
	任意 すべての送信元ポートが受け入れられます。
	シングル パケットが照合される単一の TCP/UDP 送信元ポートを入力します。
	範囲 パケットが一致する TCP/UDP 送信元ポートの範囲を選択します。
宛先ポート	プロトコルのタイプを選択します。プロトコルが TCP または UDP の場合にのみ使用できます。
	任意 すべての宛先ポートが受け入れられます。
	シングル パケットが照合される単一の TCP/UDP 宛先ポートを入力します。
	範囲 パケットが一致する TCP/UDP 宛先ポートの範囲を選択します。
TCP フラグ	パケットのフィルタリングに使用する 1 つ以上の TCP フラグを選択します。フィルタリングされたパケットは、許可または破棄されます。TCP フラグによってパケットをフィルタリングすると、パケット制御が向上し、ネットワークのセキュリティが向上します。プロトコルが TCP の場合にのみ使用できます。
ICMP タイプ	ICMP タイプを名前で選択するか、番号を入力します。プロトコルが ICMP の場合にのみ使用できます。
	任意 すべての ICMP タイプが受け入れられます。
	選択 ICMP タイプを名前で選択します。
	定義 ICMP タイプの番号を入力します。
ICMP コード	ICMP コードの種類を設定入力します。プロトコルが ICMP の場合にのみ使用できます。
	任意 すべてのコードが受け入れられます。
	ユーザー定義 照合する ICMP コードを入力します。

IPv6 アドレスアクセス制御設定

IPv6 アドレスでアクセスを制御します。

The screenshot shows the 'ELECOM >> Switch For Business' interface. The top navigation bar includes '保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語'. The main title is 'アクセス制御設定 >> IPv6 アクセス制御設定'. On the left, the 'Switch Function' menu is expanded to 'アクセス制御設定'. The main content area has a form for 'アクセス制御設定' with a text input for the name and an '適用' (Apply) button. Below the form is a table titled 'アクセス制御設定テーブル' with columns 'アクセス制御設定名', 'ルール', and 'ポート'. The table displays one entry with the name '先頭'. Navigation buttons like '先頭', '前へ', '1', '次へ', and '最後' are at the bottom of the table.

項目	内容
アクセス制御設定名	名称を入力し、「適用」をクリックすると、アクセス制御が追加されます。 (半角英数字、記号で 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブル クォーテーション) は使用不可)

IPv6 アクセス制御リスト作成

アクセス制御を追加したり、編集することができます。

設定するアクセス制御を選択します。

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を編集します。
→ [P228 「アクセス制御リスト追加」](#)

アクセス制御を追加します。
→ [P228 「アクセス制御リスト追加」](#)

アクセス制御リスト追加

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

アクセス制御設定 >> IPv6アクセス制御リスト作成

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定**
 - MACアドレスアクセス制御設定
 - MACアドレスアクセス制御リスト作成
 - IPv4アクセス制御設定
 - IPv4アクセス制御リスト作成
 - IPv6アクセス制御設定
 - IPv6アクセス制御リスト作成**
 - アクセス制御設定/バインディング
- QoS
- 診断
- 管理
- ループ防止

アクセス制御リスト追加

アクセス制御設定名 abcde

シーケンス (1 - 2147483647)

アクション ☒ 許可
☐ 拒否
☐ シヤットダウン

プロトコル ☒ 選択 [ICMP] ☐ 全ポート (0 - 255)

送信元 IP ☒ 任意
☐ 指定 [] (アドレス/プレフィックス (0 - 128))

宛先 IP ☒ 任意
☐ 指定 [] (アドレス/プレフィックス (0 - 128))

サービス種類 ☒ 任意
☐ DSCP [] (0 - 63)
☐ IP優先順位 [] (0 - 7)

送信元ポート ☒ 任意
☐ シングル [] (0 - 65535)
☐ 範囲 [] (0 - 65535)

宛先ポート ☒ 任意
☐ シングル [] (0 - 65535)
☐ 範囲 [] (0 - 65535)

TCPフラグ
 Udp: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
 Ack: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
 Psh: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
 Ret: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
 Syn: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care
 Fin: ☐ Set ☐ Unset ☒ Don't care

ICMP タイプ ☒ 任意
☐ 選択 [宛先到達不能] (0 - 255)

ICMP コード ☒ 任意
☐ 指定 [] (0 - 255)

適用 閉じる

項目	内容
アクセス制御設定名	アクセス制御設定名が表示されます。
シーケンス	アクセス制御設定のシーケンスを指定します。 より高いシーケンスを持つ アクセス制御設定が最初に処理されます (1 が最も高いシーケンスです)。

項目	内容
アクション	アクセス制御設定のパケット後のアクションを選択します。
	許可 アクセス制御設定の基準を満たすパケットを許可します。
	拒否 アクセス制御設定の 基準を満たすパケットを拒否します。
	シャットダウン アクセス制御設定の基準を満たすパケットを拒否し、パケットを受信したポートを無効にします。このような場合は、[ポート設定] ページから再アクティブ化できます。
プロトコル	プロトコルのタイプを選択します。
	任意 (IP) すべての IP プロトコルが受け入れられます。
	選択 ドロップダウン リストから次のプロトコルのいずれかを選択します。 ICMP / IPinIP / TCP / EGP / IGP / UDP / HMP / RDP / IPV6 / IPV6:ROUT / IPV6:FRAG / RSVP / IPV6:ICMP / OSPF / PIM / L2TP
	定義 プロトコル ID を入力します。
送信元 IP	送信元 IP アドレスの種類を選択します。
	任意 すべての送信元アドレスが受け入れられます。
	定義 ユーザーが定義した送信元アドレスまたは送信元アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する送信元 IP アドレスとサブネットマスクを入力します。
宛先 IP	宛先 IP アドレスの種類を選択します。
	任意 すべての宛先アドレスが受け入れられます。
	定義 ユーザーが定義した宛先アドレスまたは宛先アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する宛先 IP アドレスとサブネットマスクを入力します。
サービス種別	サービスのタイプを選択します。
	任意 すべての種類のサービスが受け入れられます。
	DSCP 照合する DiffServ コードポイント (DSCP) を入力します。
	IP 優先順位 一致する IP 優先順位を入力します。

項目	内容
送信元ポート	プロトコルのタイプを選択します。プロトコルが TCP または UDP の場合にのみ使用できます。
	任意 すべての送信元ポートが受け入れられます。
	シングル パケットが照合される単一の TCP/UDP 送信元ポートを入力します。
	範囲 パケットが一致する TCP/UDP 送信元ポートの範囲を選択します。
宛先ポート	プロトコルのタイプを選択します。プロトコルが TCP または UDP の場合にのみ使用できます。
	任意 すべての宛先ポートが受け入れられます。
	シングル パケットが照合される単一の TCP/UDP 宛先ポートを入力します。
	範囲 パケットが一致する TCP/UDP 宛先ポートの範囲を選択します。
TCP フラグ	パケットのフィルタリングに使用する 1 つ以上の TCP フラグを選択します。フィルタリングされたパケットは、許可または破棄されます。TCP フラグによってパケットをフィルタリングすると、パケット制御が向上し、ネットワークのセキュリティが向上します。プロトコルが TCP の場合にのみ使用できます。
ICMP タイプ	ICMP タイプを名前で選択するか、番号を入力します。プロトコルが ICMP の場合にのみ使用できます。
	任意 すべての ICMP タイプが受け入れられます。
	選択 ICMP タイプを名前で選択します。
	定義 ICMP タイプの番号を入力します。
ICMP コード	ICMP コードの種類を設定入力します。プロトコルが ICMP の場合にのみ使用できます。
	任意 すべてのコードが受け入れられます。
	ユーザー定義 照合する ICMP コードを入力します。

アクセス制御設定バインディング

アクセス制御バインディングを設定します。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
 - MACアドレスアクセス制御設定
 - MACアドレスアクセス制御リスト作成
 - IPv4アクセス制御設定
 - IPv4アクセス制御リスト作成
 - IPv6アクセス制御設定
 - IPv6アクセス制御リスト作成

アクセス制御設定バインディング

アクセス制御設定バインディングテーブル

インデックス	ポート	MACアドレスアクセス制御設定	IPv4アクセス制御設定	IPv6アクセス制御設定
☐	1 GE1			
☐	2 GE2			
☐	3 GE3			
☐	4 GE4			
☐	5 GE5			
☐	6 GE6			
☐	7 GE7			
☐	8 GE8			
☐	9 GE9			
☐	10 GE10			
☐	11 GE11			
☐	12 GE12			
☐	13 GE13			
☐	14 GE14			
☐	15 GE15			
☐	16 GE16			
☐	17 GE17			
☐	18 GE18			
☐	19 LAG1			
☐	20 LAG2			
☐	21 LAG3			
☐	22 LAG4			
☐	23 LAG5			
☐	24 LAG6			
☐	25 LAG7			
☐	26 LAG8			

バインド 解放する 編集

選択したアクセス制御設定バインディングを編集します。
→ [P232 「アクセス制御設定バインディング追加／編集」](#)

選択したポートに対して、アクセス制御設定バインディングを解放します。

選択したポートに対して、アクセス制御設定バインディングを追加します。
→ [P232 「アクセス制御設定バインディング追加／編集」](#)

アクセス制御設定バインディング追加／編集

項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
MAC アドレスアクセス制御設定	バインドする MAC アドレスのアクセス制御設定を選択します。
IPv4 アクセス制御設定	バインドする IPv4 のアクセス制御設定を選択します。
IPv6 アクセス制御設定	バインドする IPv6 のアクセス制御設定を選択します。

【一般】プロパティ

CoS や Trust モードなどを設定します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

QoS >> 一般 >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングテーブル
- 抽出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS**
 - 一般
 - プロパティ**
 - キュースケジューリング
 - CoSマッピング
 - DSCPマッピング
 - IP優先順位マッピング
- レート制限
- 診断
- 管理
- ループ防止

状態 ☐ 有効

信頼モード ☒ CoS ☐ DSCP ☐ CoS-DSCP ☐ IP優先順位

適用

ポート設定テーブル

Q []

□	インデックス	ポート	CoS	信頼	リマッキング		
					CoS	DSCP	IP優先順位
☐	1	GE1	0	有効	無効	無効	無効
☐	2	GE2	0	有効	無効	無効	無効
☐	3	GE3	0	有効	無効	無効	無効
☐	4	GE4	0	有効	無効	無効	無効
☐	5	GE5	0	有効	無効	無効	無効
☐	6	GE6	0	有効	無効	無効	無効
☐	7	GE7	0	有効	無効	無効	無効
☐	8	GE8	0	有効	無効	無効	無効
☐	9	GE9	0	有効	無効	無効	無効
☐	10	GE10	0	有効	無効	無効	無効
☐	11	GE11	0	有効	無効	無効	無効
☐	12	GE12	0	有効	無効	無効	無効
☐	13	GE13	0	有効	無効	無効	無効
☐	14	GE14	0	有効	無効	無効	無効
☐	15	GE15	0	有効	無効	無効	無効
☐	16	GE16	0	有効	無効	無効	無効
☐	17	GE17	0	有効	無効	無効	無効
☐	18	GE18	0	有効	無効	無効	無効
☐	19	LAG1	0	有効	無効	無効	無効
☐	20	LAG2	0	有効	無効	無効	無効
☐	21	LAG3	0	有効	無効	無効	無効
☐	22	LAG4	0	有効	無効	無効	無効
☐	23	LAG5	0	有効	無効	無効	無効
☐	24	LAG6	0	有効	無効	無効	無効
☐	25	LAG7	0	有効	無効	無効	無効
☐	26	LAG8	0	有効	無効	無効	無効

編集

選択中のポートのCoSとTrustモードを設定します。

→ [P234 「ポート設定編集」](#)

項目	内容
状態	QoS 機能の設定を行います。(初期値：無効)
信頼モード	信頼モードの設定を行います。(CoS / DSCP / CoS-DSCP / IP 優先順位)

ポート設定編集

項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
CoS	CoS (Class of Service) の優先度を設定します。 優先度の順位は「0」が一番低く、「7」が一番高いプライオリティとなります。 (0-7 初期値：7)
信頼	トラストの有効 / 無効を設定します。(初期値：有効)

■ リマーケティング

項目	内容
CoS	CoS リマーケティングを有効または無効にします。
DSCP	DSCP リマーケティングを有効または無効にします。
IP 優先順位	IP 優先順位 リマーケティングを有効または無効にします。

【一般】キュースケジューリング

キューのスケジューリングを設定します。

ELECOM >> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

QoS >> 一般 >> キュースケジューリング

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS**

キュースケジューリングテーブル

キュー	スケジューリング方式			
	Strict	WRR	ウェイト	WRR帯域幅(%)
1	☒	☐	1	
2	☒	☐	2	
3	☒	☐	3	
4	☒	☐	4	
5	☒	☐	5	
6	☒	☐	6	
7	☒	☐	7	
8	☒	☐	8	

適用

キュースケジューリングテーブル

項目	内容								
キュー	キューに割り当てた優先度や帯域幅にしたがってトラフィックを送信します。								
スケジューリング方式	<table> <tr> <td>Strict</td><td>優先度の高いキューから順に中継します。</td></tr> <tr> <td>WRR</td><td>キューごとに中継させる最小帯域をウェイトを用いて設定します。</td></tr> <tr> <td>ウェイト</td><td>WRR にチェックを入れるとウェイトを変更できます。選択された WRR の数に対して合計が 100%になるように設定します。</td></tr> <tr> <td>WRR 帯域幅 (%)</td><td>設定された WRR のウェイトをパーセンテージで表示します。</td></tr> </table>	Strict	優先度の高いキューから順に中継します。	WRR	キューごとに中継させる最小帯域をウェイトを用いて設定します。	ウェイト	WRR にチェックを入れるとウェイトを変更できます。選択された WRR の数に対して合計が 100%になるように設定します。	WRR 帯域幅 (%)	設定された WRR のウェイトをパーセンテージで表示します。
Strict	優先度の高いキューから順に中継します。								
WRR	キューごとに中継させる最小帯域をウェイトを用いて設定します。								
ウェイト	WRR にチェックを入れるとウェイトを変更できます。選択された WRR の数に対して合計が 100%になるように設定します。								
WRR 帯域幅 (%)	設定された WRR のウェイトをパーセンテージで表示します。								

【一般】CoS マッピング

キューの CoS のマッピングテーブルを設定します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

QoS >> 一般 >> CoSマッピング

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋渡し
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS**
 - 一般
 - プロバティ
 - キュースケジューリング
 - CoSマッピング**
 - DSCPマッピング
 - IP優先順位マッピング
- レート制限
- 診断

CoSマッピング

CoS	キュー
0	0 ▼
1	1 ▼
2	2 ▼
3	3 ▼
4	4 ▼
5	5 ▼
6	6 ▼
7	7 ▼

適用

キューマッピング

キュー	CoS
1	1 ▼
2	2 ▼
3	3 ▼
4	4 ▼
5	5 ▼
6	6 ▼
7	7 ▼
8	7 ▼

適用

項目	内容
CoS	CoS マッピングでは、CoS に対してキューを設定します。
キュー	キューマッピングでは、キューに対して CoS を設定します。 キューまたは CoS は、0 ～ 7 のいずれかで設定します。

【一般】DSCP マッピング

DSCP のマッピングテーブルを設定します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

QoS >> 一般 >> DSCPマッピング

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋渡し
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
 - 一般
 - プロバディ
 - キュースケジューリング
 - CoSマッピング
 - DSCPマッピング**
 - IP優先順位マッピング
- レート制限
- 診断
- 管理
- ループ防止

DSCPマッピング

DSCP	キュー	DSCP	キュー	DSCP	キュー	DSCP	キュー
0 [CS0]	1	16 [CS2]	3	32 [CS4]	5	48 [CS6]	7
1	1	17	3	33	5	49	7
2	1	18 [AF21]	3	34 [AF41]	5	50	7
3	1	19	3	35	5	51	7
4	1	20 [AF22]	3	36 [AF42]	5	52	7
5	1	21	3	37	5	53	7
6	1	22 [AF23]	3	38 [AF43]	5	54	7
7	1	23	3	39	5	55	7
8 [CS1]	2	24 [CS3]	4	40 [CS5]	6	56 [CS7]	8
9	2	25	4	41	6	57	8
10 [AF11]	2	26 [AF31]	4	42	6	58	8
11	2	27	4	43	6	59	8
12 [AF12]	2	28 [AF32]	4	44	6	60	8
13	2	29	4	45	6	61	8
14 [AF13]	2	30 [AF33]	4	46 [AF]	6	62	8
15	2	31	4	47	6	63	8

適用

キューマッピング

キュー	DSCP
1	0 [CS0]
2	8 [CS1]
3	16 [CS2]
4	24 [CS3]
5	32 [CS4]
6	40 [CS5]
7	48 [CS6]
8	56 [CS7]

適用

DSCP マッピング

項目	内容
DSCP	DSCP マッピングでは、各 DSCP に対してキューを設定します。
キュー	キューは各 DSCP に対して 0 ～ 7 のいずれかで設定します。 キューマッピングでは、各キューに対して DSCP を設定します。

【一般】IP 優先順位マッピング

IP 優先順位のマッピングテーブルを設定します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

QoS >> 一般 >> IP優先順位マッピング

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋渡し
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS**
 - 一般
 - プロバティ
 - キュースケジューリング
 - CoSマッピング
 - DSCPマッピング
 - IP優先順位マッピング**
- レート制限
- 診断
- 管理

IP優先順位マッピング

IP優先順位	キュー
0	0 ▼
1	1 ▼
2	2 ▼
3	3 ▼
4	4 ▼
5	5 ▼
6	6 ▼
7	7 ▼

キューマッピング

キュー	IP優先順位
1	0 ▼
2	1 ▼
3	2 ▼
4	3 ▼
5	4 ▼
6	5 ▼
7	6 ▼
8	7 ▼

項目	内容
IP 優先順位マッピング	IP 優先順位マッピングでは、IP 優先順位に対してキューを設定します。
キュー	キューマッピングでは、キューに対して IP 優先順位を設定します。 キューまたは IP 優先順位は、0 ～ 7 のいずれかで設定します。

【レート制限】入出力ポート

入力／出力ポートにレート制限を設定します。

The screenshot shows the ELECOM web interface for QoS configuration. The breadcrumb trail is 'QoS >> レート制限 >> 入出力ポート'. The left sidebar lists various switch functions, with 'QoS' expanded to show 'レート制限' (Rate Limiting) and '入出力ポート' (Input/Output Port). The main area displays the '入出力ポートテーブル' (Input/Output Port Table) with a search bar and a table of 18 ports.

	インデックス	ポート	入力		出力	
			状態	レート (Kbps)	状態	レート (Kbps)
☐	1	GE1	無効		無効	
☐	2	GE2	無効		無効	
☐	3	GE3	無効		無効	
☐	4	GE4	無効		無効	
☐	5	GE5	無効		無効	
☐	6	GE6	無効		無効	
☐	7	GE7	無効		無効	
☐	8	GE8	無効		無効	
☐	9	GE9	無効		無効	
☐	10	GE10	無効		無効	
☐	11	GE11	無効		無効	
☐	12	GE12	無効		無効	
☐	13	GE13	無効		無効	
☐	14	GE14	無効		無効	
☐	15	GE15	無効		無効	
☐	16	GE16	無効		無効	
☐	17	GE17	無効		無効	
☐	18	GE18	無効		無効	

At the bottom of the table is a '編集' (Edit) button. A red line connects this button to the explanatory text below.

選択中のポートのレート制限を設定します。
→ [P240「入力／出力ポート編集」](#)

入力/出力ポート編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', '>> Switch For Business', and buttons for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main title is 'QoS >> レート制限 >> 入力/出力ポート'.

On the left, the 'Switch Function' menu is expanded, showing options like 'ステータス', 'ネットワーク', 'ポート', 'VLAN', 'MACアドレステーブル', 'スパンニングツリー', '橋出', 'マルチキャスト', 'セキュリティ', and 'アクセス制御設定'. The 'QoS' option is selected at the bottom.

The main content area is titled '入力/出力ポートの編集' (Edit Input/Output Port). It displays settings for port 'GE18'. There are two sections: '入力' (Input) and '出力' (Output). Each section has a checkbox for '有効' (Enabled) and a text input field for the rate in Kbps. The input field for both is currently set to '1000000'. Below the input fields are '適用' (Apply) and '閉じる' (Close) buttons.

項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
入力	入力レートの設定を行います。(初期値: 無効) 有効時: 16-10000000、初期値: 10000000 Kbps)
出力	出力レートの設定を行います。(初期値: 無効) 有効時: 16-10000000、初期値: 10000000 Kbps)

【レート制限】出力キュー

出力キューに対してレート制限を設定します。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS**
 - 一般
 - プロバティ
 - キュースケジューリング
 - CoSマッピング
 - DSCPマッピング
 - IP優先順位マッピング

QoS >> レート制限 >> 出力キュー

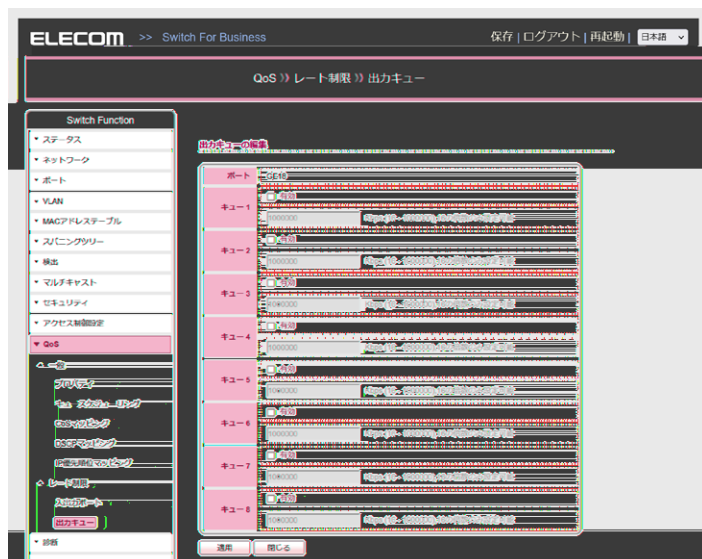
出力キューテーブル

インデックス	ポート	キュー 1		キュー 2		キュー 3	
		状態	設定情報レート (Kbps)	状態	設定情報レート (Kbps)	状態	設定情報レート (Kbps)
☐	1	GE1	無効		無効		無効
☐	2	GE2	無効		無効		無効
☐	3	GE3	無効		無効		無効
☐	4	GE4	無効		無効		無効
☐	5	GE5	無効		無効		無効
☐	6	GE6	無効		無効		無効
☐	7	GE7	無効		無効		無効
☐	8	GE8	無効		無効		無効
☐	9	GE9	無効		無効		無効
☐	10	GE10	無効		無効		無効
☐	11	GE11	無効		無効		無効
☐	12	GE12	無効		無効		無効
☐	13	GE13	無効		無効		無効
☐	14	GE14	無効		無効		無効
☐	15	GE15	無効		無効		無効
☐	16	GE16	無効		無効		無効
☐	17	GE17	無効		無効		無効

レート制限
入力ポート

選択中の出力キューの設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入ると全選択になります。
→ [P242「出力キューの編集」](#)

出力キューの編集



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
キュー 1 ～ 9	入力レートの設定を行います。(初期値: 無効) 有効時: 16-10000000、初期値: 10000000 Kbps)

【ログ】プロパティ

有効にするログを設定します。

項目	内容
状態	ログ取得の設定を行います。「ステータス」の「ログメッセージ」でログを確認する場合は有効にチェックを入れます。(初期値：無効)

■ RAMログ／Flashログ

項目	内容																		
状態	RAM ログまたはFlash ログの状態を設定します。 (初期値：RAM ログは有効、Flash ログは無効)																		
Minimum Severity	<table border="1"> <tr> <td>ログ名</td><td>表示されるログの種類</td></tr> <tr> <td>緊急</td><td>Note / 緊急</td></tr> <tr> <td>アラート</td><td>Note / 緊急 / アラート</td></tr> <tr> <td>クリティカル</td><td>Note / 緊急 / アラート / クリティカル</td></tr> <tr> <td>エラー</td><td>Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー</td></tr> <tr> <td>警告</td><td>Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告</td></tr> <tr> <td>通知 (初期値)</td><td>Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知</td></tr> <tr> <td>情報</td><td>Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知 / 情報</td></tr> <tr> <td>デバッグ</td><td>Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知 / 情報 / デバッグ</td></tr> </table>	ログ名	表示されるログの種類	緊急	Note / 緊急	アラート	Note / 緊急 / アラート	クリティカル	Note / 緊急 / アラート / クリティカル	エラー	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー	警告	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告	通知 (初期値)	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知	情報	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知 / 情報	デバッグ	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知 / 情報 / デバッグ
ログ名	表示されるログの種類																		
緊急	Note / 緊急																		
アラート	Note / 緊急 / アラート																		
クリティカル	Note / 緊急 / アラート / クリティカル																		
エラー	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー																		
警告	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告																		
通知 (初期値)	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知																		
情報	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知 / 情報																		
デバッグ	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知 / 情報 / デバッグ																		

【ログ】Syslog サーバー

ログを送信する Syslog サーバーを設定します。

The screenshot shows the 'Syslogサーバーテーブル' (Syslog Server Table) configuration page. The table has the following columns: **インデックス** (Index), **サーバーアドレス** (Server Address), **サーバーポート** (Server Port), **Facility**, and **Minimum Severity**. Below the table are three buttons: **追加** (Add), **編集** (Edit), and **削除** (Delete). Red lines connect these buttons to the following text:

- 削除** button: 選択した Syslog サーバーを削除します。(Delete the selected Syslog server.)
- 編集** button: 選択した Syslog サーバーを編集します。
→ [P245 「Syslogサーバー追加／編集」](#)
- 追加** button: Syslog サーバーを追加します。
→ [P245 「Syslogサーバー追加／編集」](#)

Syslog サーバー追加／編集

項目	内容	
アドレスタイプ	Syslog サーバーのアドレスタイプを設定します。(ホスト名 / IPv4)	
サーバーアドレス	Syslog サーバーのアドレスを入力します。	
サーバーポート	Syslog サーバーのポートを入力します。(1-65535 初期値:514)	
Facility	ローカル 0 ～ 7 のいずれかでファシリティを設定します。	
Minimum Severit	通知するログの内容をリストから選択します。	
	ログ名	表示されるログの種類
	緊急	Note / 緊急
	アラート	Note / 緊急 / アラート
	クリティカル	Note / 緊急 / アラート / クリティカル
	エラー	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー
	警告	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告
	通知 (初期値)	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知
	情報	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知 / 情報
デバッグ	Note / 緊急 / アラート / クリティカル / エラー / 警告 / 通知 / 情報 / デバッグ	

ミラーリング

ポートミラーリングの設定を行います。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- ▼ 詳細
- ログ
 - ミラーリング**
 - Ping

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

診断 >> ミラーリング

ミラーリングテーブル

	セッションID	状態	モニターポート	入力ポート	出力ポート
☐	1	起動	---	---	---
☐	2	起動	---	---	---
☐	3	起動	---	---	---
☐	4	起動	---	---	---

編集

---モニターポートは通常のパケットを送信または受信することを許可します

選択したセッションのミラーリング設定をします。
→ [P247「ミラーリング編集」](#)

ミラーリング編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

診断 >> ミラーリング

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- サブインターフェース
- 橋渡し
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
 - ミラーリング**
 - Ping
 - Traceroute
 - クエリテスト
 - ファイバーモジュール
 - 単一方向リンク検出
- 管理

ミラーリングの編集

セッションID 4

状態 ☐ 有効

モニターポート GE1 ▼

☐ 通常のパケットを送受信する

入力ポート

利用可能ポート GE1 GE2 GE3 GE4 GE5 GE6 GE7 GE8

選択済のポート

出力ポート

利用可能ポート GE1 GE2 GE3 GE4 GE5 GE6 GE7 GE8

選択済のポート

適用 閉じる

項目	内容
セッション ID	選択されたセッション ID を表示します。
状態	ミラーリングの設定を行います。(初期値：無効)
モニターポート	モニターポートを設定します。通常パケットのモニターを行う場合は「通常パケットを送信または受信」にチェックを入れます。
入力ポート	入力ポートを利用可能ポートから選択します。
出力ポート	出力ポートを利用可能ポートから選択します。

Ping

Ping を指定したアドレスへ送信します。

The screenshot shows the 'Ping' configuration page in the ELECOM Switch For Business web interface. The left sidebar contains a 'Switch Function' menu with options like 'ステータス', 'ネットワーク', 'ポート', 'VLAN', 'MAGアドレステーブル', 'スパンニングツリー', '移出', 'マルチキャスト', 'セキュリティ', 'アクセス制御設定', 'QoS', '診断' (selected), 'ログ', 'ミラーリング', 'Ping' (selected), 'Traceroute', 'ケーブルテスト', 'ファイバーモジュール', and '単一方向リンク検出'. The main content area has a header 'ELECOM >> Switch For Business' and a sub-header '診断 >> Ping'. The 'Ping' configuration section includes 'アドレスタイプ' (Address Type) with radio buttons for 'ホスト名' (selected), 'IPv4', and 'IPv6'; 'サーバーアドレス' (Server Address) with a text input field; and '回数' (Count) with a checkbox for 'ユーザー定義' (User Defined) and a numeric input field. Below these are 'Ping' and '停止' (Stop) buttons. A red line points from the 'Ping' button to the text 'Pingを送信します。' (Send Ping). Another red line points from the '停止' button to the text 'Ping送信を停止します。' (Stop Ping transmission). The 'Ping結果' (Ping Result) section shows 'パケットステータス' (Packet Status) with a table of '送信パケット' (Transmitted Packets), '受信パケット' (Received Packets), and 'パケットロス' (Packet Loss), all showing 0. Below this is 'ラウンドトリップタイム' (Round Trip Time) with a table showing '最小' (Minimum), '最大' (Maximum), and '平均' (Average) times, all showing 0.0 ms.

項目	内容
アドレスタイプ	Ping 送信のアドレスタイプを選択します。(ホスト名／IPv4)
サーバーアドレス	Ping を送信するサーバーのアドレスを入力します。
回数	Ping 回数を設定します。回数を設定する場合は「ユーザー定義」にチェックを入れて回数を指定します。(1-65535 初期値：4)

Ping 結果

Ping 結果を表示します。

Traceroute

指定したアドレスまでのルートをトレースして表示します。

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business interface. The left sidebar lists various functions, with '診断' (Diagnosis) selected. The main area is titled '診断 >> Traceroute'. It contains a configuration box with the following fields:

- アドレスタイプ** (Address Type): Radio buttons for 'ホスト名' (Host Name) and 'IPv4'. 'ホスト名' is selected.
- サーバアドレス** (Server Address): A text input field.
- TTL**: A text input field with a value of '30' and a note '(2-255, デフォルト: 30)'.
- ユーザ定義** (User Defined): A checkbox.
- 実行** (Execute) and **停止** (Stop) buttons.

Below the configuration box is a section titled 'Traceroute結果' (Traceroute Result) with a large empty box for the results. A red line points from the '実行' button to the 'Trace Route' text in the instructions on the right.

Trace Routeを
停止します。

Trace Routeを
実行します。

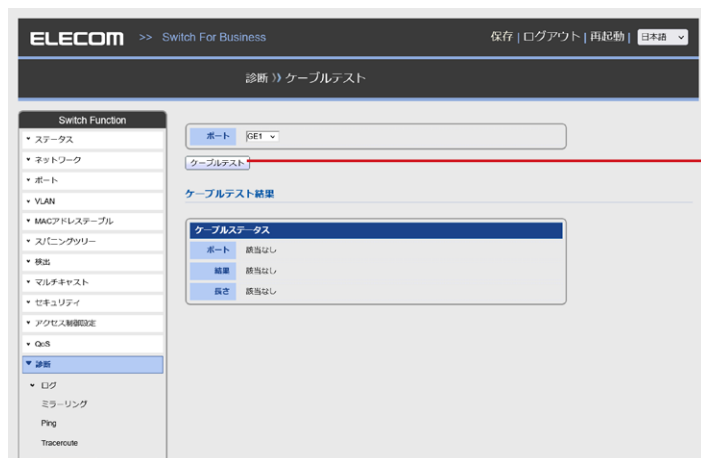
項目	内容
アドレスタイプ	トレースルートのアドレスタイプを選択します。(ホスト名／IPv4)
サーバアドレス	トレースルートを送信するサーバーのアドレスを入力します。
TTL	トレースルートの有効期限を設定します。有効期限を設定する場合は「ユーザー定義」にチェックを入れて回数を指定します。(2-255 初期値: 30)

Traceroute 結果

tracerouteの実行結果を表示します。

ケーブルテスト

ポートごとに導通テストを行います。



導通テストを実行
します。

項目	内容
ポート	導通テストをするポートを選択します。

ケーブルテスト結果

導通テストの結果を表示します。

ファイバーモジュール

ファイバーモジュールの状態を表示します。

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋接
- マルチキャスト

ファイバーモジュールテーブル

ポート	温度 (°C)	電圧 (V)	電流 (mA)	出力電力 (mW)	入力電力 (mW)	OE Present	伝失
☐ GE17	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	検出	検出
☐ GE18	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	検出	検出

リフレッシュ

リフレッシュ

表示内容を最新のものに更新します。

【単一方向リンク検出】プロパティ

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

診断 >> 単一方向リンク検出 >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
 - ログ
 - ミラーリング
 - Pfing
 - Traceroute
 - クープテスト
 - ファイバモジュール
 - 単一方向リンク検出
 - プロパティ**
 - ネイバー

メッセージ送信回数 15 (1~90, デフォルト: 15)

適用

ポート設定テーブル

	インデックス	ポート	モード	双方向状態	動作ステータス	ネイバー
☐	1	GE1	無効	不明		0
☐	2	GE2	無効	不明		0
☐	3	GE3	無効	不明		0
☐	4	GE4	無効	不明		0
☐	5	GE5	無効	不明		0
☐	6	GE6	無効	不明		0
☐	7	GE7	無効	不明		0
☐	8	GE8	無効	不明		0
☐	9	GE9	無効	不明		0
☐	10	GE10	無効	不明		0
☐	11	GE11	無効	不明		0
☐	12	GE12	無効	不明		0
☐	13	GE13	無効	不明		0
☐	14	GE14	無効	不明		0
☐	15	GE15	無効	不明		0
☐	16	GE16	無効	不明		0
☐	17	GE17	無効	不明		0
☐	18	GE18	無効	不明		0

編集

選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P252「ポート設定編集」](#)

ポート設定編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

診断 >> 単一方向リンク検出 >> プロパティ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
 - ログ
 - ミラーリング
 - Pfing
 - Traceroute
 - クープテスト
 - ファイバモジュール
 - 単一方向リンク検出
 - プロパティ
 - ポート設定編集**

ポート GE18

モード

☒ 無効
☐ ノーマル
☐ アクレッション

適用 閉じる

項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
モード	モードを選択します。

【単一方向リンク検出】ネイバー

ネイバーの情報を表示します。

The screenshot displays the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes the ELECOM logo, a breadcrumb trail ">> Switch For Business", and links for "保存" (Save), "ログアウト" (Logout), "再起動" (Restart), and a language dropdown set to "日本語". Below this, a secondary breadcrumb trail reads "診断 >> 単一方向リンク検出 >> ネイバー".

The left sidebar, titled "Switch Function", lists various configuration categories: ステータス (Status), ネットワーク (Network), ボート (Port), VLAN, MAGアドレステーブル (MAG Address Table), スパニングツリー (Spanning Tree), 橋渡し (Bridge), マルチキャスト (Multicast), セキュリティ (Security), アクセス制御設定 (Access Control Settings), QoS, **診断** (Diagnosis), ログ (Log), ミラーリング (Mirroring), Ping, Traceroute, ケープルテスト (Cable Test), ファイバーモジュール (Fiber Module), and ループ防止 (Loop Prevention). The "診断" category is expanded, showing sub-items: 単一方向リンク検出 (Single Direction Link Detection) and フロッドディ (Flood) with a "ネイバー" (Neighbor) link.

The main content area is titled "ネイバーテーブル" (Neighbor Table) and features a search bar with a magnifying glass icon. Below the search bar is a table with the following columns: インデックス (Index), 有効期限 (Valid Period), 現在のネイバー状態 (Current Neighbor Status), デバイスID (Device ID), デバイス名 (Device Name), ポートID (Port ID), メッセージ (Message), and タイムアウト (Timeout). The table body is currently empty, with a "先頭" (First) link centered below the headers. A "リフレッシュ" (Refresh) button is located at the bottom left of the table area.

ユーザーアカウント

ユーザーの追加／編集を行います。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

管理 >> ユーザーアカウント

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理

ユーザーアカウント

ユーザー名

権限

☐		
☐	admin	管理者
☐	user	ユーザー

追加

編集

削除

選択したユーザーアカウントを編集します。
→P255「ユーザーアカウント追加／編集」

ユーザーアカウントを追加します。
→P255「ユーザーアカウント追加／編集」

ユーザーアカウント

項目	内容
ユーザー名	登録済みのユーザー名が表示されます。 管理者として admin がデフォルトで登録されています。
権限	ユーザーの権限が表示されます。 (「管理者」または「ユーザー」)

254

ユーザーアカウント追加／編集

項目	内容	
ユーザー名	登録するユーザー名を設定します。 (半角英数字で 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)	
パスワード	パスワードを設定します。 (半角英数字、記号で 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)	
パスワード確認	確認のため、「パスワード」欄に入力したパスワードと同じものを入力します。	
権限	ユーザーの権限を設定します。	
	管理者	すべての設定、保存、編集、削除、再起動が可能です。
	ユーザー	ステータスの閲覧、再起動のみ可能です。 (P64 [ユーザー権限での表示画面])

アドミリンク

アドミリンク機能の設定を行います。(本機能をご利用になる場合は、本体FW Ver.2.0.4以上にアップデートを行ってください)

MEMO

アドミリンク機能を利用する場合、本体の日時設定にSNTPサーバーを使用してください。
(→ [75ページ](#))

■ 基本設定

The screenshot shows the 'AdminLink Basic Settings' page in the ELECOM Switch For Business web interface. The sidebar on the left includes 'Switch Function' and 'Management'. The main content area has a section for 'AdminLink Function' with radio buttons for '有効' (Active) and '無効' (Inactive). Below this is the 'Device Registration Code Issuance' section with a 'コピー' (Copy) button. A note explains that the device registration code is required for using the AdminLink service.

項目	内容
アドミリンク 基本設定	アドミリンク機能 アドミリンク機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：無効)
	登録状態 アドミリンクサービスへの製品登録状態が表示されます。
デバイス登録 コードの発行	「デバイス登録コードの発行」ボタンをクリックするとデバイス登録コードが発行されます。 「コピー」ボタンをクリックし、表示されたデバイス登録コードをコピーして、アドミリンクサーバーの管理グループに登録を行います。 (デバイスの登録方法はアドミリンク ユーザーズマニュアルを参照してください)

※ アドミリンクの詳細やユーザーズマニュアルについては下記URLからご確認いただけます。

<https://www.elecom.co.jp/r/s349>

■ 詳細設定

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

管理 >> アドミリンク >> 詳細設定

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
 - ユーザアカウント
 - アドミリンク
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - ファームウェア

アドミリンク接続用プロキシ設定

プロキシサーバー

☐ 使用する
☒ 使用しない

アドレス

ポート

ユーザー名

パスワード

遠隔操作設定

遠隔操作許可

☐ 有効
☒ 無効

設定ファイルアップロード許可

☐ 有効
☒ 無効

ログファイルアップロード許可

☐ 有効
☒ 無効

接続クライアントファイルアップロード許可

☐ 有効
☒ 無効

接続クライアントファイル自動アップロード期間

0分0秒 ▼

適用

項目	内容	
アドミリンク接続用プロキシ設定	プロキシサーバー	アドミリンクサービスへの接続にプロキシサーバーを使用するか設定します。 プロキシ経由でアドミリンクサービスへ接続する必要がある場合、「使用する」を選択してください。 (初期値：使用しない)
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。
	ポート	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
	ユーザー名	必要の場合、ユーザー名を入力します。
	パスワード	必要の場合、パスワードを入力します。

257

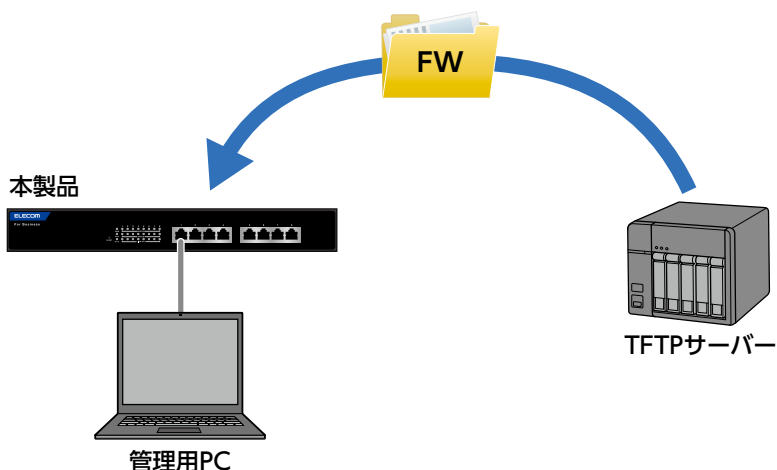
項目	内容	
遠隔操作設定	遠隔操作許可	アドミリンクサーバーから遠隔操作を許可するか設定します。(初期値：無効)
	設定ファイルアップロード許可	設定ファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	ログファイルアップロード許可	ログファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	接続クライアントファイルアップロード許可	持続クライアントファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	接続クライアントファイル自動アップロード間隔	接続クライアントファイルを自動的にアップロードする間隔を設定します。 (設定範囲：1 時間 / 3 時間 / 6 時間 / なし) (初期値：6 時間)

【ファームウェア】アップグレード

ファームウェアをアップグレードします。

■ 「更新方法」 に「TFTP」を選択した場合

TFTP サーバーに保存したファームウェアファイルをアドレスを指定してアップデートします。



ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

管理 >> ファームウェア >> アップグレード

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定

更新方法 ☒ TFTP ☐ HTTP

アドレスタイプ ☒ ホスト名 ☐ IPアドレス

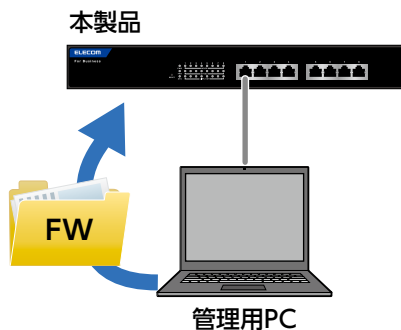
サーバーアドレス

ファイル名

項目	内容
更新方法	ファームウェアの転送方法を選択します。
アドレスタイプ	アドレスの指定方法を選択します。
サーバーアドレス	TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
ファイル名	ファームウェアファイルの名称を入力します。

■ 「更新方法」 に「HTTP」 を選択した場合

管理用 PC に保存したファームウェアファイルを指定してアップデートします。



ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

管理 >> ファームウェア >> アップグレード

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理**
 - ユーザアカウント
 - ファームウェア
 - [ファームウェアアップグレード](#)
 - 設定

更新方法
☐ TFTP
☒ HTTP

ファイル名
参照...
ファイルが選択されていません。

適用

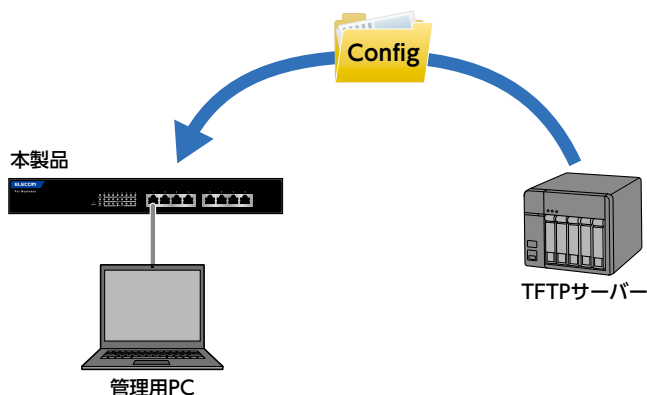
項目	内容
更新方法	ファームウェアの転送方法を選択します。
ファイル名	ファームウェアファイルを選択します。

【設定】復元 / バックアップ

保存した Config ファイルで設定を復元します。

■ 復元で「更新方法」に「TFTP」を選択した場合

TFTP サーバーに保存した Config ファイルをアドレスを指定して復元します。



ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

管理 >> 設定 >> 復元 / バックアップ

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断

アクション

☒ 復元
☐ バックアップ

更新方法

☒ TFTP
☐ WFTP

設定

☒ 実行設定
☐ スタートアップ設定
☐ バックアップ設定
☐ RAMログ
☐ フラッシュログ

アドレスタイプ

☒ ホスト名
☐ IP
☐ 不明

サーバーアドレス

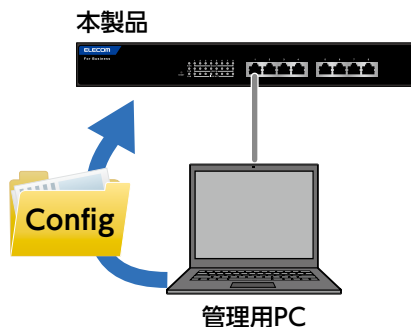
ファイル名

適用

項目	内容
アクション	復元を選択します。
更新方法	TFTP を選択します。
設定	「スタートアップ設定」のみ選択可能です。
アドレスタイプ	アドレスの指定方法を選択します。(ホスト名 / ipv4)
サーバーアドレス	TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
ファイル名	復元用ファイルの名称を入力します。

■ 復元で「更新方法」に「HTTP」を選択した場合

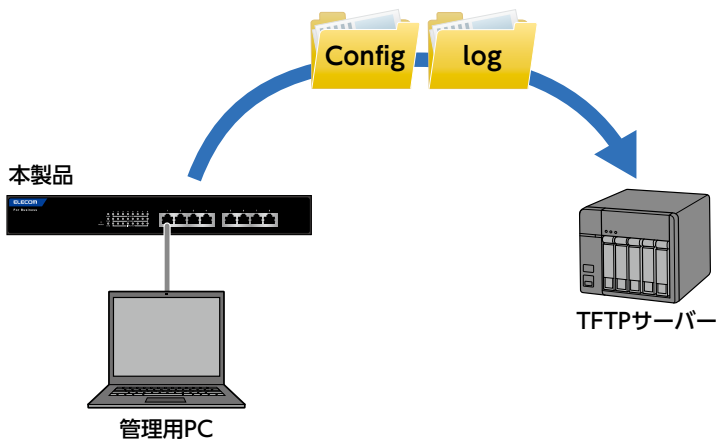
管理用 PC に保存した Config ファイルを指定して設定を復元します。



項目	内容
アクション	復元を選択します。
更新方法	HTTP を選択します。
設定	「スタートアップ設定」のみ選択可能です。
ファイル名	「選択ファイル」をクリックして、バックアップで保存した復元用の config ファイルを選択します。

■ バックアップで「更新方法」に「TFTP」を選択した場合

指定した TFTP サーバーに Config ファイルまたは、log ファイルを保存します。



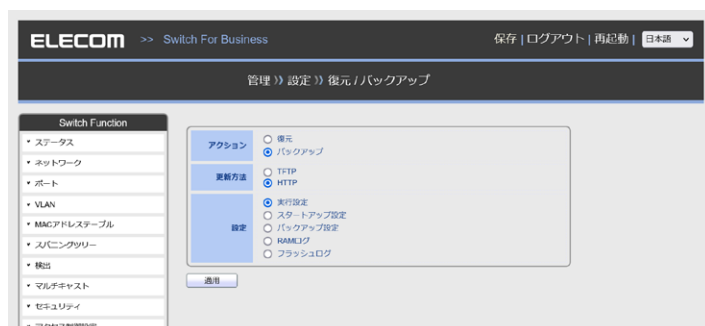
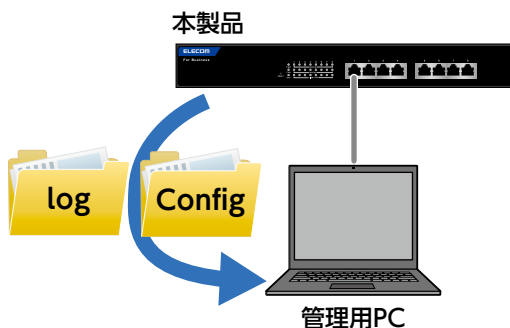
The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The '管理' (Management) menu is selected, and the '設定' (Settings) page is shown. The 'バックアップ' (Backup) section is active, showing options for 'アクション' (Action) and '更新方法' (Update Method). The '更新方法' (Update Method) is set to 'TFTP'. The '設定' (Settings) section shows options for '実行設定' (Execution Settings), 'スタートアップ設定' (Startup Settings), 'バックアップ設定' (Backup Settings), 'RAMEログ' (RAME Log), and 'フラッシュログ' (Flash Log). The 'アドレスタイプ' (Address Type) is set to 'ホスト名' (Host Name). The 'サーバーアドレス' (Server Address) and 'ファイル名' (File Name) fields are empty.

項目	内容
アクション	バックアップを選択します。
更新方法	TFTP を選択します。

項目	内容	
設定	実行設定	実行設定ファイルをバックアップします。
	スタートアップ設定	「適用」をクリックすると指定した保存先に config 形式のファイルを保存します。
	バックアップ設定	バックアップ設定ファイルをバックアップします。
	RAM ログ	「適用」をクリックすると指定した保存先に log 形式のファイルを保存します。
	フラッシュログ	「適用」をクリックすると指定の保存先に log 形式のファイルを保存します。
アドレスタイプ	アドレスの指定方法を選択します。(ホスト名／Ipv4)	
サーバーアドレス	TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。	
ファイル名	復元用ファイルの名称を入力します。	

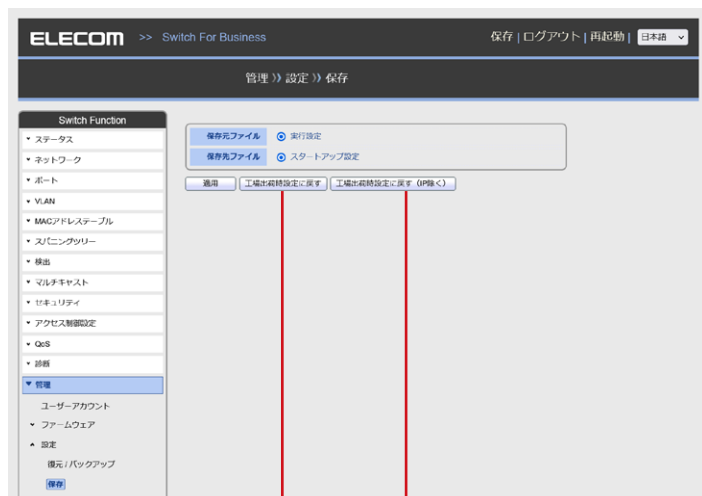
■ バックアップで「更新方法」に「HTTP」を選択した場合

管理用 PC に Config ファイルまたは、log ファイルを保存します。



項目	内容										
アクション	バックアップを選択します。										
更新方法	HTTP を選択します。										
設定	<table border="1"> <tr> <td>実行設定</td><td>実行設定ファイルをバックアップします。</td></tr> <tr> <td>スタートアップ設定</td><td>「適用」をクリックすると指定した保存先に config 形式のファイルを保存します。</td></tr> <tr> <td>バックアップ設定</td><td>バックアップ設定ファイルをバックアップします。</td></tr> <tr> <td>RAM ログ</td><td>「適用」をクリックすると指定した保存先に log 形式のファイルを保存します。</td></tr> <tr> <td>フラッシュログ</td><td>「適用」をクリックすると操作している PC に log 形式のファイルを保存します。</td></tr> </table>	実行設定	実行設定ファイルをバックアップします。	スタートアップ設定	「適用」をクリックすると指定した保存先に config 形式のファイルを保存します。	バックアップ設定	バックアップ設定ファイルをバックアップします。	RAM ログ	「適用」をクリックすると指定した保存先に log 形式のファイルを保存します。	フラッシュログ	「適用」をクリックすると操作している PC に log 形式のファイルを保存します。
実行設定	実行設定ファイルをバックアップします。										
スタートアップ設定	「適用」をクリックすると指定した保存先に config 形式のファイルを保存します。										
バックアップ設定	バックアップ設定ファイルをバックアップします。										
RAM ログ	「適用」をクリックすると指定した保存先に log 形式のファイルを保存します。										
フラッシュログ	「適用」をクリックすると操作している PC に log 形式のファイルを保存します。										

【設定】保存



本製品のIPアドレス設定以外を工場出荷時設定に戻して再起動します。

本製品を工場出荷時設定に戻して再起動します。

項目	内容
保存する設定	変更できません。
設定の保存先	

[SNMP] ビュー



選択したビューを削除します。

ビューを追加します。
→ [P267「ビュー追加」](#)

ビュー追加



項目	内容
表示	ビュー名を入力します。最大 30 文字です
OID サブツリー	SNMP ビューに含めるか、SNMP ビューから除外するサブツリーオブジェクト識別子 (OID) を指定します。
タイプ	選択した MIB をビューに含めるか除外します。

【SNMP】グループ



選択したグループを削除します。

選択したグループを編集します。
「グループ」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P269「グループ追加」](#)

グループを追加します。
→ [P269「グループ追加」](#)

グループ追加

項目	内容	
グループ	SNMP グループ名を指定します。最大 30 文字です。	
バージョン	SNMP バージョンを設定します。 SNMPv1 / SNMPv2 / SNMPv3	
セキュリティレベル	SNMP セキュリティレベルを設定します。	
	セキュリティなし	パケット認証が実行されません。
	認証あり	暗号化なしのパケット認証が実行されません。
	認証あり、暗号化あり	暗号化を伴うパケット認証が実行されません。
表示	Read	ビュー名を読み取ります。
	Write	ビュー名を書き込みます。
	Notify	通知対象として選択された SNMP ビューに含まれる内容のトラップのみを通知します

[SNMP] コミュニティ



- 選択したコミュニティを削除します。
- 選択したコミュニティを編集します。
「グループ」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P270「コミュニティ追加」](#)
- コミュニティを追加します。
→ [P270「コミュニティ追加」](#)

コミュニティ追加



項目	内容	
コミュニティ	SNMP コミュニティ名を入力します。最大 20 文字です。	
タイプ	タイプを設定します。	
	ベーシック	SNMP コミュニティは表示およびアクセス権を指定します。
	アドバンス	SNMP コミュニティでグループを指定します。

項目	内容	
表示	SNMP 表示を指定して、コミュニティで使えるオブジェクトを定義します。	
アクセス	アクセスモードを設定します。	
	リードオンリー	読み取り専用です。
	リードライト	読み取りと書き込みです。
グループ	SNMP グループコマンドで設定された SNMP グループを指定して、コミュニティで使えるオブジェクトを定義します。	

[SNMP] ユーザー



選択したユーザーを削除します。

選択したユーザーを編集します。
「グループ」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P273 \[ユーザー追加／編集\]](#)

ユーザーを追加します。
ユーザーの追加には、あらかじめSNMPv3のSNMPグループを作成しておく必要があります。
→ [P273 \[ユーザー追加／編集\]](#)

ユーザー追加／編集

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', '>> Switch For Business', and buttons for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main header indicates the current path: '管理 >> SNMP >> ユーザー'. The left sidebar menu lists various configuration categories, with '管理' (Management) currently selected. The main content area is titled 'ユーザー追加' (Add User). It contains several configuration sections: 'ユーザー' (User) with a text input field; 'グループ' (Group) with a dropdown menu showing 'group1'; 'セキュリティレベル' (Security Level) with three radio button options: 'セキュリティなし' (Security None), '認証あり' (Authentication), and '認証あり、暗号化あり' (Authentication and Encryption); '認証あり' (Authentication) with a '方法' (Method) dropdown set to 'なし' (None) and a 'パスワード' (Password) input field; and '暗号化' (Encryption) with a '方法' (Method) dropdown set to 'なし' (None) and a 'パスワード' (Password) input field. At the bottom of the form are '適用' (Apply) and '閉じる' (Close) buttons.

項目	内容						
ユーザー	ユーザー名を入力します。(半角英数字のみ 30 文字まで)						
グループ	グループを選択します。						
セキュリティレベル	セキュリティレベルを設定します。 <table border="1"> <tr> <td>セキュリティなし</td><td>パケット認証が実行されません。</td></tr> <tr> <td>認証あり</td><td>暗号化なしのパケット認証が実行されません。認証あり、暗号化あり 暗号化を伴うパケット認証が実行されません。</td></tr> <tr> <td>認証あり、暗号化あり</td><td>暗号化を伴うパケット認証が実行されません。</td></tr> </table>	セキュリティなし	パケット認証が実行されません。	認証あり	暗号化なしのパケット認証が実行されません。認証あり、暗号化あり 暗号化を伴うパケット認証が実行されません。	認証あり、暗号化あり	暗号化を伴うパケット認証が実行されません。
セキュリティなし	パケット認証が実行されません。						
認証あり	暗号化なしのパケット認証が実行されません。認証あり、暗号化あり 暗号化を伴うパケット認証が実行されません。						
認証あり、暗号化あり	暗号化を伴うパケット認証が実行されません。						

■ 認証あり

項目	内容
方法	認証方法を選択します。
パスワード	認証パスワードを入力します。(半角英数字のみ 32 文字まで)

■ 暗号化

項目	内容
方法	暗号化方法を選択します。
パスワード	パスワードを入力します。(半角英数字のみ 32 文字まで)

[SNMP] エンジンID

ローカルエンジンID

エンジンID ☐ ユーザー定義

選択

リモートエンジンIDテーブル

☐	サーバーアドレス	エンジンID
☐	先験	

追加 編集 削除

選択したリモートエンジンIDを削除します。

選択したリモートエンジンIDを編集します。
「サーバーアドレス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P274 「リモートエンジンID追加／編集」](#)

リモートエンジンIDを追加します。
→ [P274 「リモートエンジンID追加／編集」](#)

リモートエンジンID追加／編集

リモートエンジンID追加

アドレスタイプ ☒ ホスト名 ☐ IPv4 ☐ IPv6

サーバーアドレス

エンジンID (10 ~ 64 16進数)

適用 閉じる

項目	内容
アドレスタイプ	アドレスのタイプを選択します。
サーバーアドレス	サーバーのアドレスを入力します。
エンジン ID	エンジン ID を入力します。 (半角英数字記号のみ 10 ～ 64 文字まで)

【SNMP】トラップ

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top header includes the ELECOM logo, navigation links like '>> Switch For Business', and user options like '保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語'. The main navigation bar shows '管理 > SNMP > トラップ'. On the left, a 'Switch Function' menu lists various settings. The main content area displays four toggle switches for SNMP traps: '認証失敗' (Authentication Failure), 'リンクアップ/ダウン' (Link Up/Down), 'コールドスタート' (Cold Start), and 'ウォームスタート' (Warm Start). Each switch has a checkbox and a label. A '適用' (Apply) button is located at the bottom left of the main content area.

項目	内容
認証失敗	トラップイベントの認証失敗を有効にします。
リンクアップダウン	トラップイベントのリンクアップダウンを有効にします。
コールドスタート	トラップイベントのコールドスタートを有効にします。
ウォームスタート	トラップイベントのウォームスタートを有効にします。

[SNMP]通知



選択した通知を削除します。

選択した通知を編集します。
「サーバーアドレス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P277「通知追加／編集」](#)

通知を追加します。

→ [P277「通知追加／編集」](#)

通知追加／編集

項目	内容						
アドレスタイプ	アドレスのタイプを選択します。						
サーバーアドレス	サーバーのアドレスを入力します。						
バージョン	SNMP のバージョンを選択します。						
タイプ	通知の種類を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>トラップ</td><td>SNMP ラップをホストに送信します。</td></tr> <tr> <td>Inform リクエスト</td><td>SNMP インフォームをホストに送信します。(SNMPv1 には Inform がありません)</td></tr> </table>	トラップ	SNMP ラップをホストに送信します。	Inform リクエスト	SNMP インフォームをホストに送信します。(SNMPv1 には Inform がありません)		
トラップ	SNMP ラップをホストに送信します。						
Inform リクエスト	SNMP インフォームをホストに送信します。(SNMPv1 には Inform がありません)						
コミュニティ / ユーザー	通知用の SNMP コミュニティー／ユーザー名をリストから選択します。SNMPv3 の場合、名前はユーザー名、それ以外の場合はコミュニティ名です。						
セキュリティレベル	SNMP 通知パケットのセキュリティ レベルを設定します。セキュリティレベルはコミュニティ／ユーザー名以下である必要があります。 <table border="1"> <tr> <td>セキュリティなし</td><td>パケット認証が実行されません。</td></tr> <tr> <td>認証あり</td><td>暗号化なしのパケット認証が実行されません。</td></tr> <tr> <td>認証あり、暗号化あり</td><td>暗号化を伴うパケット認証が実行されません。</td></tr> </table>	セキュリティなし	パケット認証が実行されません。	認証あり	暗号化なしのパケット認証が実行されません。	認証あり、暗号化あり	暗号化を伴うパケット認証が実行されません。
セキュリティなし	パケット認証が実行されません。						
認証あり	暗号化なしのパケット認証が実行されません。						
認証あり、暗号化あり	暗号化を伴うパケット認証が実行されません。						

項目	内容
サーバーポート	受信側サーバーのUDPポート番号を設定します。「デフォルトを使用します」がチェックされている場合、値は 162 です。それ以外の場合はチェックを外し、任意の値を設定します。
タイムアウト	SNMP 通知のタイムアウトを設定します。「デフォルトを使用します」がチェックされた場合、値は 15 です。それ以外の場合はチェックを外し、任意の値を設定します。
リトライ	SNMP 通知のリトライ回数を設定します。「デフォルトを使用します」がチェックされた場合、値は 3 です。それ以外の場合はチェックを外し、任意の値を設定します。

[RMON] 統計

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▾

管理 >> RMON >> 統計

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- ▼ 管理**
 - ユーザーアカウント
 - ファームウェア
 - 設定
 - SNMP
 - RMON
 - 統計**
 - 履歴
 - イベント
 - アラーム
 - ループ防止

統計テーブル

更新間隔 0 秒

☐	インデックス	ポート	受信バイト数	ドロップイベント	受信パケット数	ブロードキャスト/パケット	マルチキャスト
☐	1	GE1	269581020	0	1574021	1443132	9110
☐	2	GE2	175005330	0	1020665	919516	5164
☐	3	GE3	0	0	0	0	0
☐	4	GE4	0	0	0	0	0
☐	5	GE5	0	0	0	0	0
☐	6	GE6	0	0	0	0	0
☐	7	GE7	0	0	0	0	0
☐	8	GE8	0	0	0	0	0
☐	9	GE9	0	0	0	0	0
☐	10	GE10	0	0	0	0	0
☐	11	GE11	0	0	0	0	0
☐	12	GE12	0	0	0	0	0
☐	13	GE13	0	0	0	0	0
☐	14	GE14	0	0	0	0	0
☐	15	GE15	0	0	0	0	0
☐	16	GE16	0	0	0	0	0
☐	17	GE17	0	0	0	0	0
☐	18	GE18	0	0	0	0	0
☐	19	LAG1	0	0	0	0	0
☐	20	LAG2	0	0	0	0	0
☐	21	LAG3	0	0	0	0	0
☐	22	LAG4	0	0	0	0	0
☐	23	LAG5	0	0	0	0	0
☐	24	LAG6	0	0	0	0	0
☐	25	LAG7	0	0	0	0	0
☐	26	LAG8	0	0	0	0	0

クリア リフレッシュ 表示

表示

選択したポートの統計を表示します。

→ [P280 \[ポート統計表示\]](#)

リフレッシュ

表示内容を最新のものに更新します。

クリア

表示をクリアします。

ポート統計表示

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

管理 >> RMON >> 統計

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MACアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理
- ユーザアカウント
- ファームウェア
- 設定
- SNMP
- RMON
 - 統計
 - 設定
 - イベント
 - アラーム
 - ループ防止

ポート統計表示

ポート

LAG8

更新間隔

☒ なし
☐ 5 秒
☐ 10 秒
☐ 30 秒

受信バイト（オクテット）数

0

ドロップイベント

0

受信したパケット数

0

ブロードキャストパケット受信

0

マルチキャストパケット受信

0

CRC エラー

0

アンダーサイズパケット

0

オーバーサイズパケット

0

フラグメント

0

ジャバ

0

コリジョン

0

64バイト以下のフレーム

0

65~127バイトのフレーム

0

128~255バイトのフレーム

0

256~511バイトのフレーム

0

512~1023バイトのフレーム

0

1024バイトを超えるフレーム

0

クリア

リフレッシュ

閉じる

項目	内容
ポート	ポート名を表示します。
更新間隔	更新間隔を選択します。
受信バイト（オクテット）数	各項目の統計を表示します。
ドロップイベント	
受信したパケット数	
ブロードキャストパケット受信	
マルチキャストパケット受信	
CRC エラー	
アンダーサイズパケット	
オーバーサイズパケット	
フラグメント	
ジャバ	
コリジョン	

項目	内容
64 バイト以下のフレーム	各項目の統計を表示します。
65 ～ 127 バイトのフレーム	
128 ～ 255 バイトのフレーム	
256 ～ 511 バイトのフレーム	
512 ～ 1023 バイトのフレーム	
1024 バイトを越えるフレーム	

[RMON]履歴



選択した履歴を表示します。

選択した履歴を削除します。

選択した履歴を編集します。

「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P283「履歴追加／編集」](#)

履歴を追加します。

→ [P283「履歴追加／編集」](#)

履歴追加／編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

管理 >> RMON >> 履歴

Switch Function

- ▼ ステータス
- ▼ ネットワーク
- ▼ ポート
- ▼ VLAN
- ▼ MACアドレステーブル
- ▼ スパニングツリー
- ▼ 橋出
- ▼ マルチキャスト
- ▼ セキュリティ

履歴追加

インデックス 1

ポート GE1 ▼

最大件数 50 (1 - 50, デフォルト 50)

インターバル 1800 (1 - 3600, デフォルト 1800)

所有者

適用 閉じる

項目	内容
インデックス	追加・編集を行うエントリーのインデックスを表示します
ポート	サンプリングの対象となるポートを設定します。
最大件数	サンプルの最大件数を設定します。
インターバル	サンプリングする間隔を設定します。
所有者	このエントリーの所有者を設定します。

[RMON] イベント



選択したイベントを表示します。

選択したイベントを削除します。

選択したイベントを編集します。

「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P285「イベント追加／編集」](#)

イベントを追加します。

→ [P285「イベント追加／編集」](#)

イベント追加／編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

管理 >> RMON >> イベント

Switch Function

- ▼ ステータス
- ▼ ネットワーク
- ▼ ボート
- ▼ VLAN
- ▼ MACアドレステーブル
- ▼ スパニングツリー
- ▼ 橋出
- ▼ マルチキャスト
- ▼ セキュリティ
- ▼ アクセス制御設定
- ▼ QoS

イベント追加

インデックス 2

通知

☒ なし
☐ イベントログ
☐ トラップ
☐ イベントログとトラップ

コミュニティ Default Community

説明 Default Description

所有者

適用 閉じる

項目	内容
インデックス	インデックスが表示されます。
通知	通知方法を選択します。
コミュニティ	コミュニティ名が表示されます。
説明	イベントの説明を入力します。 (半角英数字のみ 127 文字以下)
所有者	所有者を入力します。 (半角英数字のみ 31 文字以下)

[RMON] アラーム



選択したアラームを削除します。

選択したアラームを編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→ [P287「アラーム追加／編集」](#)

アラームを追加します。
→ [P287「アラーム追加／編集」](#)

アラーム追加／編集

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

管理 >> RMON >> アラーム

Switch Function

- ステータス
- ネットワーク
- ポート
- VLAN
- MAGアドレステーブル
- スパンニングツリー
- 橋出
- マルチキャスト
- セキュリティ
- アクセス制御設定
- QoS
- 診断
- 管理**
 - ユーザーアカウント
 - ファームウェア
 - 設定
 - SNMP
 - RMON
 - 設定
 - 監視

アラーム追加

インデックス 1

ポート GE1 ▼

カウンター ドロップイベント ▼

サンプルタイプ
 ☒ 絶対値
 ☐ デルタ値

インターバル 100 (1 - 2147483647, デフォルト: 100)

所有者

トリガー
 ☒ 上昇
 ☐ 降下
 ☐ 上昇と降下

上昇

しきい値 100 (0 - 2147483647, デフォルト: 100)

イベント 1 - Default Description ▼

降下

しきい値 20 (0 - 2147483647, デフォルト: 20)

イベント 1 - Default Description ▼

適用 閉じる

項目	内容
インデックス	インデックスが表示されます。
ポート	ポートを選択します。
カウンター	カウンターを選択します。
サンプルタイプ	サンプルタイプを選択します。
インターバル	インターバルを入力します。 (範囲: 0 ~ 2147483647、初期値: 100)
所有者	所有者を入力します。 (半角英数字記号で 31 文字まで)
トリガー	トリガーを選択します。

■ 上昇／降下

項目	内容
しきい値	しきい値を入力します。 (範囲: 0 ~ 2147483647、初期値: 100)
イベント	イベントを選択します。

タイムスケジュール



選択したタイムスケジュールを削除します。

選択したタイムスケジュールを編集します。
「タイムスケジュール名」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。

→ [P289「タイムスケジュール追加／編集」](#)

タイムスケジュールを追加します。
最大24件まで登録可能です。

→ [P289「タイムスケジュール追加／編集」](#)

タイムスケジュール追加／編集

The screenshot displays the 'タイムスケジュール追加' (Add Time Schedule) page in the ELECOM Switch For Business management interface. The page has a dark header with the ELECOM logo and navigation links. A sidebar on the left lists various 'Switch Function' options. The main content area contains the form for adding a new time schedule, including a name field, day selection checkboxes, and time range inputs.

項目	内容				
タイムスケジュール名	タイムスケジュール名を入力します。 (半角英数字、記号で 1 ～ 32 文字。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)				
曜日	アクセスポイントを動作させる曜日と時間を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>開始</td><td>00:00 ～ 23:30 の範囲で、30 分単位で設定可能です。</td></tr> <tr> <td>終了</td><td>00:30 ～ 24:00 の範囲で、30 分単位で設定可能です。</td></tr> </table>	開始	00:00 ～ 23:30 の範囲で、30 分単位で設定可能です。	終了	00:30 ～ 24:00 の範囲で、30 分単位で設定可能です。
開始	00:00 ～ 23:30 の範囲で、30 分単位で設定可能です。				
終了	00:30 ～ 24:00 の範囲で、30 分単位で設定可能です。				

ループ防止

プロパティ

ループ防止機能の有効／無効を切り替えます。

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web interface. The top navigation bar includes the ELECOM logo, a breadcrumb trail '>> Switch For Business', and links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The main heading is 'ループ防止」プロパティ'. On the left, a 'Switch Function' sidebar lists various settings, with 'ループ防止' (Loop Prevention) selected. The main content area displays the '状態' (Status) section, which includes a radio button for '有効' (Enabled) and a '適用' (Apply) button.

項目	内容
状態	「有効」にするとループ防止機能がオンになります。 (初期値：無効)

ステータス

ループ防止機能の状態を表示します。

ループ防止機能表示テーブル

インデックス	ポート	ループバック状態
1	GE1	ノーマル
2	GE2	ノーマル
3	GE3	ノーマル
4	GE4	ノーマル
5	GE5	ノーマル
6	GE6	ノーマル
7	GE7	ノーマル
8	GE8	ノーマル
9	GE9	ノーマル
10	GE10	ノーマル
11	GE11	ノーマル
12	GE12	ノーマル
13	GE13	ノーマル
14	GE14	ノーマル
15	GE15	ノーマル
16	GE16	ノーマル
17	GE17	ノーマル
18	GE18	ノーマル
19	LAG1	ノーマル
20	LAG2	ノーマル
21	LAG3	ノーマル
22	LAG4	ノーマル
23	LAG5	ノーマル
24	LAG6	ノーマル
25	LAG7	ノーマル
26	LAG8	ノーマル

Note:
 1. ループポートはプロセッシングされ、パケットの送受信が正常です。
 2. ループ解除されると、ループポートは自動復旧します。

ループ防止機能表示テーブル

項目	内容
エントリー	ループ防止機能のエントリー番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
ループバック状態	ループバック状態を表示します。ループが発生しているポートは「ループ」と表示されます。

付録編

安全上のご注意	293
使用上のご注意	296
このマニュアルについて	297
製品の保証について	298
製品の保証とサービス	298
サポートサービスについて	299

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
		丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。
		塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。

警告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※ 万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



付属または弊社が指定する仕様・型番のACアダプター、電源ケーブルや信号ケーブル以外を本製品に使わないでください。

仕様が合わないACアダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が故障・発煙・発火する恐れがあります。



装置の上に物を置かないでください。

本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。



揮発性液体の近くの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



同梱の部品は、本製品でのみご使用ください。

製品に同梱されているACアダプター、あるいは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



注意



通風孔はふさがないでください。

過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。

屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

故障や、接触不良による発火や火災の原因となります。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



電源が入っている状態で本体に長時間（10 秒以上）触れないでください。

低温やけどの原因となるおそれがあります。



地震・振動・落下対策について。

地震などによる振動で装置の落下、移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、必要に応じて保守会社や専門業者にご相談頂くなど、地震・振動・落下対策を実施してください。

使用上のご注意

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 屋外で使用しないでください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や震動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があると、ノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告無しに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- 本書に掲載されている商品名／社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証とご使用にあたっての注意について記載した文書「安全にお使いいただくために」が付いています。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より3年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、「安全にお使いいただくために」に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

次ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…

サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム法人様サポートセンター

TEL: **0570-070-040**

【受付時間】 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00 （月曜日～金曜日）

※ 祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く

ネットワークサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
 - ・ ご質問内容 (症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

This product is designed for use in Japan only.

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.



レイヤー 2 Giga 対応 Web スマートスイッチ

EHB-SG2C08

EHB-SG2C16

EHB-SG2C24

レイヤー 2 Giga 対応 PoE Web スマートスイッチ

EHB-SG2C08-PL

EHB-SG2C16-PL

EHB-SG2C16F-PL

EHB-SG2C24F-PL

EHB-SG2C16F-HPL

EHB-SG2C24F-HPL

ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社